

令和6年度

施政方針

人と自然が輝き みんなで創る 夢のまち の実現に向けて

宍粟市

令和6年度 宍粟市施政方針

【はじめに】

令和2年1月に国内で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症が昨年5月に5類感染症に移行したことを受け、コロナ禍における新たな生活様式を尊重しつつ、社会や地域における活動が正常化に向けて動き出し、さまざまな行事が再開されるなど、人々の笑顔が戻りつつあります。一方、国においては、国際的な原材料価格の上昇や円安による物価高の影響から国民生活や事業活動を守る「デフレ脱却のための総合経済対策」を示す中で持続可能な経済社会の構築に取り組まれています。

このような中、本市は宍粟市発足20年目の節目を迎えます。「新市まちづくり計画（H16策定）」では、計画策定に携わられた往時の方々の想いが“四つ葉のクローバー”という苗として次代を担う人々に託され、市民をはじめ地域、事業者、各種団体と協力しながら、この苗を豊かな森林に育てることに例え、「人と自然が輝き みんなで創る 夢のまち」をめざすべき“まちの将来像”として示されています。「第2次宍粟市総合計画後期基本計画」においても将来像の理念を継承し、次の30年目、40年目を見据えた長期的な視点に立って、本市の最重要施策である人口減少対策として「子育て支援」、「教育環境の充実」、「地域医療体制の充実」を進めていきます。さらには、デジタル技術の活用により多様な市民の暮らしを創造する「地域創生総合戦略＜Plus DX＞」に取り組めます。

本市では、歴史や文化、人の営みといった有形無形に捉われず五感で感じるものすべてを“風景”と捉えています。その時々々の価値観は違えども、受け継がれた風景、これから新たに創る風景を市民共有の財産としてまちづくりに残しつつ、これからのまちづくりに生かしていきます。

【令和6年度 施策の概要】

1. 魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり

林業の振興では、森林施業の団地化・集約化によるコスト削減を目的に森林経営計画の策定を推進するとともに、計画策定が困難な条件不利地の森林においては、森林環境譲与税を活用し、切捨間伐などの経費を支援することで森林整備を進めます。また、新たな森林管理システムに基づき、森林所有者自らが経営管理できない森林については、市の管理とする意向調査と森林経営計画の策定を計画的に進め、公益的機能を十分に発揮し得る健全な森林を整備します。

農業の振興では、「安定的で持続可能な農業経営が行われるまち」をめざし、水稲、黒大豆、小豆、山椒の実証栽培を進めるとともに、加工品開発や域外への販路の拡大に向けた取組を進めます。また、農業の担い手確保に引き続き取り組むとと

もに、スマート農業機械などの導入を支援することで、生産の効率化と省力化を図ります。さらに、農業用水利施設の長寿命化に向けた機能診断等を実施するなど、水利施設の安全性向上と生産基盤の強化を進めます。

商工業の振興では、人材不足解消に向け、外部人材を活用して経営課題の解決に取り組む企業を支援するとともに、総合的な仕事の相談窓口「わくわ〜くステーション」において、市内企業の求人情報を開拓し、求職者への職業相談や就労支援を継続していくなど将来的な地域内就労の機会を創出し、地域産業の強化、地域経済の活性化を図ります。

観光の振興では、令和7年に開催予定の「大阪・関西万博」に向けて、豊かな自然を生かした森林セラピーやE-BIKEなどのコンテンツを疑似体験できるVR動画を制作し、観光プロモーションの新たなツールとして観光客の増加につなげていきます。また、楓香荘跡地が観光客や地域住民の憩いの場となるよう、原不動滝公園を整備するとともに、音水湖から氷ノ山をステージとして豊かな自然の循環に思いを巡らせる環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」を誘致するなど、市内各所の観光施設等の魅力向上による交流人口の増加を図ります。さらに、日本酒発祥の地・発酵のふるさとなど宍粟市特有の地域資源を活用し、認知度の向上と継続した観光誘客を図ります。

2. 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

森林・田園・まち並み景観の保全では、「宍粟市風景ビジョン」に基づき、市民が主体的に行う広葉樹などの植栽を支援するなど、“日本一の風景街道づくり”につながる景観を形成することで、環境や景観保全の意識と郷土愛の醸成を図ります。

資源循環型社会の構築では、本市の生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、一般廃棄物処理の基本的な考え方や方向性について定める「第2次一般廃棄物処理基本計画」を策定します。また、市有林を活用したJ-クレジット創出事業に取り組むことにより、地球温暖化防止の普及啓発を図るとともに、日常生活の中で市民が行う省エネ行動や再生エネルギー設備の導入などに対して、ポイントを付与する「森林環境ポイント」を導入し、ゼロカーボンに向けた市民の意識醸成を図ります。さらに、宍粟防災センター照明器具をLED照明に更新し、電気使用量を抑制することで二酸化炭素排出量の削減につなげます。

住環境整備、土地利用の推進では、最上山公園において車いすでも通行できる遊歩道を整備し、誰もが紅葉の鑑賞や散策ができる公園環境を整えます。

道路網・上下水道の整備・維持では、市中心部の交通量の減少や道路交通環境が変化していることから、都市の骨格を形成する都市計画道路網の見直し検討に着手します。また、都市計画道路「山田下広瀬線」の令和7年度末全線開通に向けた整備や、内水氾濫防止を目的とした「山田千本屋雨水幹線」の整備を進めていきます。

さらに、水道水の安定供給を図るため、波賀区域南部の基幹配水池である坂配水池を更新します。

3. 定住魅力の高いまちづくり

生活圏の拠点づくりの推進では、一宮、千種と続いた拠点整備の締めくくりとなる波賀市民協働センター「はがてらす」の令和7年4月の全面供用開始に向けて整備を進めます。また、集落と生活圏の拠点などをつなぐ公共交通においては、市民の日常生活を支えるバス路線を維持するため、事業者のバス運行経費の一部を引き続き支援します。

移住・定住促進の充実では、空き家バンクの運営をはじめ、移住相談や移住後のフォローなど、きめ細やかな支援を行うほか、子育て世代などの住宅取得についても継続して支援を行います。

4. 安全で安心なまちづくり

防災体制の充実では、近年甚大化・頻発化する災害への対応の指針となる災害対策基本法や災害救助法等の関連法令の改正をふまえ、地域防災計画等の改定を進めます。また、被害を及ぼす恐れのあるため池について、耐震化や廃止工事を引き続き進めていきます。

消防・救急体制の充実では、地域消防体制を維持するため、消防団が使用する車両を運転できない消防団員の運転免許取得費用を引き続き支援します。

防犯・交通安全の推進では、交通安全対策基金を活用し、交通安全施設の整備を計画的に進めるほか、交通安全教室を開催するなど、交通安全対策の充実を図ります。

消費者行政の推進では、宍粟市消費生活センターによる消費生活相談や消費者教育・啓発事業、消費者団体と連携事業を行うなど、消費者市民社会の形成に向けて、自立した消費者の育成に取り組みます。

5. 子どもが健やかに育つまちづくり

子育て支援の充実では、安心して出産・子育てができるように妊娠、出産、子育てにかかる費用を助成する経済的支援を継続するとともに、新たにこども家庭支援センターを設置し、身近な場で相談に応じ、支援につなぐ一貫した伴走型相談支援の一層の充実を図ります。また、教育・保育の提供体制の確保や地域の子ども・子育て支援の充実を総合的に推進していくことを目的に「第3期宍粟市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。さらに、誕生祝い品に新たに2種類の木製玩具を追加するとともに、特色ある木製玩具を子育て支援センターに整備し、木製玩具を通じて子どもたちの豊かな感性を育み、健やかな成長を応援します。

就学前教育の充実では、令和6年4月に開園予定の「まあるこども園」の周辺環境を整備するとともに、民設民営で設置する認定こども園の整備を支援することで安心安全に子どもを託せる環境の整備を進めます。また、公立の幼稚園と認定こども園において、新たに登降園の管理や保護者と職員とのコミュニケーションを円滑に行うことができるシステムを導入することで、教育保育現場の安全管理体制を強化するとともに、業務省力化による職員の負担軽減、保護者アプリ活用による保護者の利便性の向上を進めるなど、教育保育環境の充実を図ります。

学校教育の充実では、食材費の高騰が続く中であっても、子どもたちが楽しみにしている給食の質を維持するとともに、給食費の保護者負担を軽減することで児童生徒の食育を推進します。また、城下小学校と戸原小学校の規模適正化により、令和7年4月の「(仮称)山崎南小学校」の開校に向け、校舎等の改修を進めるほか、森林環境譲与税を活用し、市内小中学校の学習机を宍粟材を活用した製品に順次更新するなど教育環境の充実を図ります。さらに、市内の中学校に通う生徒の英語検定の検定料を支援することで豊かな英語力を育み、進んでコミュニケーションを図ろうとするなど、グローバル社会の中で主体的に生きる能力や姿勢の育成を図ります。加えて、不登校児童生徒支援員を配置し、校内サポートルームを開設することで、不登校及び不登校傾向にある児童生徒への個に応じた学習や生活支援などを行うほか、メイプル福祉センターの跡地を活用して「(仮称)総合教育センター」を設置し、教職員の人材育成機能に加え、研究・開発機能、相談・支援機能、学校と地域の交流拠点としての充実を図ります。

6. 保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり

健康づくりの推進では、「健康しそう21（第3次）及び第2次宍粟市食育推進計画」の中間評価を行い、令和7年度からの健康増進、食育の取組内容の見直しを行います。

地域医療の充実では、医療資源が希薄な地域における医療提供体制を確保するため、一宮北診療所の診療時間を延長するなど診療機能の拡充を図ります。また、在宅医療を積極的に推進するため、各医療機関と連携した訪問看護ステーションの運営により、市民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域医療のさらなる充実を図ります。さらに、新病院建設事業においては、事業費の精査にともない工期を見直すため、令和9年度末頃の開院をめざして実施設計業務を進めます。

地域福祉の充実では、保健師及び専門の相談員によるひきこもり相談を継続して行うほか、寄附金を活用してひきこもりサポーターの養成講座を開催し、地域におけるひきこもりに関する支援と理解の推進を図ります。また、ひきこもりサポートセンターにおいて居場所の提供や社会参加に向けた支援を行い、引き続きひきこもりの当事者及び家族を支援します。さらに、令和7年度からの地域福祉のさらなる

推進のため、「第4期宍粟市地域福祉計画」を策定します。

高齢者福祉の充実では、介護人材不足を解消し、介護サービス提供基盤の整備を図るため、引き続き求職者とのマッチングや介護支援専門員の資格取得支援などを行います。また、「高齢者通いの場づくり応援事業」により、高齢者の社会参加や生きがいづくりの場を増やし、高齢者のフレイル予防などに取り組みます。

障がい福祉の充実では、障がいのある人や児童に対し、必要なサービスが適切に利用できるような必要な情報の提供や権利擁護のための助言など、相談支援体制の充実や強化に努めるとともに、障がいのある人や障がいの特性について市民の理解を深めるための啓発活動や交流事業など、社会参加のための取組を推進することで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう取り組みます。

社会保障の充実では、経済的に困窮する人が社会から孤立せず、自立した生活を送ることができるよう、自立相談支援や就労支援を継続するとともに、生活保護制度を適正に運用します。

7. 心豊かにいきいきと学べるまちづくり

生涯学習の推進では、本の楽しさや読書の喜びを感じながら、家庭や地域、学校、図書館などにおいて、人づくりにつながる読書活動が進められるよう「宍粟市読書活動推進計画」を改定します。

文化・芸術活動の推進では、宍粟市の文化財の保存と活用に関する基本的な方向性を明確化するため、「宍粟市文化財保存活用地域計画」の策定を引き続き進めます。

スポーツ活動の推進では、市民が安心してスポーツを楽しむことができる環境を整えるため、スポーツ施設の利用状況や劣化状況をもとに、将来的なスポーツ施設のあり方について検討します。

人権教育・啓発の推進では、人権問題に対する理解を深めるための人権教育・啓発活動に取り組むとともに、パートナーシップ・ファミリーシップ制度を創設し、性的指向や性自認にかかわらず、誰もが自分らしく生き、互いを認め合い一人ひとりの人権が尊重されるまちの実現をめざします。

8. 参画と協働・男女共同参画の推進

参画と協働の推進では、市民のふるさと意識の醸成及び市の一体感の高揚につなげるため、市制20周年を迎える令和7年度に向け、市歌の制作に着手します。また、「宍粟市参画と協働のまちづくり指針」をもとに、多様化する地域課題の解決に向け、地域運営組織の育成など、地域活動への支援に取り組むことで、参画と協働のまちづくりを推進していきます。さらに、市政の情報共有のため、広報紙や公式サイトのみならず、しーたん通信、しそうチャンネル、SNSなどさまざまなメディ

アを生かして情報発信をするとともに、職員出前講座やタウンミーティングなどにより、市民の情報取得及び市政への参画の機会を確保します。

男女共同参画の推進では、令和2年度から10年計画として策定した「第2次宍粟市男女共同参画プラン」の中間評価として、プランの進行状況を確認し、社会情勢や市民意識の変化などを反映させるため、令和7年度からの男女共同参画の推進活動内容の見直しを行います。

9. 健全な行財政運営の推進

健全な行財政運営の推進では、令和9年度からの本市のまちづくりの方向性を示す「第3次宍粟市総合計画前期基本計画及び第3次地域創生総合戦略」の策定に着手します。また、職員のキャリアアップ支援など人材育成の推進に向け、人事評価制度のシステム化を図ることで、人事管理業務を効率的・効果的に進めていきます。さらに、歳入の確保に向けては、J-クレジット制度やふるさと納税制度による自主財源の確保に努めるとともに、歳出の抑制に向けては、宿日直業務の外部委託化やネットワークの無線化による会議などでのペーパーレス化を促進することで業務の効率化、省力化を図ります。

【むすびに】

以上が令和6年度の市政運営にあたる所信の一端と施策の概要です。本年は十千十二支で「^{きのえたつ}甲辰」の年回りであり、「これまで準備してきたことが形になる」など大変縁起の良い年になると言われています。

一宮市民協働センター「いちのびあ」、千種市民協働センター「ライブリーちくさ」と進めてきました生活圏の拠点施設は、本年4月に波賀市民協働センター「はがてらす」が完成し、それぞれの施設が特徴を出しながら地域の皆さんの活力向上につながる取組を進めます。また、市民の皆さんの安全で安心な生活を守る新病院の整備も着実に進めます。

「新市まちづくり計画」には、新市のまちづくりの理念として“ひと・ほほえみ”すべての人が安心と生きがいのもてるまちに、“自然・やすらぎ”豊かな自然の恵みとやすらぎを実感できるまちに、“まち・いきいき”住み心地のよい活気あふれるまちに、が掲げられています。これらの理念を見失うことなく、いろいろな形で宍粟市のまちづくりに携わられた先人のご努力を形として次代につなぐことの意義と強い意志をもって、令和6年度の施政方針とします。

令和6年度当初予算の概要

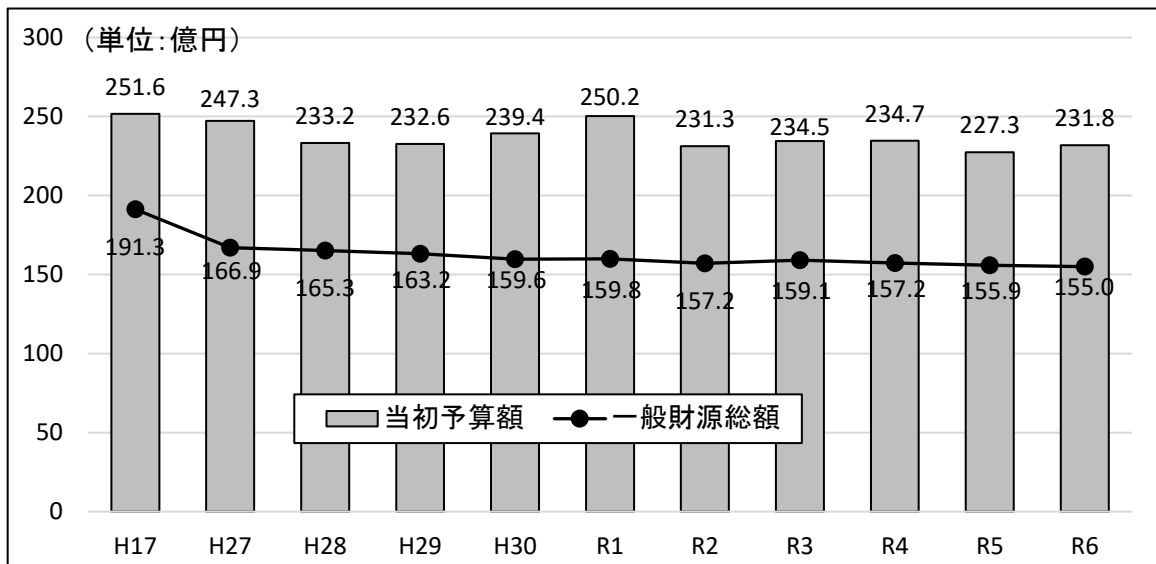
1. 当初予算の全体概要

(単位:千円、%)

区 分		令和6年度 予算額 A	令和5年度 予算額 B	増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100
一 般 会 計		23,180,000	22,730,000	450,000	2.0
特別会計	国民健康保険事業	4,538,945	4,488,891	50,054	1.1
	国民健康保険診療所	201,011	194,459	6,552	3.4
	後期高齢者医療事業	651,836	605,136	46,700	7.7
	介護保険事業	4,871,657	5,068,353	△ 196,696	△ 3.9
	訪問看護事業	90,101	90,373	△ 272	△ 0.3
	小 計	10,353,550	10,447,212	△ 93,662	△ 0.9
企業会計	水道事業	2,206,897	2,301,996	△ 95,099	△ 4.1
	下水道事業	3,399,138	3,546,766	△ 147,628	△ 4.2
	病院事業	4,840,281	4,906,830	△ 66,549	△ 1.4
	小 計	10,446,316	10,755,592	△ 309,276	△ 2.9
合 計		43,979,866	43,932,804	47,062	0.1

※企業会計の額は収益的支出+資本的支出の合計額

2. 一般会計予算規模の推移



3. 一般会計歳出予算

【目的別】

(単位:千円、%)

区分	令和6年度 予算額 A	令和5年度 予算額 B	増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100	令和6年度 構成比
議会費	137,464	141,000	△ 3,536	△ 2.5	0.6
総務費	3,098,583	3,418,951	△ 320,368	△ 9.4	13.4
民生費	7,409,695	6,920,481	489,214	7.1	32.0
衛生費	2,676,568	2,640,093	36,475	1.4	11.5
農林水産業費	1,137,718	1,159,363	△ 21,645	△ 1.9	4.9
商工費	843,918	908,399	△ 64,481	△ 7.1	3.6
土木費	2,046,454	2,342,038	△ 295,584	△ 12.6	8.8
消防費	986,600	918,955	67,645	7.4	4.3
教育費	2,498,486	1,850,290	648,196	35.0	10.8
災害復旧費	18,284	19,273	△ 989	△ 5.1	0.1
公債費	2,296,110	2,381,130	△ 85,020	△ 3.6	9.9
諸支出金	120	27	93	344.4	0.0
予備費	30,000	30,000	0	0.0	0.1
合計	23,180,000	22,730,000	450,000	2.0	100.0

増減の大きな事業等

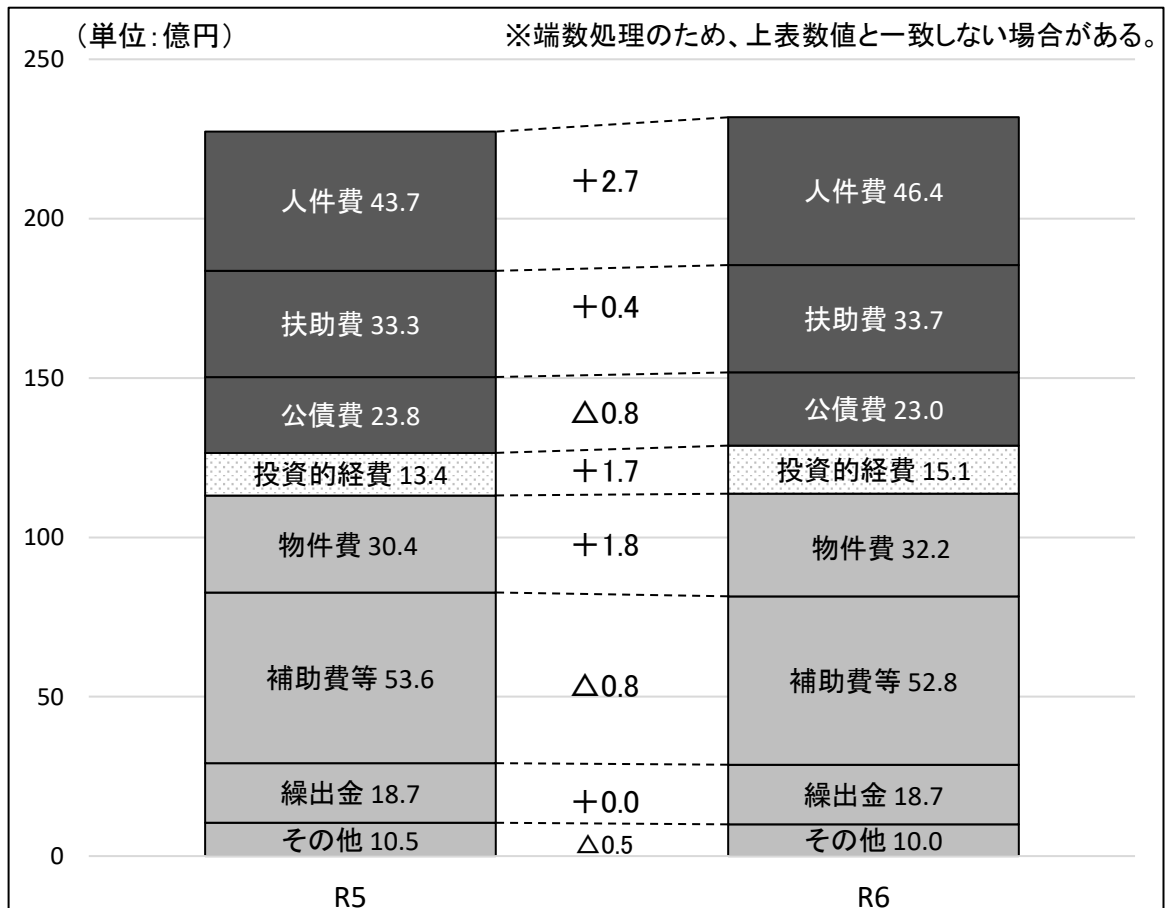
(単位:億円)

総務費	地域生活交通対策+0.5、生活圏の拠点づくり△4.5、FTTH通信機器更新△0.4、LGWAN系ネットワーク無線化+0.7、省エネ家電買い換え促進・LED化促進+0.2、固定資産現況調査△0.3
民生費	低所得世帯物価高騰支援+2.6、施設型給付・委託△0.3、児童手当+0.5、あずかり保育・学童保育事業+0.4、幼保一元化推進△2.6、こども園整備支援+3.3、生活保護扶助費+0.3
衛生費	予防接種事業+0.6、ごみ収集業務+0.5、水道事業会計繰出金△0.6
農林水産業費	肥料価格高騰対策支援+0.3、森林整備促進事業+0.3、条件不利地間伐推進△0.3、公有林整備△0.5
商工費	産業立地促進事業△1.0、お買い物キャンペーン△0.2、楓香荘跡地整備+1.3、東山展望台更新△0.2、圧雪車購入△0.5
土木費	道路新設改良事業△0.3、橋梁長寿命化事業△0.3、宝谷団地長寿命化+0.3、下水道事業会計繰出金△2.7
消防費	消防団車両購入+0.3、防災センターLED化+0.4
教育費	学習指導要領更新+0.3、校務用パソコン更新+0.8、学習机整備+0.2、小学校統合改修+3.7、図書館システム更新△0.1、給食センター設備更新+0.8
公債費	元金△0.8

【性質別】(参考)

(単位:千円、%)

区 分		令和6年度 予算額 A	令和5年度 予算額 B	増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100	令和6年度 構成比
義務的 経費	人件費	4,636,124	4,366,907	269,217	6.2	20.0
	扶助費	3,368,792	3,331,390	37,402	1.1	14.6
	公債費	2,295,832	2,380,852	△ 85,020	△ 3.6	9.9
	小計	10,300,748	10,079,149	221,599	2.2	44.5
投資的 経費	普通建設事業費	1,491,027	1,316,203	174,824	13.3	6.4
	災害復旧事業費	18,284	19,273	△ 989	△ 5.1	0.1
	小計	1,509,311	1,335,476	173,835	13.0	6.5
その他 経費	物件費	3,218,809	3,044,466	174,343	5.7	13.9
	維持補修費	255,561	333,774	△ 78,213	△ 23.4	1.1
	補助費等	5,284,276	5,355,287	△ 71,011	△ 1.3	22.8
	貸付金・投資及び出資金	335,000	335,000	0	0.0	1.4
	積立金	374,659	346,509	28,150	8.1	1.6
	繰出金	1,871,636	1,870,339	1,297	0.1	8.1
	予備費	30,000	30,000	0	0.0	0.1
	小計	11,369,941	11,315,375	54,566	0.5	49.0
合 計		23,180,000	22,730,000	450,000	2.0	100.0



4.一般会計歳入予算

(単位:千円、%)

区 分		令和6年度 予算額 A	令和5年度 予算額 B	増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100	令和6年度 構成比
自主財源	市税	4,278,383	4,340,894	△ 62,511	△ 1.4	18.5
	分担金及び負担金	60,576	66,337	△ 5,761	△ 8.7	0.3
	使用料及び手数料	332,407	337,322	△ 4,915	△ 1.5	1.4
	財産収入	147,211	171,931	△ 24,720	△ 14.4	0.6
	寄附金	281,401	269,441	11,960	4.4	1.2
	繰入金	668,008	609,756	58,252	9.6	2.9
	繰越金	1	1	0	0.0	0.0
	諸収入	834,894	812,816	22,078	2.7	3.6
	小計	6,602,881	6,608,498	△ 5,617	△ 0.1	28.5
依存財源	地方譲与税	389,593	316,684	72,909	23.0	1.7
	税交付金(地方消費税など)	1,012,901	1,034,253	△ 21,352	△ 2.1	4.4
	地方特例交付金	25,971	25,490	481	1.9	0.1
	地方交付税	9,500,000	9,547,000	△ 47,000	△ 0.5	41.0
	交通安全対策特別交付金	6,200	7,000	△ 800	△ 11.4	0.0
	国庫支出金	2,643,711	2,096,081	547,630	26.1	11.4
	県支出金	1,559,343	1,588,994	△ 29,651	△ 1.9	6.7
	市債	1,439,400	1,506,000	△ 66,600	△ 4.4	6.2
	臨時財政対策債	35,000	90,000	△ 55,000	△ 61.1	0.1
	上記以外	1,404,400	1,416,000	△ 11,600	△ 0.8	6.1
	小計	16,577,119	16,121,502	455,617	2.8	71.5
合 計	23,180,000	22,730,000	450,000	2.0	100.0	

(1)市税・譲与税・交付金

(単位:千円、%)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率	摘要
市税	4,278,383	4,340,894	△ 62,511	△ 1.4	
うち市民税	1,713,459	1,732,764	△ 19,305	△ 1.1	定額減税分は見込んでいない
うち固定資産税	2,155,125	2,198,007	△ 42,882	△ 2.0	評価替え
うち軽自動車税	154,631	153,543	1,088	0.7	
うち市たばこ税	254,060	255,291	△ 1,231	△ 0.5	
地方譲与税	389,593	316,684	72,909	23.0	
うち森林環境譲与税	206,252	146,538	59,714	40.7	国譲与見込額の増
税交付金	1,012,901	1,034,253	△ 21,352	△ 2.1	
うち法人事業税交付金	73,337	85,604	△ 12,267	△ 14.3	
うち地方消費税交付金	820,000	850,000	△ 30,000	△ 3.5	
地方特例交付金	25,971	25,490	481	1.9	定額減税の補てん分は見込んでいない

(2) 地方交付税、臨時財政対策債

- ・普通交付税は、基準財政需要額の新たな費目として「こども子育て費」が創設されるが、算入終了による公債費の減額や個別算定数値の異動が見込まれることから、0.8%の減。
- ・地方交付税と臨時財政対策債をあわせた実質的な地方交付税総額は、前年度当初予算と比較すると102,000千円の減と見込んでいる。

(単位:千円、%)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率	摘要
地方交付税	9,500,000	9,547,000	△ 47,000	△ 0.5	
普通交付税	8,600,000	8,667,000	△ 67,000	△ 0.8	8,928,819
特別交付税	900,000	880,000	20,000	2.3	
臨時財政対策債	35,000	90,000	△ 55,000	△ 61.1	77,562
計	9,535,000	9,637,000	△ 102,000	△ 1.1	

※摘要欄には、令和5年度の決定額(R6.1.31現在)を記載している。

普通交付税の決定額のうち、本算定分は8,806,929千円、再算定分は121,890千円。

(3) 繰入金

- ・デジタル社会推進基金は、LGWAN系ネットワーク無線化業務や就学前施設DX推進事業に活用している。
- ・ブナ基金は、環境(森林環境ポイント制度事業)や観光(最上山公園遊歩道整備)のほか、少子化対策、産業振興などの継続事業に活用している。

(単位:千円、%)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率	摘要
財政調整基金	150,000	100,000	50,000	50.0	
減債基金	45,498	13,977	31,521	225.5	
デジタル社会推進基金	105,351	65,087	40,264	61.9	
ブナ基金	267,103	308,132	△ 41,029	△ 13.3	
その他	100,056	122,560	△ 22,504	△ 18.4	
計	668,008	609,756	58,252	9.6	

(4) 市債

- ・合併特例事業債は、生活圏の拠点づくり事業に活用している。
- ・過疎対策事業債は、(仮称)山崎南小学校統合改修事業や道路改良事業のほか、各種公共施設の設備更新に活用している。

(単位:千円、%)

区 分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率	交付税算入率
合併特例事業債	86,300	253,400	△ 167,100	△ 65.9	70.0
過疎対策事業債	1,051,400	1,055,700	△ 4,300	△ 0.4	70.0
辺地対策事業債	143,000	65,100	77,900	119.7	80.0
臨時財政対策債	35,000	90,000	△ 55,000	△ 61.1	100.0
その他	123,700	41,800	81,900	195.9	
計	1,439,400	1,506,000	△ 66,600	△ 4.4	

※発行額のうち後年度に交付税算入される見込額

1,002,320千円

発行額に対する算入割合 69.63%

5. 起債残高の状況

- ・一般会計の起債残高は、令和6年度末で260億3,527万8千円の見込み。
- ・特別会計、企業会計を含めた全体では、令和6年度末で448億7,881万円の見込み。
- ・令和6年度末残高／人口は、一般会計で約75万円、全会計では約130万円。

(単位:千円)

区 分	令和4年度末 残高	令和5年度末 残高(見込) A	令和6年度		令和6年度末 残高(見込) A+B-C	
			発行(見込) B	償還(見込) C		
一般会計	27,951,658	26,798,162	1,439,400	2,202,285	26,035,278	
特別 会計						
国民健康保険診療所	49,847	39,898	2,000	11,217	30,682	
企業 会計						
	水道事業	5,977,450	5,527,970	198,100	610,559	5,115,511
	下水道事業	13,756,603	12,787,751	806,700	1,607,641	11,986,810
	病院事業	1,873,383	1,872,312	177,200	338,983	1,710,529
小計	21,607,436	20,188,033	1,182,000	2,557,183	18,812,850	
合 計	49,608,942	47,026,093	2,623,400	4,770,685	44,878,810	

※端数処理のため、積算と残高が一致しない場合がある。

[参考]残高のうち、税等で負担すべき額(将来、地方交付税に算入される額を除いた額)

税等で負担すべき額	約179億円	約164億円			約149億円
残高合計に対する割合	約36%	約35%			約33%

6. 基金残高の状況(一般会計)

- ・財政調整基金の残高は、令和6年度末で28億7,882万2千円の見込み。
- ・令和6年度末残高／人口は、基金全体で約22万円。

(単位:千円)

区 分	令和4年度末 残高	令和5年度末 残高(見込) A	令和6年度		令和6年度末 残高(見込) A+B-C
			積立(見込) B	取崩(見込) C	
財政調整基金	2,973,969	3,026,307	2,515	150,000	2,878,822
減債基金	179,282	256,284	211	45,498	210,997
その他特定目的基金	4,594,454	4,552,680	371,933	472,510	4,452,103
計	7,747,705	7,835,271	374,659	668,008	7,541,922

※その他特定目的基金には定額運用基金は含まない。

令和6年度 主要施策(事業)体系

所 管	会計名	事 業 名	予算額(千円)	部局別 ページ
① 魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり 381,403千円				
市長公室秘書政策課	一般	発酵のまち推進事業	1,201	16
産業部農業振興課	一般	山村活性化支援交付金事業	9,983	44
産業部農業振興課	一般	鳥獣対策事業	36,614	45
産業部農業振興課	一般	新規就農支援事業	10,200	46
産業部森林環境課	一般	新たな森林管理システム	17,988	50
産業部森林環境課	一般	森林整備推進事業	123,100	51
産業部商工観光課	一般	就職・就労活動支援事業	19,917	52
産業部商工観光課	一般	産業立地促進事業	11,400	53
産業部商工観光課	一般	【新規】VR動画等制作業務	8,000	54
産業部商工観光課	一般	楓香荘跡地整備事業	143,000	55
② 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり 581,340千円				
市長公室危機管理課	一般	【新規】宍粟防災センター館内照明LED化事業	37,499	17
市民生活部生活衛生課	一般	生ごみ処理機「宍粟版キエーロ」普及事業	841	27
産業部森林環境課	一般	【新規】森林環境ポイント制度事業	2,684	48
産業部森林環境課	一般	宍粟市有林J-クレジット創出事業	1,060	49
建設部建設課・北部事務所	一般	道路新設改良事業	244,877	62
建設部建設課・北部事務所	一般	橋梁長寿命化事業	33,000	63
建設部住宅土地政策課	一般	最上山公園等整備事業	20,628	65
建設部住宅土地政策課	一般	市営宝谷団地長寿命化改善事業	35,236	66
建設部上下水道課	水道	水道施設改良事業	125,500	67
建設部上下水道課	水道	水道老朽管更新事業	29,000	68
建設部上下水道課	下水	雨水幹線整備事業	51,015	69
③ 定住魅力の高いまちづくり 316,903千円				
市民生活部まちづくり推進課	一般	地域生活交通対策事業	185,899	23
建設部住宅土地政策課	一般	移住・定住支援事業	39,782	64
波賀市民局まちづくり推進課	一般	波賀生活圏の拠点づくり事業	91,222	82
④ 安全で安心なまちづくり 40,525千円				
産業部農業振興課	一般	農業水路等長寿命化・防災減災事業	40,525	47

令和6年度 主要施策(事業)体系

所 管	会計名	事 業 名	予算額(千円)	部局別 ページ
⑤ 子どもが健やかに育つまちづくり 637,387千円				
健康福祉部社会福祉課	一般	誕生祝い記念品事業	1,260	33
健康福祉部千種保健福祉課	一般	木製玩具整備事業	1,500	38
教育部学校教育課	一般	【新規】不登校児童生徒支援員配置事業	11,832	72
教育部学校教育課	一般	【新規】宍粟市英語検定料補助事業	1,538	73
教育部子ども未来課	一般	【新規】就学前施設DX推進事業	7,595	74
教育部子ども未来課	一般	幼保一元化推進事業	53,651	75
教育部施設整備課	一般	【新規】宍粟材活用児童生徒用学習机整備事業	15,167	76
教育部施設整備課	一般	【新規】(仮称)山崎南小学校統合改修事業	374,391	77
教育部学校給食センター	一般	学校給食運営事業	170,453	79
⑥ 保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり 4,578,260千円				
健康福祉部高年福祉課	一般	介護人材確保対策事業	5,630	34
健康福祉部障害福祉課	一般	障がい者理解啓発推進事業	1,018	35
健康福祉部福祉相談課	一般	ひきこもり対策推進事業	6,724	36
健康福祉部福祉相談課	介護	高齢者通いの場づくり応援事業	3,775	37
健康福祉部一宮北診療所 波賀診療所、千種診療所	国診	国民健康保険診療所運営事業	187,115	39
総合病院	病院	病院事業	4,246,788	85
総合病院	病院	新病院整備事業	127,210	86
⑦ 心豊かにいきいきと学べるまちづくり 13,654千円				
市民生活部まちづくり推進課	一般	生涯スポーツ活動の推進	1,478	25
教育部社会教育文化財課	一般	文化財保存活用地域計画等作成事業	7,887	78
波賀市民局まちづくり推進課	一般	カヌーによる地域づくり事業	4,289	83
参画と協働・男女共同参画の推進 23,723千円				
市長公室秘書政策課	一般	【新規】市歌の制作	2,314	15
市民生活部まちづくり推進課	一般	協働のまちづくりの推進	15,232	24
市民生活部人権推進課	一般	男女共同参画社会の形成・女性活躍の推進	6,177	28
健全な行財政運営の推進 94,482千円				
総務部広報情報課	一般	LGWAN系ネットワーク無線化業務	83,195	21
市民生活部税務課	一般・国保	滞納徴収事業	11,287	26

令和6年度主要施策に係る説明書(市長公室)



単位:千円

所管課	秘書政策課	事業名	市歌の制作					予算書頁	44	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	参画と協働・男女共同参画の推進						
科目名等	2-1-6		基本施策	【参画と協働・男女共同参画の推進】						
	企画費		個別施策	①自主自立のまちづくり						
対象者(受益)		事業目的	市歌の制作・活用を通じて宍粟市の明るい未来の展望を市民と共有するとともに、郷土愛の醸成につなげる。							
具体名	市民									
人数等	—									
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	2,314	0	0	0	0	0	2,314	報償費	130	
R5 当初予算	0	0	0	0	0	0	0	委託料	2,184	
対前年度増減	2,314	0	0	0	0	0	2,314			
R4 決算	0	0	0	0	0	0	0			
事業期間		R6			新規・継続・拡充の別		新規			
事業内容		<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>市歌制定委員会を設置し基本コンセプトの検討から始まり、作詞・作曲の選定を経て市歌を制作する。</p> <p>【市歌制定委員会における検討内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本コンセプト・活用方法検討 ・詞の選定、曲の視聴を経て選定 ・制定委員会から選定された市歌の報告、活用方法の提案等 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>市花:ささゆり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市木:ブナ</p> </div> </div>								
成果目標・事業効果		事業に係る目標(数値目標)	—			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—			
		事業効果	市歌の制作が、豊かな自然や、それぞれの地域でつむがれてきた伝統や文化を引き継ぐことの大切さを再認識する契機となり、市民の“ふるさと意識”の醸成及び市の一体感の高揚につながる。							

令和6年度主要施策に係る説明書(市長公室)



単位:千円

所管課	秘書政策課	事業名	発酵のまち推進事業				予算書頁	109
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針 ①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					R6年度当初予算の内訳 主な費目 金額
科目名等	6-1-3 観光振興費		基本施策 【4】観光の振興					
対象者(受益)	—		個別施策 ①観光資源の有効活用					
具体名	イベント・講座参加者	事業目的	宍粟市が「日本酒発祥の地・発酵のふるさと」のまちであることを市内外に広くPRするとともに、交流人口の増加や発酵文化の普及啓発、市民の健康増進を図る。					
人数等	—							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	1,201	0	0	0	1,201	0	0	負担金 1,201
R5 当初予算	1,281	0	0	0	1,206	0	75	
対前年度増減	△ 80	0	0	0	△ 5	0	△ 75	
R4 決算	787	0	0	0	638	0	149	
事業内容	事業期間	H30 ~		新規・継続・拡充の別	継続			
	【事業期間中の事業内容】							
	<p>「日本酒発祥の地・発酵のふるさと」と呼ばれる「しそう」をめざした取組を推進し、発酵に関連する多種多様な商品等を求めて宍粟市へ訪れる観光客を増やし地域の活性化、さらには発酵食による市民の健康増進を図る。 また、SNSでの情報発信力と拡散力がある20~30代の女性、発酵食に関心がある健康志向の女性や若い世代をターゲットとし発酵のふるさと宍粟への誘客を図る。</p> <p>【R6 事業内容】</p> <p>「発酵のまちづくり推進協議会」を中心として、民間事業者等と連携した次の取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●しそう酒粕フェアの開催 観光客の増える紅葉シーズンから酒粕の需要の高まる冬場にかけて、地元産の酒粕を使った商品を提供する市内の飲食店等を紹介し、観光客の誘客と「日本酒発祥の地・発酵のふるさと」のPRにつなげる。 ●発酵の講座開催 発酵食の魅力や正しい知識、調理方法を学ぶ発酵講座の開催、地域での味噌づくりに講師を派遣するなど発酵食の普及と健康づくりにつなげる。 ●市内小学校味噌づくり事業 各小学校で大豆の栽培から味噌づくりまでを授業の一環として取り組み、味噌づくりを通して幼少期から発酵食に触れることで、発酵文化を身近に感じてもらう。 ●甘酒「にわの糎」を使ったPR 「庭田神社」で採取された麹菌からつくった麹を原料として製造した甘酒「にわの糎」をツールとして、各種イベント等で宍粟市の発酵文化をPRする。 							
 <p>R5しそう酒粕フェアポスター</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	酒粕フェア参加店舗数 25店舗/年 料理教室講座参加者数 64人/年			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)	酒粕フェア参加店舗数 76% 料理教室参加者数 87.5%		
	事業効果	<p>令和元年度に市・民間事業者・各種団体の参画により発足した「発酵のまちづくり推進協議会」において、官民連携による発酵に関するイベントとして、しそう酒粕フェアを開催し、市内の飲食店等で新たな酒粕商品の開発や観光客の誘客などにつながっている。</p> <p>継続的に官民連携による取組を進めることで、「日本酒発祥の地・発酵のふるさと」として知名度の向上と観光客の増加による産業の振興につなげる。</p> <p>また、発酵の講座の開催や市内小学校での味噌づくり事業を推進し、市民への発酵食の普及による健康増進につなげる。</p>						
 <p>R5小学校味噌づくり事業</p>								

令和6年度主要施策に係る説明書(市長公室)



単位:千円

所管課	危機管理課	事業名	宍粟防災センター館内照明LED化事業				予算書頁	125	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	8-1-4		基本施策	【6】資源循環型社会の構築					
	防災センター管理費		個別施策	③省エネの推進					
対象者(受益)		事業目的	環境基本計画等に基づき、宍粟防災センター内の照明器具をLED照明に更新し、電気使用量を抑制することで二酸化炭素排出量を削減する。						
具体名	防災センター使用者								
人数等	34,000人								
予算額等		財源内訳					R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	37,499	0	0	0	3,799	33,700	0	工事請負費	37,499
R5 当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	37,499	0	0	0	3,799	33,700	0		
R4 決算	0	0	0	0	0	0	0		
事業期間		R6		新規・継続・拡充の別		新規			
事業内容		<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>「環境基本計画(第3次)」及び「宍粟市地球温暖化対策地方公共実行計画」に基づき、地球温暖化対策の推進に取り組んでおり、二酸化炭素排出量の削減を進めている。その取組の一つとして、防災センターの照明器具等をLED照明に更新する。</p> <p>LED照明更新 1,585台</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1階事務所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5階大ホール</p> </div> </div>							
事業に係る目標(数値目標)		LED化により電気使用量を削減(年間約17%の削減)			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)			—	
成果目標・事業効果		<p>事業効果</p> <p>①LED化による電気料金及び維持費の削減により、次回更新時(15年後を想定)までに、9,600千円程度の経費削減が見込まれる。 ・電気使用量を削減し、年間約550千円の電気料金の削減が見込まれる。 ・蛍光灯の取替費用等を削減し、年間約90千円の維持費削減が見込まれる。</p> <p>②LED照明に更新することにより電気使用量を抑制し、二酸化炭素排出量の削減につなげる。</p>							

令和6年度主な事業の一覧(市長公室)

単位:千円

所管課	秘書政策課	事業名	営業部設置事業				予算書頁	44	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	2-1-6		基本施策	【4】観光の振興					
	企画費		個別施策	①観光資源の有効活用					
事業期間	R3~	事業概要	森林セラピーを始めとした地域資源を有効活用した効果的な営業を行い、企業研修等の誘致を推進するとともに、市と企業との関係を構築し、関係人口の増加を促進させる。また、包括連携協定締結企業や関連企業との関係性を深化させ、更なる誘致等を促進させる。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財 源 内 訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	6,627	0	0	0	6,545	0	82	旅費	82
R5 当初予算	7,677	0	0	0	7,500	0	177	委託料	6,545
対前年度増減	△ 1,050	0	0	0	△ 955	0	△ 95		
R4 決算	8,967	0	0	0	8,505	0	462		

所管課	地域創生課	事業名	第3次大栗市総合計画前期基本計画及び地域創生総合戦略策定業務				予算書頁	44	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	総合計画の策定事業のため未記載					
科目名等	2-1-6		基本施策						
	企画費		個別施策						
事業期間	R6~R8	事業概要	第2次大栗市総合計画及び地域創生総合戦略の計画期間が令和8年度をもって終了することから、第3次の策定に着手する。						
新規・継続・拡充の別	新規								
予算額等	財 源 内 訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	7,942	0	0	0	0	0	7,942	委託料	7,942
R5 当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	7,942	0	0	0	0	0	7,942		
R4 決算	0	0	0	0	0	0	0		

所管課	地域創生課	事業名	ふるさと納税推進事業				予算書頁	51	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	健全な行財政運営の推進					
科目名等	2-1-15		基本施策	【健全な行財政運営の推進】					
	ふるさとづくり事業費		個別施策	②歳入確保に向けた取組					
事業期間	H26~	事業概要	ポータルサイトやパンフレットなどを活用し、地方税法に基づく寄付金を募り、各種施策の財源として活用する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財 源 内 訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	412,737	0	0	0	412,626	0	111	需用費	83,387
R5 当初予算	402,940	0	0	0	402,829	0	111	使用料	32,591
対前年度増減	9,797	0	0	0	9,797	0	0	積立金	281,125
R4 決算	370,270	0	0	0	370,268	0	2	その他	15,634

所管課	危機管理課	事業名	高齢者向けスクエアードストレイト交通安全教室				予算書頁	46	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり					
科目名等	2-1-8		基本施策	【13】防犯・交通安全の推進					
	防犯・交通安全対策費		個別施策	①交通安全意識の向上					
事業期間	R5~R8	事業概要	高齢者の交通事故減少と交通安全意識の向上を図るため高齢者向けスクエアード・ストレイト交通安全教室を開催する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財 源 内 訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	605	0	0	0	605	0	0	委託料	605
R5 当初予算	655	0	0	0	655	0	0		
対前年度増減	△ 50	0	0	0	△ 50	0	0		
R4 決算	0	0	0	0	0	0	0		

令和6年度主な事業の一覧(市長公室)

単位:千円

所管課	危機管理課	事業名	防犯カメラ設置補助事業				予算書頁	46	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり					
科目名等	2-1-8		基本施策	【13】防犯・交通安全の推進					
	防犯・交通安全対策費		個別施策	③防犯対策の充実					
事業期間	H26～R6	事業概要	地域の安全安心のために公道等に面した場所などにおいて防犯カメラを購入設置しようとする自治会等に対して補助する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	4,560	4,560	0	0	0	0	補助金	4,560	
R5当初予算	320	0	160	0	0	0		160	
対前年度増減	4,240	4,560	△160	0	0	0		△160	
R4決算	120	0	0	0	0	0		120	

所管課	危機管理課	事業名	消防団出会い応援事業				予算書頁	122	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり					
科目名等	8-1-2		基本施策	【12】消防・救急体制の充実					
	非常備消防費		個別施策	①消防体制の強化					
事業期間	R4～	事業概要	地域の消防体制を維持するため、独身の消防団員を対象とした出会い応援を実施することで、消防団員の地元定着及び団員の確保を行うとともに人口減少対策につなげる。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	750	0	0	0	750	0	報償費	50	
R5当初予算	750	0	0	0	750	0	需用費	50	
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	委託料	500	
R4決算	539	0	253	0	286	0	賃借料	150	

所管課	危機管理課	事業名	消防団員運転免許取得等補助事業				予算書頁	124	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり					
科目名等	8-1-2		基本施策	【12】消防・救急体制の充実					
	非常備消防費		個別施策	①消防体制の強化					
事業期間	R1～	事業概要	取得している運転免許の種類等により消防車両を運転することができない団員に対し、運転が可能となるための免許取得等に係る費用の支援を行う。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	1,470	0	0	0	0	1,470	補助金	1,470	
R5当初予算	750	0	0	0	0	750			
対前年度増減	720	0	0	0	0	720			
R4決算	300	0	0	0	0	300			

所管課	危機管理課	事業名	防災センター会議用机整備事業				予算書頁	125	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	8-1-4		基本施策	【1】林業の振興					
	防災センター管理費		個別施策	①宍粟材流通の拡大促進					
事業期間	R6～	事業概要	防災センター5階ホールの会議用机について、経年劣化等により使用に耐えない状況のため、森林環境譲与税を活用し、木製の天板を用いた会議机に更新する。						
新規・継続・拡充の別	新規								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	4,972	0	0	0	0	4,972	備品購入費	4,972	
R5当初予算	0	0	0	0	0	0			
対前年度増減	4,972	0	0	0	0	4,972			
R4決算	0	0	0	0	0	0			

令和6年度主な事業の一覧(市長公室)

単位:千円

所管課	危機管理課	事業名	地域防災力の向上				予算書頁	126	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり					
科目名等	8-1-6		基本施策	【11】防災体制の充実					
	災害対策費		個別施策	①地域防災体制の充実					
事業期間	H26～	事業概要	地域住民の自主防災意識の高揚を図るために自主防災組織を対象に、自主防災マップづくり講習会を開催する。また、「自らの地域は自らが守る」体制づくりを推進するため総合防災訓練を実施する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	432	0	0	0	272	0	160	報償費	160
R5当初予算	487	0	0	0	297	0	190	需用費	138
対前年度増減	△55	0	0	0	△25	0	△30	委託料	100
R4決算	1,288	880	199	0	209	0	0	負担金	34

所管課	危機管理課	事業名	災害用備蓄品購入事業				予算書頁	126	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり					
科目名等	8-1-6		基本施策	【11】防災体制の充実					
	災害対策費		個別施策	②災害に強いまちづくり					
事業期間	H17～	事業概要	災害発生時に避難者へ提供する非常食等備蓄品を購入保管し、災害等に備える。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	3,478	0	0	0	3,478	0	0	需用費	3,478
R5当初予算	3,468	0	0	0	3,468	0	0		
対前年度増減	10	0	0	0	10	0	0		
R4決算	3,262	0	0	0	3,262	0	0		

所管課	危機管理課	事業名	地域防災計画改訂業務				予算書頁	126	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり					
科目名等	8-1-6		基本施策	【11】防災体制の充実					
	災害対策費		個別施策	③危機管理対策					
事業期間	R6	事業概要	災害対策基本法や防災基本計画の改訂を踏まえ、地域防災計画を改訂する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	6,264	0	0	0	0	0	6,264	委託料	6,264
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	6,264	0	0	0	0	0	6,264		
R4決算	0	0	0	0	0	0	0		

所管課	危機管理課	事業名	自主防災組織育成支援事業				予算書頁	127	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり					
科目名等	8-1-6		基本施策	【11】防災体制の充実					
	災害対策費		個別施策	①地域防災体制の充実					
事業期間	H20～	事業概要	自主防災組織が、災害時対応等に使用する資機材の購入に対し補助を行う。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	4,838	0	0	0	0	0	4,838	補助金	4,838
R5当初予算	4,487	0	0	0	0	0	4,487		
対前年度増減	351	0	0	0	0	0	351		
R4決算	2,798	0	0	0	384	0	2,414		

令和6年度主要施策に係る説明書(総務部)



単位:千円

所管課	広報情報課	事業名	LGWAN系ネットワーク無線化業務					予算書頁	49	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	健全な行財政運営の推進						
科目名等	2-1-10		基本施策	【健全な行財政運営の推進】						
	情報管理費		個別施策	①歳出抑制に向けた取組						
対象者(受益)		事業目的	自治体DXの取組の一環として、LGWAN系ネットワーク環境を無線化する。電子契約や支払い事務の電子決裁などと合わせて、市役所業務のデジタル化を進める。							
具体名	栄栗市									
人数等	—									
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	83,195	0	0	0	23,540	0	59,655	委託料	23,540	
R5当初予算	7,480	0	0	0	7,480	0	0	使用料	1,163	
対前年度増減	75,715	0	0	0	16,060	0	59,655	備品購入費	58,492	
R4決算	0	0	0	0	0	0	0			
事業期間		R4	~	R7	新規・継続・拡充の別		継続			
事業内容		<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>現在は有線でパソコンを繋いでいる市役所、北庁舎、各市民局などのLGWAN系ネットワークを無線化するほか、更新時期を迎えたLGWAN系パソコン700台をペーパーレス会議などに対応できるノートタイプに更新する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度: RADIUSサーバーの発注 ・令和5年度: RADIUSサーバーの構築 ・令和6年度: LGWAN系ネットワーク無線化業務対象拠点24施設のネットワークを無線化 LGWAN系パソコン350台を更新 ・令和7年度: LGWAN系パソコン350台を更新 <p>※LGWAN(総合行政ネットワーク)は、地方公共団体間や地方公共団体と政府機関間の通信を行うためのインターネットから分離された行政専用ネットワーク。 ※RADIUS(ラディウス)とは、Remote Authentication Dial In User Serviceの略称で、無線化するネットワークに接続できる端末を制御してセキュリティを担保するための機能。 ネットワークやソフトウェアにアクセスするユーザーの可否を判断する役割を担う。</p> <p>【R6事業内容】</p> <p>LGWAN系ネットワーク無線化業務対象拠点24施設(市役所・北庁舎・市民局ほか)のネットワークを無線化し、LGWAN系パソコン350台を更新する。</p>								
成果目標・事業効果		事業に係る目標 (数値目標)	コピー用紙購入量 5%削減 (対R5年度)			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		—		
事業効果		<p>LGWAN系ネットワークの無線化により、LGWAN系パソコンが執務室や会議室など場所の区別なく自席以外でも接続できるようになるため、職員はLANケーブルの有無に関係なくパソコンを持ち寄って打合せや会議をすることが可能となる。このことにより、LANケーブルの配線にかかる時間や費用のコストが削減できる。庁舎内レイアウトの変更もしやすくなるため、執務環境の柔軟性や利便性の向上につながる。また、資料のペーパーレス化が図れることで、資料作成に係る職員の業務や紙の消費量が削減でき、経費削減につながる。</p>								

令和6年度主な事業の一覧(総務部)

単位:千円

所管課	総務課	事業名	職員研修事業				予算書頁	38	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	健全な行財政運営の推進					
科目名等	2-1-1		基本施策	【健全な行財政運営の推進】					
	一般管理費		個別施策	①歳出抑制に向けた取組					
事業期間	H17~	事業概要	階層毎に必要とされる能力を系統的に身に付け、職員の資質向上を図るとともに、職員の意識改革を進め組織力の向上を図る。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	3,123	0	0	0	220	0	2,903	旅費	1,451
R5当初予算	3,187	0	0	0	167	0	3,020	委託料	890
対前年度増減	△64	0	0	0	53	0	△117	負担金	692
R4決算	2,539	0	0	0	225	0	2,314	その他	90

所管課	総務課	事業名	人事評価システム導入事業				予算書頁	39	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	健全な行財政運営の推進					
科目名等	2-1-1		基本施策	【健全な行財政運営の推進】					
	一般管理費		個別施策	①歳出抑制に向けた取組					
事業期間	R6	事業概要	平成28年度より導入している人事評価制度について、職員のキャリアアップ支援等人材育成への活用を図るためシステムを導入する。						
新規・継続・拡充の別	新規								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	10,890	0	0	0	5,720	0	5,170	委託料	10,340
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0	使用料	550
対前年度増減	10,890	0	0	0	5,720	0	5,170		
R4決算	0	0	0	0	0	0	0		

所管課	総務課	事業名	市長選挙・市議会議員選挙				予算書頁	58	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	該当項目なし					
科目名等	2-4-3		基本施策						
	市長市議会議員選挙費		個別施策						
事業期間	R6~R7	事業概要	令和7年執行予定の、市長・市議会議員選挙の執行準備を行う。 ※債務負担行為(公営ポスター掲示場作製等業務委託他)						
新規・継続・拡充の別	新規								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	3,723	0	0	0	0	0	3,723	報酬	187
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0	職員手当等	1,400
対前年度増減	3,723	0	0	0	0	0	3,723	需用費	2,005
R4決算	0	0	0	0	0	0	0	その他	131

所管課	広報情報課	事業名	情報配信サービス連携サーバ構築業務				予算書頁	50	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	健全な行財政運営の推進					
科目名等	2-1-11		基本施策	【健全な行財政運営の推進】					
	高度情報通信費		個別施策	①歳出抑制に向けた取組					
事業期間	R6	事業概要	メール配信サービスとしてたん通信を連携させ、メールフォームで入力した内容が自動音声でたん通信から流れるように環境整備を行う。						
新規・継続・拡充の別	新規								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	13,860	6,930	0	0	6,930	0	0	委託料	13,860
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	13,860	6,930	0	0	6,930	0	0		
R4決算	0	0	0	0	0	0	0		

令和6年度主要施策に係る説明書(市民生活部)



単位:千円

所管課	まちづくり推進課		事業名	地域生活交通対策事業			予算書頁	44	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	③定住魅力の高いまちづくり				
科目名等	2-1-6			基本施策	【9】生活圏の拠点づくりの推進				
	企画費			個別施策	②公共交通ネットワークの充実				
対象者(受益)			事業目的	通勤、通学、買い物など市民の日常生活を支える交通手段の確保を図ることで、地域で安心して生活できる環境を整備する。					
具体名	市民等								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	185,899	0	0	0	0	0	185,899	補助金	185,899
R5当初予算	137,834	0	0	0	0	0	137,834		
対前年度増減	48,065	0	0	0	0	0	48,065		
R4決算	138,762	2,707	0	0	0	0	136,055		
		事業期間	H27 ~		新規・継続・拡充の別	継続			
【事業期間中の事業内容】									
市民生活を支える路線バス等の運行に必要な経費の一部を助成することで、将来にわたり持続可能な地域公共交通体系を整備する。									
<ul style="list-style-type: none"> ①生活バス路線維持確保対策事業補助金 市外連絡路線、市内完結路線、循環バス路線の運行及び運行管理に要する経費の一部を助成 ②地方バス路線の運行及び運行管理に要する経費の一部を助成 広域バス路線の運行及び運行管理に要する経費の一部を助成 									
【R6事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ①生活バス路線維持確保対策事業補助金 172,089千円 <ul style="list-style-type: none"> ・市外連絡路線(大型バス) 4路線 ・市内完結路線(小型バス) 15路線 ・山崎待合所周辺循環バス路線 ②地方バス等公共交通維持確保対策補助金 13,810千円 <ul style="list-style-type: none"> ・姫路、たつの方面広域 6路線 ・地域公共交通確保維持事業(車両減価償却費補助事業)【新規】 神姫バス(株)6両、(株)ウイング神姫1両を5年償却で更新 国庫補助制度を活用し、県及び沿線市町と協働で助成 									
									
成果目標・事業効果		事業に係る目標(数値目標)	市内路線の年間利用者数 令和8年度 254,700人		目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)	R5年バス事業年度実績 230,916人			
		事業効果	市外連絡路線と広域路線(大型バス)、地域の生活を支える 市内完結路線(小型バス)をネットワーク化し、通勤や通学など 日常生活の移動手段を確保するとともに、地域でいつまでも暮 らせる社会環境を整えることで、市民の定住促進を図る。						
									

令和6年度主要施策に係る説明書(市民生活部)



単位:千円

所管課	まちづくり推進課		事業名	協働のまちづくりの推進			予算書頁	46													
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	参画と協働・男女共同参画の推進																
科目名等	2-1-9			基本施策	【参画と協働・男女共同参画の推進】																
	地域振興費			個別施策	①自主自立のまちづくり																
対象者(受益)			事業目的	人口減少や少子高齢化により、これまで自治会単位で行われてきた地域活動を維持することが難しくなることが想定される。これらの地域課題に対応するために、多様な個人や各種団体等が連携し、支え合う協働のまちづくりを推進する。																	
具体名	市民等																				
人数等	—																				
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳													
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額												
R6 当初予算	15,232	0	0	0	1,933	0	13,299	報酬	7,560												
R5 当初予算	18,612	0	0	0	1,932	0	16,680	報償費	772												
対前年度増減	△ 3,380	0	0	0	1	0	△ 3,381	委託料	5,400												
R4 決算	7,528	0	0	0	333	0	7,195	補助金	1,500												
		事業期間	H26 ~		新規・継続・拡充の別	継続															
【事業期間中の事業内容】																					
<p>宍粟市自治基本条例に定められたまちづくりを推進する団体として、市内15地区の地域活動を支援することで、広域的な地域課題の解決に取り組む地域運営組織の育成を図る。</p> <p>①しそ元気げんきアドバイザー派遣事業 専門的知識を有するアドバイザーを派遣し、地域の組織づくりや活動内容の合意形成支援を行う。</p> <p>②地区コミュニティ支援員設置事業 モデル地区にコミュニティ支援員を配置して、参画と協働のまちづくり実現に向けた地域協議を支援する。</p> <p>③協働のまちづくりトライやる 地区コミュニティ意識の醸成や組織の強化に取り組む地域活動を支援する。交付金事業</p>																					
【R6 事業内容】																					
<table border="0"> <tr> <td>・しそ元気げんきアドバイザー派遣事業他</td> <td>報償費</td> <td>772 千円</td> </tr> <tr> <td>・地区コミュニティ支援員設置事業</td> <td>報酬</td> <td>7,560 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>委託料</td> <td>5,400 千円</td> </tr> <tr> <td>・協働のまちづくりトライやる交付金事業</td> <td>補助金</td> <td>1,500 千円</td> </tr> </table>										・しそ元気げんきアドバイザー派遣事業他	報償費	772 千円	・地区コミュニティ支援員設置事業	報酬	7,560 千円		委託料	5,400 千円	・協働のまちづくりトライやる交付金事業	補助金	1,500 千円
・しそ元気げんきアドバイザー派遣事業他	報償費	772 千円																			
・地区コミュニティ支援員設置事業	報酬	7,560 千円																			
	委託料	5,400 千円																			
・協働のまちづくりトライやる交付金事業	補助金	1,500 千円																			
事業に係る目標 (数値目標)		地域運営組織の創出 15地区			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		モデル地区 4地区														
成果目標・ 事業効果		<p>人口減少により地域活動の担い手が減少するなかで、多様化する地域課題に対応し、活力のある地域を創造していくために、従来の自治会活動を補完する組織として、女性や若者など多様な個人や団体が参加する「地域運営組織」の育成に取り組んでいる。</p> <p>令和6年度には、宍粟市参画と協働のまちづくり指針をもとに、市民や地域との懇談を深め、参画と協働のまちづくりを推進することで、地域課題の解決に向けた組織づくりに取り組む。</p>																			

令和6年度主要施策に係る説明書(市民生活部)




単位:千円

所管課	まちづくり推進課		事業名	生涯スポーツ活動の推進			予算書頁	149	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑦心豊かにいきいきと学べるまちづくり				
科目名等	9-6-1	保健体育総務費		基本施策	【25】スポーツ活動の推進				
				個別施策	①生涯スポーツ活動の推進				
対象者(受益)			事業目的	体力や年齢に関わらず、すべての市民が「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに触れ、楽しむことができる環境を整えることで、元気で生きがいにあふれたまちづくりを推進する。					
具体名	市民等								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	1,478	0	0	28	440	0	1,010	報償費	455
R5 当初予算	2,761	0	0	20	884	0	1,857	役務費	3
対前年度増減	△ 1,283	0	0	8	△ 444	0	△ 847	委託料	192
R4 決算	2,639	0	0	17	1,882	0	740	貸借料	88
		事業期間	H27 ~		新規・継続・拡充の別	継続	補助金	740	
事業内容	【事業期間中の事業内容】								
	<ul style="list-style-type: none"> ① ヴィッセル神戸サッカー教室の開催 ② スポーツ施設のあり方検討委員会(新規) ③ 音水湖を活用したカヌー教室の開催 ④ 宍粟市スポーツ推進委員による普及活動 ⑤ その他 ラジオ体操の普及啓発 				 <p>サッカー教室</p>		 <p>カヌー教室</p>		
事業内容	【R6 事業内容】								
	<ul style="list-style-type: none"> ① サッカー教室の開催 188千円(報償費、保険料) ② スポーツ施設のあり方検討委員会 270千円(報償費) ③ カヌー教室の開催 280千円(委託料、借上料) ④ スポーツ推進委員活動補助金 740千円 ⑤ その他 ラジオ体操の普及啓発 				 <p>ウォーキング教室</p>				
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		市内スポーツ施設利用者数 157,000人/年(R14目標値)			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)		R4年度実績 111,416人	
	<p>【継続事業】</p> <p>サッカー教室やカヌー教室の開催、宍粟市スポーツ推進委員会の生涯スポーツの取組などを通じて、市民がスポーツに触れ、楽しむことができる環境づくりを進めることができる。</p> <p>【新規事業】</p> <p>将来的な対象人口の減少を見据えて、現行の市スポーツ施設について、施設別利用状況や環境評価をもとに、将来的なスポーツ施設のあり方について検討することで、公共施設等総合管理計画個別計画を点検し、市民が安心してスポーツを楽しむことができる環境の整備を図る。</p>								

令和6年度主要施策に係る説明書(市民生活部)



単位:千円

所管課	税務課	事業名	滞納徴収事業					予算書頁	54、国保12																								
会計名	一般会計・国保会計	総合計画の施策体系	基本方針	健全な行財政運営の推進																													
科目名等	2-2-2・1-2-1		基本施策	【健全な行財政運営の推進】																													
	賦課徴収費		個別施策	②歳入確保に向けた取組																													
対象者(受益)		事業目的	宍粟市の財源(税込)確保のため、収納率向上を図る。																														
具体名	滞納者																																
人数等	約1,400人																																
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳																									
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額																								
R6当初予算	11,287	0	0	0	4,359	0	6,928	人件費	7,363																								
R5当初予算	9,562	0	0	0	3,307	0	6,255	需用費	1,200																								
対前年度増減	1,725	0	0	0	1,052	0	673	役務費	2,381																								
R4決算	8,640	0	0	0	1,542	0	7,098	委託料	300																								
事業期間		H17 ~			新規・継続・拡充の別		継続	その他	43																								
【事業期間中の事業内容】																																	
滞納者に対する滞納税徴収及び滞納整理																																	
<ul style="list-style-type: none"> ・文書・電話・訪問による納付督促や財産調査を実施し、納税交渉を行う。納税の意思や納付誓約の履行がない場合は、速やかに差押えを実施する。 ・徴収強化月間(5月・12月)を設け、一斉催告を実施(12月は県と共同で催告を実施)する。 ・任期付職員、収納事務補助員配置により、現年度課税の徴収体制を強化する。 ・市町間併任協定(宍粟市・佐用町)の締結により、財産調査(搜索等)を強化する。 ・無財産・無収入で今後も収入増となる見込みがない場合は、徴収の執行停止を実施する。 																																	
【R6事業内容】																																	
財産調査を徹底し、徴収強化に努める。 市町間併任協定継続による搜索強化及び徴収研修への積極的参加により職員のスキルアップに努める。																																	
<table border="0"> <tr> <td>【一般会計】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財産調査等に係る事務職員人件費</td> <td>3,559千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常経費(催告書等発送郵便料金等)</td> <td>2,347千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>滞納処分費用</td> <td>363千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【国保会計】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>収納事務に係る事務補助員人件費</td> <td>3,804千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常経費(催告書等発送郵便料金等)</td> <td>1,204千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>滞納処分費用</td> <td>10千円</td> <td></td> </tr> </table>										【一般会計】			財産調査等に係る事務職員人件費	3,559千円		経常経費(催告書等発送郵便料金等)	2,347千円		滞納処分費用	363千円		【国保会計】			収納事務に係る事務補助員人件費	3,804千円		経常経費(催告書等発送郵便料金等)	1,204千円		滞納処分費用	10千円	
【一般会計】																																	
財産調査等に係る事務職員人件費	3,559千円																																
経常経費(催告書等発送郵便料金等)	2,347千円																																
滞納処分費用	363千円																																
【国保会計】																																	
収納事務に係る事務補助員人件費	3,804千円																																
経常経費(催告書等発送郵便料金等)	1,204千円																																
滞納処分費用	10千円																																
																																	
成果目標・事業効果		事業に係る目標(数値目標)	現年収納率(R8目標値)		目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)		現年収納率(R4決算)																										
			市税	99.20%		市税	99.06%																										
			国保税	96.30%		国保税	96.00%																										
事業効果		市税・国保税の滞納額縮減と収納率向上を図ることにより、自主財源の確保につながる。																															

令和6年度主要施策に係る説明書(市民生活部)



単位:千円

所管課	生活衛生課	事業名	生ごみ処理機「穴粟版キエーロ」普及事業				予算書頁	52		
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり						
科目名等	2-1-16		基本施策	【6】資源循環型社会の構築						
	環境政策費		個別施策	①ごみの適正処理・再資源化の促進						
対象者(受益)	市民	事業目的	可燃ごみのうち約3割を占める生ごみを効果的に削減する方法の一つとして「キエーロ」の活用を市内に普及させるために、子どもから大人までを対象とした作製講座を生涯学習講座等で実施する。講座を通じて環境への意識向上を図るとともに、地元穴粟材を使用し、木育の一環として木や森林に関わりを深めていく。							
具体名	市民									
人数等	-									
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額		
R6 当初予算	841	0	0	132	0	0	709	需用費	828	
R5 当初予算	852	0	0	120	0	0	732	役務費	13	
対前年度増減	△ 11	0	0	12	0	0	△ 23			
R4 決算	0	0	0	0	0	0	0			
事業内容	事業期間	R5	~	R7	新規・継続・拡充の別	継続				
	【事業期間中の事業内容】									
	<ul style="list-style-type: none"> 実施期間：令和5年度～令和7年度 実施方法 <ul style="list-style-type: none"> ①キエーロ作製講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習事務所等開催の「夏休み子ども講座」 市民団体対象の「出前講座」 ※両講座において3年間で180台を作製 ②両講座を通じてごみの減量、資源の有効利用、森林保全等を理解する環境教育と木育を推進する。 ③講座の開催により、市民に対して周知及び啓発を図り、ごみの減量化対策を促進する。 									
【R6 事業内容】										
<ul style="list-style-type: none"> 各生涯学習事務所等と連携した「キエーロ」作製講座の開催（48台/年） 講座において、「キエーロ」の使い方や効果の説明により、環境への意識向上や減量化の促進を図るとともに、親子が穴粟材に触れ、製作キットを組み立てることで、木育の推進や森林資源の有効利用に繋げる。 市民団体を対象とした出前講座の開催（18台/年） 消費者協会等の団体に「キエーロ」の活用と普及に協力してもらい、地域ぐるみの環境保全活動を実践する。 また、新たに「キエーロ」の作製講座の参加、活用を図るための働きかけを広く実施する。 										
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	年間普及目標	①講座作製台数	180台/3年	②購入補助台数	10台/年	目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)	R5実績	①32% (58台/180台)	②10% (1台)
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 「キエーロ」の作製講座を開催することにより、環境を学ぶ機会を創出し、環境への意識向上とごみの減量化対策を促進する。 講座を通じて普及を図り、障害者就労施設が販売する「キエーロ」の購入補助を行うことにより「キエーロ」を使用したごみ減量に取り組む市民の拡大を図る。 穴粟材の活用により、市民が木に触れ、生活環境に木を取り入れる機会となり木育の推進を図る。 年間生ごみ削減量 111.08kg / 戸 × 60台 = 6,664.8kg 								

令和6年度主要施策に係る説明書(市民生活部)



単位:千円

所管課	人権推進課		事業名	男女共同参画社会の形成・女性活躍の推進			予算書頁	72	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	参画と協働・男女共同参画の推進				
科目名等	3-1-12			基本施策	【参画と協働・男女共同参画の推進】				
	人権推進費			個別施策	②男女共同参画社会の形成				
対象者(受益)			事業目的	家庭・学校・地域・職場など、あらゆる場における男女共同参画意識の向上や主体的な参画を推進する。女性が自分らしく仕事や地域活動の場において活躍することができる環境づくりに取り組む。					
具体名	市民等								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	6,177	150	0	0	0	0	6,027	報償費	745
R5当初予算	1,954	150	0	0	0	0	1,804	役務費	532
対前年度増減	4,223	0	0	0	0	0	4,223	委託料	3,619
R4決算	1,100	0	0	0	0	0	1,100	負担金	675
		事業期間	H22 ~		新規・継続・拡充の別	継続	その他	606	
【事業期間中の事業内容】									
<p>「宍粟市誰もが自分らしく生きる共同参画社会づくり条例及び「第2次宍粟市男女共同参画プラン」に基づき、総合的かつ計画的に施策・事業の推進を図る。</p> <p>また、令和6年度が宍粟市男女共同参画プランの計画期間5年目となるため中間見直しを実施する。</p>									
事業内容【R6事業内容】									
①男女共同参画週間啓発講演会及び男女共同参画拠点機能の充実 ・男女共同参画推進啓発講演会及び出前講座等の実施								359千円	
②しそウイメンズリーダーセミナー ・女性リーダーのスキルアップ及びネットワークづくり促進のための養成講座を実施								275千円	
③宍粟市男女共同参画推進補助事業 ・男女共同参画の推進に関係する研修等への参加費用の支援 ・地域における女性の活躍や女性の社会参画を促進するための啓発等事業実施の支援								675千円	
④企業・事業所向け働き方セミナー ・企業・事業所の管理職を対象に働き方セミナーを実施								300千円	
⑤男女共同参画プラン中間見直し・審議会								4,568千円	
事業に係る目標(数値目標)			①50人(講演会)	②延べ40人	目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)			①33人	②延べ28人
			③12人6団体	④35団体				③4人2件	④—
成果目標・事業効果		<p>本事業を推進することで、家庭や職場、地域や学校、企業・事業所等、あらゆる場において、固定的な性別役割分担意識を解消し、役割や地位における性別の隔たりの解消を進め、多様な意見を反映することができる男女共同参画社会について意識の醸成を図る。</p>							

令和6年度主な事業の一覧(市民生活部)

単位:千円

所管課	まちづくり推進課	事業名	地域おこし協力隊事業				予算書頁	46	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	参画と協働・男女共同参画の推進					
科目名等	2-1-9		基本施策	【参画と協働・男女共同参画の推進】					
	地域振興費		個別施策	①自主自立のまちづくり					
事業期間	H27 ~	事業概要	地域活動の担い手として、都市部から地域おこし協力隊員を採用し、地域への移住を促進することで、地域の活性化を図る。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	41,725	0	0	2,000	0	39,725	報酬	14,511	
R5当初予算	50,752	0	1,304	0	2,000	0	47,448	委託料	10,961
対前年度増減	△ 9,027	0	△ 1,304	0	0	△ 7,723	補助金	4,000	
R4決算	38,574	0	2,323	0	1,124	0	35,127	その他	12,253

所管課	まちづくり推進課	事業名	元気げんき大作戦補助事業				予算書頁	48	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	参画と協働・男女共同参画の推進					
科目名等	2-1-9		基本施策	【参画と協働・男女共同参画の推進】					
	地域振興費		個別施策	①自主自立のまちづくり					
事業期間	H22 ~	事業概要	市民が自ら取り組む公益活動や地域づくり活動を支援することで、市民の創意と工夫による魅力のあるまちづくりを推進する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	3,150	0	0	3,150	0	0	補助金	3,150	
R5当初予算	4,200	0	0	4,200	0	0			
対前年度増減	△ 1,050	0	0	△ 1,050	0	0			
R4決算	2,129	0	0	2,129	0	0			

所管課	まちづくり推進課	事業名	生涯学習推進協議会活動補助事業				予算書頁	141	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑦心豊かにいきいきと学べるまちづくり					
科目名等	9-5-1		基本施策	【23】生涯学習の推進					
	社会教育総務費		個別施策	①誰もが学べる学習環境づくりの推進					
事業期間	H17 ~	事業概要	各地区生涯学習推進協議会の活動を支援することで、市民一人ひとりが心豊かな人生が送れるように生涯学習のまちづくりを推進する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	7,902	0	0	0	0	7,902	補助金	7,902	
R5当初予算	7,902	0	0	0	0	7,902			
対前年度増減	0	0	0	0	0	0			
R4決算	6,241	0	0	0	0	6,241			

所管課	まちづくり推進課	事業名	社会体育・スポーツ活動支援事業				予算書頁	150	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑦心豊かにいきいきと学べるまちづくり					
科目名等	9-6-1		基本施策	【25】スポーツ活動の推進					
	保健体育総務費		個別施策	①生涯スポーツ活動の推進					
事業期間	H17 ~	事業概要	宍粟市スポーツ協会等の活動を支援することで、市民にスポーツをする機会を提供するとともに、スポーツを通じたまちづくりを推進する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	5,800	0	0	400	0	5,400	補助金	5,800	
R5当初予算	5,800	0	0	884	0	4,916			
対前年度増減	0	0	0	△ 484	0	484			
R4決算	8,252	0	0	3,000	0	5,252			

令和6年度主な事業の一覧(市民生活部)

単位:千円

所管課	市民課	事業名	乳幼児医療費助成事業				予算書頁	79
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目	金額
科目名等	3-2-6		基本施策	【22】社会保障の充実				
	乳幼児等医療助成費		個別施策	①福祉医療の適正な運用				
事業期間	H17 ~	事業概要	医療保険における助成事業対象者(0歳~小学3年生)の自己負担額の全額を助成する。(所得制限なし)					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	74,641	0	19,998	0	0	54,643	役務費	202
R5当初予算	66,308	0	17,490	0	0	48,818	委託料	1,916
対前年度増減	8,333	0	2,508	0	0	5,825	扶助費	72,370
R4決算	63,288	0	15,800	0	0	47,488	その他	153

所管課	市民課	事業名	こども医療費助成事業				予算書頁	79
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目	金額
科目名等	3-2-6		基本施策	【22】社会保障の充実				
	乳幼児等医療助成費		個別施策	①福祉医療の適正な運用				
事業期間	H17 ~	事業概要	医療保険における助成事業対象者(小学4年生~高校生世代)の自己負担額の全額を助成する。(所得制限なし)					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	76,585	0	8,911	0	20,368	47,306	役務費	130
R5当初予算	70,879	0	7,982	0	20,563	42,334	委託料	1,737
対前年度増減	5,706	0	929	0	△195	4,972	扶助費	74,569
R4決算	68,596	0	7,429	0	19,387	41,780	その他	149

所管課	市民課	事業名	国民健康保険給付適正化事業				予算書頁	国保14
会計名	国保会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目	金額
科目名等	2-2-1		基本施策	【22】社会保障の充実				
	高額療養費		個別施策	②国民健康保険事業の適正な運営				
事業期間	H17 ~	事業概要	マイナンバーカード取得者へ健康保険証との紐づけと医療機関での利用を周知することで、高額な支払いを発生させないようにし、高額療養費が発生した際は申請勧奨通知を行うなど制度の適正な実施に努める。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	425,714	0	425,714	0	0	0	負担金	425,714
R5当初予算	405,000	0	405,000	0	0	0		
対前年度増減	20,714	0	20,714	0	0	0		
R4決算	379,421	0	379,421	0	0	0		

所管課	生活衛生課	事業名	リサイクル資源集団回収事業奨励金				予算書頁	53
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目	金額
科目名等	2-1-16		基本施策	【6】資源循環型社会の構築				
	環境政策費		個別施策	①ごみの適正処理・再資源化の促進				
事業期間	H17 ~	事業概要	リサイクル資源集団回収団体に登録した幼・小・中学校PTA等に対し、回収した資源ごみの重量に応じて奨励金を交付する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	4,000	0	0	0	0	4,000	補助金	4,000
R5当初予算	4,000	0	0	0	0	4,000		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	3,739	0	0	0	0	3,739		

令和6年度主な事業の一覧(市民生活部)

単位:千円

所管課	生活衛生課	事業名	生ごみ減量化促進事業補助金				予算書頁	53
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目 金額	400
科目名等	2-1-16		基本施策	【6】資源循環型社会の構築				
	環境政策費		個別施策	①ごみの適正処理・再資源化の促進				
事業期間	H20 ~ R6	事業概要	生ごみの減量化を図るために、生ごみ処理機を購入した世帯に対象経費の半額(上限2万円)を助成する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	400	0	0	0	0	400	補助金	400
R5当初予算	400	0	0	0	0	400		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	459	0	0	0	0	459		

所管課	生活衛生課	事業名	自治会資源物再資源化推進事業交付金				予算書頁	53
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目 金額	1,750
科目名等	2-1-16		基本施策	【6】資源循環型社会の構築				
	環境政策費		個別施策	①ごみの適正処理・再資源化の促進				
事業期間	R2 ~	事業概要	廃棄物の抑制・再資源化とともに、資源循環型社会の形成を図るため、予算の範囲内で交付金を交付する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	1,750	0	0	0	0	1,750	補助金	1,750
R5当初予算	1,800	0	0	0	0	1,800		
対前年度増減	△50	0	0	0	0	△50		
R4決算	861	0	0	0	0	861		

所管課	生活衛生課	事業名	スズメバチ駆除事業補助金				予算書頁	90
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目 金額	600
科目名等	4-1-5		基本施策	【7】住環境整備・土地利用の推進				
	環境保全費		個別施策	①生活環境の保全				
事業期間	H27 ~	事業概要	駆除に要する費用の一部を補助することにより、スズメバチによる危害を防止し安全安心なまちづくりに資する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	600	0	0	0	0	600	補助金	600
R5当初予算	600	0	0	0	0	600		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	689	0	0	0	0	689		

所管課	生活衛生課	事業名	一般廃棄物処理基本計画策定				予算書頁	92
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目 金額	3,892
科目名等	4-2-1		基本施策	【6】資源循環型社会の構築				
	清掃総務費		個別施策	①ごみの適正処理・再資源化の促進				
事業期間	R6	事業概要	現計画の計画期間が令和6年度に満了することから、さらなるごみの減量化と再資源化を図り、持続可能な循環型社会の実現に向けた取り組みを推進していくため、第2次一般廃棄物処理基本計画を策定する。					
新規・継続・拡充の別	新規							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	3,892	0	0	0	0	3,892	委託料	3,892
R5当初予算	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	3,892	0	0	0	0	3,892		
R4決算	0	0	0	0	0	0		

令和6年度主な事業の一覧(市民生活部)

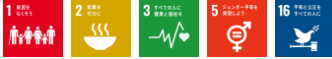
単位:千円

所管課	生活衛生課	事業名	ごみ収集運搬事業				予算書頁	93	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	4-2-2		基本施策	【6】資源循環型社会の構築					
	塵芥処理費		個別施策	①ごみの適正処理・再資源化の促進					
事業期間	H17～	事業概要	家庭ごみ・資源ごみを、ごみステーション・資源物回収ステーションから収集し、中間処理施設に運搬する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	252,876	0	0	30,987	0	221,889	委託料	252,876	
R5当初予算	206,338	0	0	31,173	0	175,165			
対前年度増減	46,538	0	0	△186	0	46,724			
R4決算	205,389	0	0	29,780	0	175,609			

所管課	人権推進課	事業名	消費者市民社会の形成				予算書頁	111	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり					
科目名等	6-1-6		基本施策	【14】消費者行政の推進					
	消費者行政対策費		個別施策	②消費者市民社会の形成					
事業期間	H25～	事業概要	社会の一員として、よりよい市場とよりよい社会の発展のために積極的に関与する消費者を育成し「消費者市民社会」づくりを推進する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	387	0	192	0	0	195	報償費	240	
R5当初予算	398	0	197	0	0	201	需用費	87	
対前年度増減	△11	0	△5	0	0	△6	使用料	60	
R4決算	409	0	205	0	0	204			

所管課	人権推進課	事業名	人権教育・啓発の推進				予算書頁	143	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑦心豊かにいきいきと学べるまちづくり					
科目名等	9-5-3		基本施策	【26】人権教育・啓発の推進					
	人権学習推進費		個別施策	①人権教育・啓発の推進					
事業期間	H17～	事業概要	一人ひとりの人権が尊重されるまちの実現に向け、市民の人権問題に対する理解を深めるための人権教育・啓発活動を推進する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	2,015	0	205	30	0	1,780	報償費	868	
R5当初予算	2,110	0	380	30	0	1,700	委託料	500	
対前年度増減	△95	0	△175	0	0	80	使用料	325	
R4決算	1,361	71	380	0	0	910	その他	322	

令和6年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)



単位:千円

所管課	社会福祉課		事業名	誕生祝い記念品事業			予算書頁	80	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり				
科目名等	3-2-7			基本施策	【15】子育て支援の充実				
	少子化対策事業			個別施策	①子育て支援の充実				
対象者(受益)			事業目的	豊富な森林資源を有する宍粟市の特色を活かし、木育の推進に取り組むことで、子どもをはじめとする全ての人が、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らすことができる地域社会の実現をめざす。					
具体名	新生児								
人数等	約150人								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	1,260	0	0	0	0	0	1,260	報償費	825
R5 当初予算	2,422	0	0	0	0	0	2,422	委託料	435
対前年度増減	△ 1,162	0	0	0	0	0	△ 1,162		
R4 決算	1,158	0	0	0	0	0	1,158		
事業期間		R1 ~			新規・継続・拡充の別		継続		
【事業期間中の事業内容】									
<p>宍粟市では、県下で初めて「ウッドスタート宣言」を行い、地域木材を活用した木育事業を展開しており、その一環として、宍粟市産の木材で製作した木のおもちゃを新生児に贈呈している。</p> <p>現在、贈呈している木のおもちゃは、人や家、山などを模った木製パーツを木箱に収めたもの(製品名:しその箱庭)で、東京おもちゃ美術館の認定を受け、令和元年度から出生届を提出された際に窓口で贈呈している。</p> <p>保護者アンケートを実施したところ、第2子以降には異なるデザインのおもちゃを望む声もあったことから、令和5年度において、新たに2種類の木製玩具を製作し、安全性と遊びの観点からデザイン審査を行い、新たな誕生祝い品として認定した。</p>									
【R6 事業内容】									
<p>令和6年度以降は、新たに製作した「積み木」と「プルトイ」を加えた全3種類の玩具から、保護者に選択いただいた1品を誕生祝い品として新生児に贈呈する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製玩具製作費用 825,000円 (5,500円×150個) ・検品業務等委託料 434,260円 (検品・しおり作成ほか) 									
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>									
事業に係る目標 (数値目標)		—			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		—		
成果目標・事業効果		<p>事業効果</p> <p>香りや手触り、温かさなど、木の特性を活かした木のおもちゃは、遊びの中で創造力や豊かな感性を育むとともに子どもたちの健やかな発達に寄与する。</p> <p>また、宍粟材を活用し、宍粟の職人の手でおもちゃを製作することで、事業に関わるすべての人たちに、宍粟の自然や人々への関心を持ってもらう機会とできる。</p>							

令和6年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)



単位:千円

所管課	高年福祉課		事業名	介護人材確保対策事業			予算書頁	69	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり				
科目名等	3-1-6			基本施策	【21.1】高齢者福祉の充実				
	在宅介護支援費			個別施策	③介護サービス基盤の充実				
対象者(受益)			事業目的	介護人材の需要に対する人材不足の状況を解消するため、介護人材の確保対策を推進する。					
具体名	介護事業所求職者等								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	5,630	0	3,750	0	1,880	0	0	委託料	5,150
R5当初予算	5,630	0	3,750	0	1,880	0	0	補助金	480
対前年度増減	0	0	0	0	0	0	0		
R4決算	5,235	0	3,750	0	1,485	0	0		
事業内容	事業期間	R1 ~			新規・継続・拡充の別		継続		
	【事業期間中の事業内容】								
	介護サービスの基盤となる介護人材不足が課題となるなか、人材の確保・定着に取り組む。								
事業内容	【R6事業内容】								
	1 介護人材確保・定着対策業務 5,003千円 宍粟市総合的な仕事の相談窓口業務において、以下の取組を行うことで介護人材の確保を図る。 ①介護サービス事業所に対する訪問等によるヒアリング ②求職者に対する介護職求人への紹介・職場見学・職場体験の案内 ③離職防止のためのフォローアップ								
	2 介護支援専門員実務研修受講試験対策講座 147千円 年12回程度の受験対策講座を開催し、介護支援専門員の資格取得を支援する。								
成果目標・事業効果	3 介護人材確保事業補助金(奨学金等返還金補助) 480千円 市内の介護・障害福祉サービス事業所等に採用された有資格者の職員で、奨学金を返還している30歳未満の職員に対して奨学金返還額の補助を行う。 奨学金返還額のうち1/3を助成(年間最大16万円)								
	事業に係る目標(数値目標)	介護職求人への紹介件数: 月3件以上			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		—		
	事業効果	1 介護人材確保・定着対策業務 宍粟市総合的な仕事の相談窓口において、求職者からの相談過程で介護分野への就職の可能性を視野に入れた求人情報の提供を行うことで、介護人材確保を図る。また、採用した事業所に対して、就職した者の勤務状況の聞き取りと定着につながる助言を行うことで、就職後の早期離職の防止を図る。 2 介護支援専門員実務研修受講試験対策講座 市内に受験対策講座を実施する機関がなく、遠方での受講も困難な状況において、同講座を市が開催することにより資格取得を支援し、介護支援専門員人材確保を図る。 3 介護人材確保事業補助金(奨学金等返還金補助) 介護人材不足の解消に向け、若い世代が介護職に就くことで長期にわたる介護人材確保を行い、安定した介護サービス提供を図る。							

令和6年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)



単位:千円

所管課	障害福祉課		事業名	障がい者理解啓発推進事業			予算書頁	67	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり				
科目名等	3-1-5	障がい者総合支援費		基本施策	【21.2】障がい福祉の充実				
				個別施策	②地域生活支援の充実				
対象者(受益)			事業目的	障がいのある人や障がいの特性に関して市民の理解を深めるとともに、障がいのある人ない人が日常的に交流し、コミュニケーションを図ることにより、共に支えあいながら共生する地域社会の構築をめざす。					
具体名	市民								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	1,018	340	170	0	0	0	508	報償費	721
R5 当初予算	978	409	204	0	0	0	365	需用費	288
対前年度増減	40	△ 69	△ 34	0	0	0	143	役務費	9
R4 決算	662	102	51	0	201	0	308		
		事業期間	H28 ~		新規・継続・拡充の別		継続		
【事業期間中の事業内容】									
①障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の実施 ・理解促進研修、啓発事業 ・自発的活動支援事業 ②手話施策推進方針に基づく推進施策 手話に対する理解及び手話の普及を図るための活動									
【R6 事業内容】									
【理解促進研修・啓発事業】 ・手話言語国際デー講演会、こころの健康講座、障がい者雇用講演会、パラスポーツ関連 等 286千円 ・手話言語の国際デー ブルーライトアップ掲示物 等 198千円 ・みんなをつなぐ心のバリアフリー展の開催									
【自発的活動支援事業】 ・当事者交流会 30千円									
【手話に対する理解及び手話の普及を図るための活動】 ・手話教室講師派遣事業 504千円 ・手話サポーター、フレンズ登録制度 ・職員、事業者、高齢者対象手話教室 ・広報しそう定期掲載「しーたん手話講座」									
 【みんなをつなぐ心のバリアフリー展の様】									
成果目標・事業効果		事業に係る目標 (数値目標)	みんなをつなぐ心のバリアフリー展 来場数 350人			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)	—		
		事業効果	啓発活動を通して、障がいに関する正しい情報を伝えることで、様々な心身の特性や考え方への理解が進む。また、誰もが参加できるイベントを実施することで、市民の交流や障がいのある人の社会参加を促進する。						

令和6年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)



単位:千円

所管課	福祉相談課		事業名	ひきこもり対策推進事業			予算書頁	62		
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり					
科目名等	3-1-1	社会福祉総務費		基本施策	【21】地域福祉の充実					
				個別施策	②社会的孤立の解消					
対象者(受益)	市民		事業目的	ひきこもり相談事業、ひきこもりサポート事業(情報発信、居場所の提供等)を行うことで、ひきこもりの当事者及び家族の支援を図る。						
具体名	—									
人数等	—									
予算額等	財源内訳							R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	6,724	3,362	0	0	3,362	0	0	報償費	1,350	
R5 当初予算	6,506	3,253	0	0	3,253	0	0	旅費	17	
対前年度増減	218	109	0	0	109	0	0	需用費	57	
R4 決算	5,714	2,857	0	0	2,857	0	0	委託料	5,300	
事業内容	事業期間	R2 ~			新規・継続・拡充の別	継続				
	【事業期間中の事業内容】									
	<p>ひきこもり支援を取り巻く現状と課題を踏まえ、関係機関とも連携を図りながら地域における相談・支援体制の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報発信・普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりに関する正しい理解の促進 ・情報発信(情報を届けるアウトリーチ)や相談窓口の周知 ・ひきこもりサポーターの養成 ○一人ひとりの状態・状況に応じたきめ細やかな支援 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域における相談体制の充実 ・当事者のニーズ把握と適切なアセスメント ・家族のニーズ把握とアセスメント ・多様な社会参加の場の充実 ・当事者や家族との信頼関係の構築と継続的支援 ○切れ目のない支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との支援ネットワークの構築 									
										
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—				
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりサポート事業 <p>ひきこもり当事者が本人の状態やニーズに合った居場所等に参加し、人とつながる機会を増やすことで、自己肯定感や自尊感情を取り戻し、社会とのつながりを築くことができる。ひきこもり講演会やひきこもり支援に関する情報を発信し、ひきこもりへの理解を促進することで、ひきこもり当事者や家族が、安心して相談や支援を求められる環境を整えることができる。ひきこもり・不登校の家族会と連携し、家族会の活動を支援することで、当事者・家族、支援者が共に支え合う関係づくりを構築することができる。</p> ・ひきこもり相談事業 <p>相談員と保健師と一緒にケースの見立てから支援までを関わることで、一人ひとりの状態・状況に応じた伴走支援を行うことができる。来所相談が難しいケースに対して、訪問相談(アウトリーチ)を行うことで、寄り添いながら継続的な支援を行うことができる。関係機関への訪問により、支援ネットワークの構築・強化を図ることができる。</p> 								

令和6年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)



単位:千円

所管課	福祉相談課		事業名	高齢者通いの場づくり応援事業			予算書頁	介護18	
会計名	介護会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり				
科目名等	3-1-3			基本施策	【21.1】高齢者福祉の充実				
	一般介護予防事業費			個別施策	②高齢者の生きがいづくり・介護予防事業の推進				
対象者(受益)			事業目的	地域力を活かした住民主体の通いの場をより充実させることで、地域での支え合い活動や高齢者の社会参加・生きがい活動を推進する。					
具体名	高齢者								
人数等	12,940人								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	3,775	935	472	0	1,491	0	877	報償費	325
R5 当初予算	3,750	937	468	0	1,481	0	864	補助金	3,450
対前年度増減	25	△2	4	0	10	0	13		
R4 決算	2,550	637	319	0	1,007	0	587		
事業期間		H29 ~		新規・継続・拡充の別		継続			
【事業期間中の事業内容】									
<p>地域づくりによる「通いの場」を運営する地域の住民や団体に対し助成金を交付することにより、通いの場の取組の継続と拡充を図り、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び要介護状態の予防と地域の支え合い体制を構築する。</p> <p><具体的な取組></p> <ol style="list-style-type: none"> ①各種専門職の講師を派遣し、ミニ講座を実施することで、通いの場をより充実させる。 ②ミニ講座については、いきいき百歳体操の参加者に意見を聞きながら充実させる。 ③1教室に対し年1回以上のミニ講座が実施できるように働きかける。 ④より効果的ないきいき百歳体操の実施に向け週1回の定着と各教室の状況を見ながら週2回の実施を推進する。 ⑤いきいき百歳体操参加者に、年1回の体力測定やアンケートを実施し、いきいき百歳体操の評価をする。 ⑥認知症予防健診、後期高齢者フレイル健診結果により、フレイル状態の方に対して心身の状態に応じ、いきいき百歳体操への参加を呼びかけ、フレイル予防を図る。 ⑦通いの場が開設できていない地域や団体等へ開設に向けた支援を行う。 									
【R6 事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場への専門職の講師派遣(報償費:325千円) 専門職を講師として派遣する。 ・通いの場への助成金(補助額:3,450千円) いきいき百歳体操1教室につき上限5万円(年間)で助成金を交付する。 (1人1回50円×1教室1年間の参加回数) ・活動の担い手不足から、「通いの場」が開設できていない地域や団体等へ開設に向けた支援を行う。 									
 									
成果目標・事業効果		事業に係る目標 (数値目標)	通いの場の新規開設数 1か所 (令和6年度末教室数 124か所)	目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)	123か所 (令和6年1月現在)				
事業効果		<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の「通いの場」に、参加者同士が気軽に集まり、交流することで、身体機能の維持・向上だけでなく、仲間づくりや生きがいづくり、身近な地域での見守りや支えあいなど、地域づくりにつながる様々な効果が期待できる。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者が外出や活動を控えることでフレイルの進行等が懸念される中、「通いの場」に、保健師、リハビリテーション専門職、管理栄養士、歯科衛生士を派遣し、フレイル予防に効果的な体操の指導や栄養指導、口腔ケアの指導等を行うことにより、「通いの場」の更なる充実が図れる。 							

令和6年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)



単位:千円

所管課	千種保健福祉課		事業名	木製玩具整備事業			予算書頁	82	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり				
科目名等	3-2-7			基本施策	【15】子育て支援の充実				
	少子化対策事業費			個別施策	①子育て支援の充実				
対象者(受益)			事業目的	豊富な森林資源を有する宍粟市の特色を生かし、木育の推進に取り組むことで、子どもをはじめとする全ての人が木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らすことができる地域社会の実現をめざす。					
具体名	市民								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	1,500	0	0	0	0	0	1,500	備品購入費	1,500
R5 当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	1,500	0	0	0	0	0	1,500		
R4 決算	0	0	0	0	0	0	0		
		事業期間	R2 ~ R6		新規・継続・拡充の別		継続		
事業内容		<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>宍粟市では、兵庫県内で初めて、『ウッドスタート宣言』を行う地方公共団体として、子育てや教育環境において本市ならではの木育の推進を行っているところである。</p> <p>令和6年度においては、千種子育て支援センターに木製玩具を整備することにより、木の良さや温もりを感じることができる環境を整え、感性豊かな子どもの心と体の成長を促すとともに、郷土愛の醸成につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型木製玩具及び積み木等の小型木製玩具の購入 ・市内の子育て支援センター交流事業において木製玩具を活用した事業を実施 							
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">木製玩具利用のイメージ</div>							
									
		事業に係る目標 (数値目標)	—			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)	—		
成果目標・事業効果		<p>市内の子ども及びその保護者が木製品と触れ合う機会の創出や木育の普及啓発により、木や森への関心を高めてもらうことで、宍粟市への愛着の深まりや暮らしに木を取り入れようとする意識の醸成が期待される。</p> <p>また、乳幼児期から木に触れることで、子どもの感性が豊かになることが期待できる。</p>							

令和6年度主要施策に係る説明書(健康福祉部)



単位:千円

所管課	一宮北診療所、波賀診療所、千種診療所		事業名	国民健康保険診療所運営事業			予算書頁	国診10																																									
会計名	国保診療所会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり																																												
科目名等	—			基本施策	【20】地域医療の充実																																												
	—			個別施策	①地域医療の充実																																												
対象者(受益)			事業目的	医療資源が希薄な市北部において、在宅で暮らす市民が安心して暮らせるよう、地域医療の確保を図る。																																													
具体名	市民																																																
人数等	—																																																
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳																																									
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額																																								
R6 当初予算	187,115	0	0	0	100,620	2,000	84,495	職員人件費	81,637																																								
R5 当初予算	180,001	0	1,991	0	94,417	1,900	81,693	一般管理費	67,800																																								
対前年度増減	7,114	0	△ 1,991	0	6,203	100	2,802	医療用機械器具費	6,581																																								
R4 決算	173,777	0	1,050	0	87,627	4,000	81,100	医療用消耗器材費	2,676																																								
事業期間		H17 ~		新規・継続・拡充の別		継続		医療衛生材料費	28,421																																								
【事業期間中の事業内容】																																																	
<p>一宮北診療所、波賀診療所、千種診療所を設置し、次の診療体制により診療を行う。 一宮北診療所は、火曜日及び水曜日の午後診察を開始する。(令和6年4月から)</p> <p>○一宮北診療所 診察日:火曜日・水曜日・金曜日 受付時間:火曜日・水曜日:8時30分~11時30分 13時00分~15時00分 金曜日:8時30分~11時30分 医師:会計年度任用職員医師</p> <p>○波賀診療所 診察日:火曜日・水曜日・金曜日 受付時間:火曜日・金曜日 9時00分~13時00分 水曜日 8時30分~11時30分 医師:派遣医師</p> <p>○千種診療所 (一般診療) (眼科) 診察日:月曜日~金曜日 診察日:火曜日 受付時間:8時30分~11時00分 13時00分~16時00分 受付時間:8時30分~14時00分 医師:専属医師 医師:派遣医師</p>																																																	
 <p style="text-align: center;">波賀診療所</p>																																																	
【R6 事業内容】																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>診療所別の当初予算の内訳は次のとおりです。</th> <th colspan="3"></th> <th>(単位:千円)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>一宮北診療所</th> <th>波賀診療所</th> <th>千種診療所</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員人件費</td> <td>9,973</td> <td>8,605</td> <td>63,059</td> <td>81,637</td> </tr> <tr> <td>一般管理費</td> <td>22,771</td> <td>19,236</td> <td>25,793</td> <td>67,800</td> </tr> <tr> <td>医療用機械器具費</td> <td>1,770</td> <td>1,594</td> <td>3,217</td> <td>6,581</td> </tr> <tr> <td>医療用消耗器材費</td> <td>500</td> <td>636</td> <td>1,540</td> <td>2,676</td> </tr> <tr> <td>医療衛生材料費</td> <td>1,100</td> <td>7,317</td> <td>20,004</td> <td>28,421</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36,114</td> <td>37,388</td> <td>113,613</td> <td>187,115</td> </tr> </tbody> </table>										診療所別の当初予算の内訳は次のとおりです。				(単位:千円)		一宮北診療所	波賀診療所	千種診療所	合計	職員人件費	9,973	8,605	63,059	81,637	一般管理費	22,771	19,236	25,793	67,800	医療用機械器具費	1,770	1,594	3,217	6,581	医療用消耗器材費	500	636	1,540	2,676	医療衛生材料費	1,100	7,317	20,004	28,421	合計	36,114	37,388	113,613	187,115
診療所別の当初予算の内訳は次のとおりです。				(単位:千円)																																													
	一宮北診療所	波賀診療所	千種診療所	合計																																													
職員人件費	9,973	8,605	63,059	81,637																																													
一般管理費	22,771	19,236	25,793	67,800																																													
医療用機械器具費	1,770	1,594	3,217	6,581																																													
医療用消耗器材費	500	636	1,540	2,676																																													
医療衛生材料費	1,100	7,317	20,004	28,421																																													
合計	36,114	37,388	113,613	187,115																																													
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—																																											
	事業効果	医療資源の希薄な地域での地域医療の確保を図ることで、市民が住み慣れた地域で暮らし続けるうえでの安心につながる。																																															

令和6年度主な事業の一覧(健康福祉部)

単位:千円

所管課	社会福祉課	事業名	しそく低所得世帯物価高騰重点支援給付金	予算書頁	61			
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり				
科目名等	3-1-1		基本施策	【22】社会保障の充実				
	社会福祉総務費		個別施策	④生活困窮者などへの対応				
事業期間	R6	事業概要	国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策(令和5年11月2日閣議決定)」を受け、物価高に最も切実に苦しんでいる低所得世帯に対しこども加算も合わせて迅速に支援を届けるほか、令和6年度税制改正による定額減税・調整給付を実施する。					
新規・継続・拡充の別	新規							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	259,459	259,459	0	0	0	0	人件費	4,468
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	委託料	12,900
対前年度増減	259,459	259,459	0	0	0	0	補助金	241,480
R4決算	0	0	0	0	0	0	その他	611

所管課	社会福祉課	事業名	生活困窮者自立支援事業(自立相談支援事業)	予算書頁	61			
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり				
科目名等	3-1-1		基本施策	【22】社会保障の充実				
	社会福祉総務費		個別施策	④生活困窮者などへの対応				
事業期間	H27 ~	事業概要	相談支援員及び就労支援員を配置し、現に生活に困窮されている方、または困窮するおそれがある方に対して、包括的な相談支援事業を実施する。また、就労にかかわる自立相談支援の一部を委託により実施する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	12,685	9,513	0	0	0	3,172	人件費	9,564
R5当初予算	11,370	8,310	0	0	0	3,060	旅費	26
対前年度増減	1,315	1,203	0	0	0	112	需用費	11
R4決算	10,406	7,804	0	0	0	2,602	委託料	3,084

所管課	社会福祉課	事業名	地域福祉計画策定事業	予算書頁	62			
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり				
科目名等	3-1-1		基本施策	【21】地域福祉の充実				
	社会福祉総務費		個別施策	①地域福祉活動の推進				
事業期間	R5 ~ R6	事業概要	現地域福祉計画の計画期間が令和6年度末で満了することから、社会福祉法や県地域福祉支援計画の基本的な考え方と整合を図りながら、本市における各福祉分野の現況や新たな課題等を盛り込んだ次期計画を策定する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	2,063	0	0	0	0	2,063	報償費	197
R5当初予算	2,698	0	0	0	0	2,698	需用費	18
対前年度増減	△ 635	0	0	0	0	△ 635	役務費	8
R4決算	0	0	0	0	0	0	委託料	1,840

所管課	社会福祉課	事業名	生活困窮者自立支援事業(就労準備支援事業・就労支援事業)	予算書頁	62			
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり				
科目名等	3-1-1		基本施策	【22】社会保障の充実				
	社会福祉総務費		個別施策	④生活困窮者などへの対応				
事業期間	H28 ~	事業概要	就労に向けた課題を抱え、生活に困窮されている方に対して、日常生活習慣の改善、就労に向けた技法習得などを支援する「就労準備支援」と、求人情報の提供や個別相談、就職後の職場定着支援などを行う「就労支援」を委託により実施する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	6,211	4,396	0	0	0	1,815	役務費	73
R5当初予算	6,211	4,396	0	0	0	1,815	委託料	6,138
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	6,209	4,394	0	0	0	1,815		

令和6年度主な事業の一覧(健康福祉部)

単位:千円

所管課	社会福祉課	事業名	生活困窮者自立支援事業(家計改善支援事業)	予算書頁	63			
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり				
科目名等	3-1-1		基本施策	【22】社会保障の充実				
	社会福祉総務費		個別施策	④生活困窮者などへの対応				
事業期間	R1 ~	事業概要	家計状況を適切に管理することができないため生活に困窮されている方に対して、家計改善にかかるプラン作成、各種相談機関への連絡調整及び同行支援等を委託により実施する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	931	620	0	0	0	311	委託料	931
R5当初予算	931	620	0	0	0	311		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	931	621	0	0	0	310		

所管課	社会福祉課	事業名	子ども・子育て支援事業計画策定事業	予算書頁	80			
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり				
科目名等	3-2-7		基本施策	【15】子育て支援の充実				
	少子化対策事業費		個別施策	②地域や社会で子育てを支える体制づくり				
事業期間	R5~R6	事業概要	現行の第2期計画が令和6年度末で終了することから、引き続き、教育・保育の提供体制の確保や地域の子ども・子育て支援の充実を総合的に推進していくことを目的に、第3期計画を策定する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	2,135	0	0	0	0	2,135	報酬	246
R5当初予算	3,058	0	0	0	0	3,058	需用費	42
対前年度増減	△ 923	0	0	0	0	△ 923	役務費	7
R4決算	0	0	0	0	0	0	委託料	1,840

所管課	社会福祉課	事業名	病児・病後児保育事業	予算書頁	80			
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり				
科目名等	3-2-7		基本施策	【15】子育て支援の充実				
	少子化対策事業費		個別施策	②地域や社会で子育てを支える体制づくり				
事業期間	R1~	事業概要	保護者の子育てと就労等の両立を支援するため、児童が病氣やけがにより集団保育が困難な場合で、保護者が仕事を休めないようなときに、一時的にその児童を預かり保育する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	16,196	4,015	4,015	409	7,757	0	需用費	419
R5当初予算	17,266	3,026	3,026	140	11,074	0	委託料	15,101
対前年度増減	△ 1,070	989	989	269	△ 3,317	0	賃借料	600
R4決算	16,093	2,843	2,843	140	10,267	0	その他	76

所管課	社会福祉課	事業名	結婚新生活支援補助事業	予算書頁	82			
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	③定住魅力の高いまちづくり				
科目名等	3-2-7		基本施策	【10】移住・定住促進の充実				
	少子化対策事業費		個別施策	③出会いの場の創出・結婚支援				
事業期間	R3~	事業概要	経済的な理由により結婚に踏み切れない若者に対し、結婚後の住居に要する費用の一部を補助することで、結婚への後押しをするとともに、結婚を機会とした近隣市町への転出を抑制する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	6,000	4,000	0	0	2,000	0	補助金	6,000
R5当初予算	6,000	4,000	0	0	2,000	0		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	3,487	988	0	0	2,499	0		

令和6年度主な事業の一覧(健康福祉部)

単位:千円

所管課	障害福祉課	事業名	外出支援サービス事業				予算書頁	69	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり					
科目名等	3-1-6		基本施策	【21.2】障がい福祉の充実					
	在宅介護支援費		個別施策	②地域生活支援の充実					
事業期間	H17～	事業概要	公共交通機関の利用が困難で、外出が困難な高齢者や障がいのある人に対し、外出支援サービスを提供し、自立と社会参加の促進及び保健福祉の向上を図る。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	58,261	0	0	0	9,100	49,161	需用費	398	
R5当初予算	58,399	0	0	0	16,100	42,299	役務費	163	
対前年度増減	△138	0	0	0	△7,000	6,862	委託料	57,500	
R4決算	52,484	0	0	0	46,400	6,084	補助金	200	

所管課	保健福祉課	事業名	妊活カップル応援金給付事業				予算書頁	82	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	3-2-7		基本施策	【15】子育て支援の充実					
	少子化対策事業費		個別施策	①子育て支援の充実					
事業期間	R4～	事業概要	特定不妊治療を受けたカップルに対して応援金を給付(採卵有は1回につき10万円、採卵無は1回につき5万円)することにより妊娠を希望するカップルが前向きに不妊治療に取り組む環境づくりを推進し、出生数の維持、増加を図る。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	2,500	0	0	0	2,500	0	補助金	2,500	
R5当初予算	2,500	0	0	0	2,500	0			
対前年度増減	0	0	0	0	0	0			
R4決算	1,550	0	0	0	1,550	0			

所管課	保健福祉課	事業名	健康しそ21(第3次)及び第2次栄粟市食育推進計画中間評価事業				予算書頁	85	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり					
科目名等	4-1-1		基本施策	【19】健康づくりの推進					
	保健衛生総務費		個別施策	①生涯を通じた健康づくり活動の推進					
事業期間	R5～R6	事業概要	平成30年度に10年計画として策定した「健康しそ21(第3次)及び第2次栄粟市食育推進計画」の令和5年度～6年度に中間評価を行い、令和7年度からの健康増進、食育の取組内容の見直しを行う。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	1,596	0	0	0	0	1,596	報酬	296	
R5当初予算	2,462	0	0	0	0	2,462	需用費	100	
対前年度増減	△866	0	0	0	0	△866	役務費	35	
R4決算	0	0	0	0	0	0	委託料	1,165	

所管課	保健福祉課	事業名	がん患者アピアランスサポート事業				予算書頁	89	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり					
科目名等	4-1-3		基本施策	【19】健康づくりの推進					
	保健事業費		個別施策	①生涯を通じた健康づくり活動の推進					
事業期間	R3～	事業概要	がん治療による外見変貌を補完する補正具の購入費用の一部を助成することで、がん患者の就労等社会参加を促進し、療養生活の質の維持向上を図る。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	660		330	0	330	0	補助金	660	
R5当初予算	110	0	55	0	55	0			
対前年度増減	550	0	275	0	275	0			
R4決算	200	0	100	0	100	0			

令和6年度主な事業の一覧(健康福祉部)

単位:千円

所管課	福祉相談課	事業名	成年後見制度利用促進事業				予算書頁	62	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり					
科目名等	3-1-1		基本施策	【21】地域福祉の充実					
	社会福祉総務費		個別施策	②社会的孤立の解消					
事業期間	H28～	事業概要	認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方を対象に、成年後見制度の積極的な活用に向けた利用促進を図る。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等		財 源 内 訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	1,370	0	1,026	0	0	0	344	報償費	1,233
R5 当初予算	1,447	0	1,085	0	0	0	362	需用費	137
対前年度増減	△ 77	0	△ 59	0	0	0	△ 18		
R4 決算	2,054	0	1,539	0	0	0	515		

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	農業振興課	事業名	山村活性化支援交付金事業				予算書頁	99
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-1-3		基本施策	【2】農業の振興				
	農業振興費		個別施策	①生産の振興と流通の促進				
対象者(受益)		事業目的	山村地域の特色を活かした生産取組を拡大し、ブランド化による地域経済の活性化を図る。また、雇用の増大や耕作できる農地を増やし地域の活性化を図る。					
具体名	市民							
人数等	—							
予算額等		財源内訳					R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
R6 当初予算	9,983	9,983	0	0	0	0	0	需用費 4,631
R5 当初予算	9,998	9,998	0	0	0	0	0	委託料 3,610
対前年度増減	△ 15	△ 15	0	0	0	0	0	貸借料 461
R4 決算	5,768	4,599	0	0	0	0	1,169	負担金 883
		事業期間	R4 ~ R6	新規・継続・拡充の別	継続			その他 398
事業内容	【事業期間中の事業内容】							
	<p>○4品目の栽培技術を確立し販売促進及び新商品開発等に取り組む。</p> <p>I:主食用水稲・・・①減農薬、減化学肥料栽培を、収量・食味を極力落とさず安定生産する栽培技術を確立 ②自然環境の魅力を生かしたPR動画と食味検査等の根拠に基づく情報等を組み合わせた販売戦略によりブランド米の知名度と販路を確立 ③環境配慮型農作物への理解を消費者及び生産者へ広める取組みとして、学校給食センターへ試食用米を提供し教育現場と連携して食と農をめぐる環境教育を実施</p> <p>II:黒大豆・・・収量増かつ高品質で栽培が容易な品種の選定及び栽培技術の確立とドローンによる防除等の試験</p> <p>III:小豆・・・北部地域での栽培実証及び加工品開発</p> <p>IV:山椒・・・低樹高化の仕立て等の技術の確立及び加工品開発</p>							
事業内容	【R6 事業内容】							
	<p>I:主食用水稲:5,145千円 ・生産実証【栽培暦作成、実証栽培20ha】 ・販売促進【米袋作成、ポスター作製、食味検査、即売活動】 ・広報活動【学校給食センター・こども園・幼稚園・保育所用給食用米、環境教育及びアンケート調査】</p> <p>II:黒大豆:860千円 ・生産実証【実証栽培60a】、省力化の推進</p> <p>III:小豆:1,591千円 ・生産実証【実証栽培20a】、加工品開発</p> <p>IV:山椒:800千円 ・生産実証【実証栽培4a】、加工品開発</p> <p>○上記品目の販路拡大・促進PR活動など1,587千円(フード関西・アグリ東京・山の恵みマルシェほか)</p>							
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		—		目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)		—	
事業効果	山村振興地域において、農林水産物等の消費の拡大や域外への販売促進、付加価値向上等のブランド化による地域経済の活性化を図り、地域資材の潜在力を再評価するとともに中山間地域の特色を活かした営農と所得確保を図る。							

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	農業振興課	事業名	鳥獣対策事業					予算書頁	100	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針 ①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり							
科目名等	5-1-3 農業振興費		基本施策 【2】農業の振興							
			個別施策 ③農業生産基盤の整備							
対象者(受益)		事業目的	加害対象鳥獣の駆除と適正な個体数調整及び被害防止柵の設置により、農作物の被害を防止し、農業経営の安定を図るとともに生態系の保全を図る。							
具体名	市民									
人数等	—									
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	36,614	0	9,305	0	0	0	27,309	負担金	13,615	
R5 当初予算	38,788	0	9,455	0	0	0	29,483	補助金	22,999	
対前年度増減	△ 2,174	0	△ 150	0	0	0	△ 2,174			
R4 決算	33,995	0	5,814	0	0	0	28,181			
事業期間		H17 ~			新規・継続・拡充の別		継続			
事業内容		<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>1、鳥獣被害防止柵設置事業 農業被害防止柵事業として集落型、団地型による防止柵設置と補修を行う。</p> <p>2、有害鳥獣捕獲事業 鳥獣被害防止計画に基づき、下記の事業を実施する。 ① 市単独有害鳥獣捕獲事業 ② シカ有害捕獲促進支援事業 ③ シカ緊急捕獲拡大事業 ④ 有害鳥獣対策費補助事業 ⑤ 有害鳥獣捕獲従事者確保事業</p>  <p>【R6 事業内容】</p> <p>1、鳥獣被害防止柵設置事業 山崎管内(474千円) 一宮管内(471千円) 波賀管内(471千円) 千種管内(471千円) … 1,887千円</p> <p>2、有害鳥獣捕獲事業 鳥獣被害防止計画に基づき、下記の事業を実施する。 ① 市単独有害鳥獣捕獲事業 … 6,425千円 内訳 (一社)兵庫県猟友会宍粟支部【均等割】 … 1,000千円 保険料補助(銃器91人・ワナ112人) … 535千円 有害鳥獣捕獲事業(シカ700頭 イノシシ230頭 アライグマ・ヌートリア30頭) … 4,890千円 ② シカ有害捕獲促進支援事業(シカ700頭) … 14,000千円 ③ シカ緊急捕獲拡大事業(1,945頭) … 13,615千円 ④ 有害鳥獣対策費補助事業 … 240千円 ⑤ 有害鳥獣捕獲従事者確保事業(銃器3人、ワナ4人) … 447千円</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	農作物獣害被害額低減 R2 18,664千円→R6 14,931千円 (宍粟市鳥獣被害防止計画)			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		R4 11,807千円			
	事業効果	加害鳥獣の捕獲及び防護柵設置により、農作物被害を抑制することで農業経営の安定化を図る。有害鳥獣捕獲活動従事者の狩猟免許の取得及び更新に係る費用の一部を助成することにより、後継者の育成を図る。								

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	農業振興課		事業名	新規就農支援事業			予算書頁	100	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-1-3	事業目的		基本施策	【2】農業の振興				
	農業振興費			個別施策	②担い手の確保・育成				
対象者(受益)	新規就農者		新規就農者増による地域農業の発展と活性化、さらには、耕作放棄地や遊休農地の発生防止を図る。						
具体名	新規就農者								
人数等	—								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	10,200	0	7,200	0	3,000	0	補助金	10,200	
R5当初予算	12,500	0	7,500	0	5,000	0			
対前年度増減	△ 2,300	0	△ 300	0	△ 2,000	0			
R4決算	19,767	0	16,767	0	3,000	0			
事業内容	事業期間	H27 ~ R8		新規・継続・拡充の別	継続				
	【事業期間中の事業内容】								
	<p>○新規就農者育成総合対策事業(旧次世代人材事業)</p> <p>市内の新規就農者に対し、就農開始から最長3年間において、年額1,500千円を上限に資金を助成する。また、対象事業費10,000千円を上限に機械・施設等の導入を支援する。</p> <p>○新規就農促進事業</p> <p>市内での定住・新規就農者に対し、就農開始から最長3年間において年額1,000千円を上限に営農継続経費を助成する。</p>								
【R6事業内容】									
<p>事業フロー</p> <pre> graph TD A[新規就農相談] --> B[認定] B -- "50歳未満" --> C[新規就農者育成総合対策事業] B -- "50歳以上60歳未満" --> D[新規就農促進事業] style D stroke:#f00,stroke-width:2px </pre> <p>○新規就農者育成総合対策事業(国)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧次世代人材投資資金交付事業分(R3までの事業認定者) 事業対象者2名(継続2名) 2,700千円 ・新規就農者育成総合対策事業分(R4から事業認定者) 事業対象者3名(継続3名) 4,500千円 <p>○新規就農促進事業(市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業対象者3名(継続1名、新規2名) 1,000千円×3名 3,000千円 									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	新規就農者 年間2名以上			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	新規就農者 19名 (R8年度末で延べ24人) 79%			
	事業効果	新規就農者を増やすことにより、農業の担い手不足による地域農業の衰退を防ぐことができる。また、農地の集積等活性化を図ることに有効であり、新規就農者が安心して経営開始や拡大ができるよう経済的な支援を行う。							

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	農業振興課		事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業			予算書頁	101	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり				
科目名等	5-1-5	農村整備事業費		基本施策	【11】防災体制の充実				
				個別施策	②災害に強いまちづくり				
対象者(受益)			事業目的	農業の持続的な発展を後押しするため、農業生産活動の基盤となる農業水利施設がその機能を安定的に発揮していくため、適宜、効率的な長寿命化対策や防災減災対策を実施する。					
具体名	地域住民								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	40,525	0	40,500	0	0	0	25	需用費	25
R5 当初予算	44,525	0	44,500	0	0	0	25	委託料	27,500
対前年度増減	△ 4,000	0	△ 4,000	0	0	0	0	工事請負費	13,000
R4 決算	16,150	0	16,073	0	0	0	77		
		事業期間	R2 ~ R9	新規・継続・拡充の別		継続			
【事業期間中の事業内容】									
農業用施設の防災・減災対策として自然的・社会的変化により被害を及ぼす恐れのある農業用ため池について、実施計画を作成し、廃止工事及び改修工事を行う。また、地震等によりため池が決壊した場合を想定した、ため池ハザードマップを作成する。									
R2年度:ため池廃止実施計画書作成 1式 (1期:藤平谷池、2期:本谷池)									
R3年度:ため池廃止工事 1箇所 (2期:本谷池)、ため池廃止実施計画書作成 1式 (3期:小手ヶ谷池、4期:乙女ヶ池)									
R4年度:ため池廃止工事 1箇所 (1期:藤平谷池)、ため池廃止実施計画書作成 1式 (5期:保工池)、ハザードマップ作成 1池									
R5年度:ため池廃止工事 2箇所 (3期:小手ヶ谷池、4期:乙女ヶ池)、ため池廃止実施計画書作成 1式 (6期:米山池)、ハザードマップ作成 1池									
R6年度:ため池廃止工事 1箇所 (5期:保工池)、ため池廃止実施計画書作成 1式 (7期:大勝寺池)ため池整備計画書作成 1式(船谷池)、ハザードマップ作成 3池									
R7年度:ため池廃止工事 1箇所 (6期:米山池)、ため池廃止実施計画書作成 1式 (8期:諏訪池)、ハザードマップ作成 4池									
R8年度:ため池廃止工事 1箇所 (7期:大勝寺池)、ため池整備実施設計 1式(船谷池)、ハザードマップ作成 2池									
R9年度:ため池廃止工事 1箇所 (8期:諏訪池)、ため池改修工事 1箇所(船谷池)、ハザードマップ作成 1池									
○廃止負担区分:国100%(定額) 標準的工程:初年度→実施計画、2年目→地元調整及び採択申請、3年目→工事									
○改修負担区分:実施計画(国100%)、工事(国55%、県21%、市24%) 標準的工程:初年度→実施計画、2年目→地元調整及び採択申請、3年目→実施計画、4年目・5年目→工事									
○O.M.作成負担区分:国100%(定額)									
【R6 事業内容】									
○ため池廃止 (委託関係)ため池廃止実施計画書作成 1箇所 大勝寺池(山崎町与位地内) (工事関係)ため池廃止工事 1箇所 保工池(山崎町高下地内)									
○ため池改修 (委託関係)ため池整備計画書作成 1箇所 船谷池 (山崎町中野地内)									
○ため池ハザードマップ作成 (委託関係)ため池ハザードマップ作成 3箇所 船谷池(山崎町中野地内)、観音池、大谷池(山崎町段地内)									
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	ため池廃止 8箇所 ため池改修 1箇所 ため池ハザードマップ作成 12箇所			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		23%		
	事業効果	受益がなくなった管理者不在の農業用ため池の廃止工事や老朽化したため池の整備工事を行うことにより、ため池下流域の市民生活や家屋、農地、農業用施設等災害を未然防止し安全確保を図る。また今後、農業従事者はため池の水管理等維持管理における修繕費用負担が無くなるなど、大幅な負担軽減が可能となり、持続的な農業の発展が期待できる。							

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	森林環境課	事業名	森林環境ポイント制度事業					予算書頁	52
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	2-1-16		基本施策	【6】資源循環型社会の構築					
	環境政策費		個別施策	③省エネの推進					
対象者(受益)		事業目的	森林整備の促進とCO2排出量の削減には、市民等が主体的に行動することが必要なため、宍粟市内での森林整備の促進と、ゼロカーボンに向けた市民の意識向上を図り、市民の森林整備と省エネ行動等への動機づけを行う。						
具体名	市民								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	2,684	0	0	0	500	0	2,184	人件費	1,593
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0	旅費	91
対前年度増減	2,684	0	0	0	500	0	2,184	需用費	1,000
R4決算	0	0	0	0	0	0	0		
事業期間		R6	~	R10	新規・継続・拡充の別		新規		
事業内容		<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>市民が行う森林とのふれあい活動や保全活動、また、省エネ行動や再エネ設備導入等に対して、ポイントラリー形式でポイントを付与し、付与されたポイントが地場産品と交換できるポイント制度を実施する。ポイント制度の流れは、ポイント制度への参加申し込み、取り組み活動を実施しポイント申請、ポイントの交換申し込みとし、申請等は、電子申請で行う。ポイント交換に使用する地場産品は、ふるさと納税返礼品を参考に選定する。</p> <p>【R6事業内容】</p> <p>ポイント制度の立ち上げ。 ポイント制度への参加登録、ポイント付与活動の申請、獲得ポイントの管理、ポイント交換。 ポイント制度の周知。 ・R6ポイント交換見込人数250人×4,000円</p> <p>■ポイント付与の事例 森林経営計画の策定、間伐の実施、森林セラピー体験など うちエコ診断の受診、電気使用量の記録、講演会への参加など</p>							
成果目標・事業効果		事業に係る目標(数値目標)	市内世帯数の3割を参加目標とする 14,651×30%=4,395≒4,400人			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—		
事業効果		森林整備の促進とCO2排出量の削減には、市民等が主体的に行動することが必要なため、宍粟市内での森林整備の促進と、ゼロカーボンに向けた市民の意識向上を図り、市民の森林整備と省エネ行動等への動機づけを行うことにより、森林整備の促進と2050年ゼロカーボンの実現に向けた市民の省エネ行動等の促進を図る。							

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	森林環境課	事業名	宍粟市有林J-クレジット創出事業				予算書頁	52
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり				
科目名等	2-1-16		基本施策	【6】資源循環型社会の構築				
	環境政策費		個別施策	③省エネの推進				
対象者(受益)		事業目的	市有林の適切な森林経営による森林の二酸化炭素吸収量をクレジットとしての認証を受け、企業や個人に販売し、森林整備をはじめとした環境政策事業の推進を図る。					
具体名	温室効果ガス排出者・宍粟市							
人数等	—							
予算額等		財源内訳					R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
R6 当初予算	1,060	0	0	0	1,060	0	0	委託料 1,060
R5 当初予算	7,000	0	0	0	7,000	0	0	
対前年度増減	△ 5,940	0	0	0	△ 5,940	0	0	
R4 決算	0	0	0	0	0	0	0	
事業期間		R5	～	R20	新規・継続・拡充の別	継続		
事業内容	【事業期間中の事業内容】							
	<p>J-クレジット制度の森林管理プロジェクトとは、森林経営計画の認定を受けた森林(地域森林計画対象民有林)において、計画に基づき実施された森林施業によるCO2吸収効果がクレジットとして認証され、取引することができるものをいう。</p> <p>宍粟市有林において、間伐等の適切な森林経営活動を実施することによって、森林の二酸化炭素吸収量をクレジットとして発行し、企業活動や日常生活によって排出される温室効果ガスのオフセット(埋め合わせ)として販売する。収益は当事業経費に充てるとともに、森林整備をはじめとした環境政策に活用する。</p> <p>○ J-クレジットのプロジェクト登録から発行までの流れ</p> <p>① 事業準備 → ② 事前モニタリング(吸収量試算) → ③ プロジェクト計画書の作成 → ④ 妥当性確認(現地・書類) → ⑤ 登録認証委員会 審議 → ⑥ プロジェクト登録 → ⑦ モニタリング(吸収量算定) → ⑧ モニタリング報告書の作成 → ⑨ 報告書の検証(現地・書類) → ⑩ 吸収量の認証委員会 審議 → (3) クレジットの発行 → (4) クレジットの取引</p>							
成果目標・事業効果	【R6 事業内容】							
	<p>クレジット認証・取引</p> <ol style="list-style-type: none"> ① モニタリング報告書の作成 ② 第三機関における報告書の検証 ③ 認証委員会における審議の受審 ④ クレジットの発行 ⑤ クレジットの取引 <p>* 販売収入 10千円/t-CO2 × 400t = 4,000千円 プロジェクト登録地: 千種町西河内字新口 森林経営面積 308.14ha</p>							
事業に係る目標(数値目標)		9,600t-CO2 プロジェクト登録期間中 発行量(R5～R20)			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)			—
事業効果		J-クレジット創出に取り組み森林の二酸化炭素吸収量を見える化することで地球温暖化防止の普及啓発を図るとともに、クレジット取引による収益を森林整備をはじめとする環境政策事業に活用する。						

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	森林環境課		事業名	新たな森林管理システム			予算書頁	104	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-2-2	林業振興費		基本施策	【1】林業の振興				
				個別施策	③林業生産基盤の整備				
対象者(受益)			事業目的	森林所有者自らが経営管理できない森林を市が管理することにより、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止、水源涵養等の公益的機能を十分に発揮し得る健全な森林の育成を図る。					
具体名	森林所有者等								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	17,988	0	0	0	186	0	17,802	人件費	9,386
R5 当初予算	10,002	0	0	0	65	0	9,937	旅費	536
対前年度増減	7,986	0	0	0	121	0	7,865	備品購入費	2,218
R4 決算	40,773	0	0	0	132	0	40,641	負担金	5,177
		事業期間	R2 ~		新規・継続・拡充の別	継続	その他	671	
【事業期間中の事業内容】									
<p>森林の経営管理は、これまで森林所有者が自ら実施し、又は森林所有者が民間事業者等に経営委託して実施されてきたが、森林経営管理法が施行され、市が森林所有者に意向調査を行い、森林管理が行われていない森林について森林所有者の委託や寄付の意向がある場合、契約等を締結し、森林所有者に代わって市が経営管理を行う。</p> <p>・調査対象区域: 地域対象民有林面積 約46,000ha</p>									
【R6 事業内容】									
<p>①意向調査(R3~4)を実施した一宮町上岸田・横山・井内地区において、審査により選定された業者と長期委託契約を締結し、森林経営計画を作成し、森林整備を実施する。(調査区域面積:約850ha)</p> <p>②千種町の一部地区を選定し、意向調査を実施する。(調査区域面積:約1,000ha)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意向調査票の発送 ・委託、寄付希望地の現地調査 ・個別説明会(委託、寄付) ・委託協定締結、寄付登記完了 <p>③意向調査(R4~5)を実施した波賀町日見谷・小野・安賀・斉木の一部地区において、審査により業者選定を行う。(調査区域面積:約900ha)</p>									
成果目標・事業効果		事業に係る目標(数値目標)	間伐33,640ha(年間600ha)			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	人工林整備率 41.14%(R5末見込)		
		事業効果	<p>森林経営管理法が施行され、中央市版新たな森林管理システムを構築したことで、従来の林業成長産業化総合対策で実施されてきた搬出しやすい森林のみならず、条件不利森林や経営意欲のない森林所有者の森林を含めた全ての森林を市と林業事業者が相互に協力し、儲かる林業と両輪で施策を展開させることで、更なる温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止、水源涵養等の公益的機能を十分に発揮し得る健全な森林を育成する。</p>						

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	森林環境課		事業名	森林整備推進事業			予算書頁	105	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-2-2	事業目的		基本施策	【1】林業の振興				
	林業振興費			個別施策	③林業生産基盤の整備				
対象者(受益)	森林所有者等		公益的機能を十分に発揮し得る健全な森林を育成するため適切な森林の整備を進め、山地災害防止や野生動物の生育環境の保全に配慮した森林整備を図る。						
人数等	—								
予算額等	財源内訳							R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	123,100	0	0	0	0	123,100	補助金	123,100	
R5当初予算	120,706	0	0	0	0	120,706			
対前年度増減	2,394	0	0	0	0	2,394			
R4決算	110,839	0	49,167	0	0	61,672			
事業内容	事業期間	H28 ~		新規・継続・拡充の別	継続				
	【事業期間中の事業内容】								
	【森林整備促進事業】 集約化によるコスト削減を目的に森林経営計画を樹立した森林において、搬出間伐を実施し、木材生産機能を主とした公益的機能の向上を図る。 (実績)H28:935.76ha H29:614.21ha H30:573.92ha R1:571.70ha R2:471.40ha R3:554.06ha R4:400.27ha R5見込:400.00ha								
	【条件不利地間伐事業】 森林経営計画の樹立が困難である奥地等の条件不利地の森林において、切捨間伐を実施し、山地災害防止を主とした公益的機能の向上を図る。 (実績)R1:51.30ha R2:42.24ha R3:73.69ha R4:65.36ha R5見込:45.00ha								
	【林業事業体集約化支援事業】 整備意欲のある林業事業体が森林所有者に代わり、森林整備を行うために集約化(買取)に要した経費の一部を支援することで森林経営計画の樹立を促進し、木材生産機能を主とした公益的機能の向上を図る。 (実績)R2:0ha R3:3.2ha R4:0.9ha R5見込:25ha								
【R6事業内容】									
【森林環境譲与税対象事業】									
・森林整備促進事業 100,900千円(搬出間伐:834.69ha、切捨間伐:180.80ha) ・条件不利地間伐事業 20,500千円(50.00ha) ・林業事業体集約化支援事業 1,700千円(45ha)									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	間伐33,640ha(年間600ha)			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	人工林整備率 41.14%(R5末見込)			
	事業効果	水源の涵養や木材生産など森林の持つ公益的機能を十分に発揮し得る森林を育成するとともに、水土保全能力を高め災害に強い森林づくりを推進する。							
		 間伐未実施で放置されている森林				 間伐後の健全な森林			

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)

単位:千円



所管課	商工観光課	事業名	就職・就労活動支援事業					予算書頁	107
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針 ①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり						
科目名等	6-1-2 商工業振興費		基本施策 【3】商工業の振興						
			個別施策 ④就職支援の充実						
対象者(受益)		事業目的	職業相談、職業紹介及び求人開拓を行い、求職者の早期就職の実現・就業機会の拡大を図り、市民生活の安定に寄与するとともに、宍粟市の企業や暮らしの魅力について市内外の学生・若者向けに発信するなど、地域が一体となって域内での就職を推進する。						
具体名	市民・求人企業								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	19,917	0	0	0	3,361	0	16,556	役員費	184
R5当初予算	21,111	0	0	0	4,754	0	16,357	委託料	17,422
対前年度増減	△ 1,194	0	0	0	△ 1,393	0	199	負担金	1,700
R4決算	19,258	0	0	0	4,702	0	14,556	補助金	450
事業期間		H29 ~			新規・継続・拡充の別		継続	その他	161
【事業期間中の事業内容】									
<p>「宍粟わくわくステーション」の運営を継続し、市内企業における新規求人の開拓を行うとともに、その情報をもとに求職者への就職相談、職業紹介、就職セミナー、職場見学会、新卒者セミナーを開催するほか、地域就活情報ポータルサイトの運営を継続する。</p> <p>また、令和1年度に宍粟市商工会、西兵庫信用金庫と設立した宍粟市人材フル活用プラットフォーム推進会議を事業主体とし、市内企業の魅力発信事業やビジネスマッチングフェア、インターンシップ事業を推進するとともに市内3高校と連携し卒業時または将来的な地域内就労を目的とした事業を推進する。</p>									
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>宍粟わくわくステーション</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ビジネスマッチングフェア</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>実践型インターンシップ事業</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>JUMP UP SHISO (合同企業説明会)</p>  </div> </div>									
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	わくステにおける ・相談者数: 3,240件(270件/月) ・就職者数: 192人(16人/月)				目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		R1	2,734件/143人
	事業効果	求職者の利便性の向上、早期就職の実現と市内企業の人材確保を図るとともに、地域外からの人材誘致による地域産業の強化、地域経済の活性化を図る。 また、高校生が魅力ある市内企業を知ること、将来も含めた域内就労の機会を創出する。							
								R2	3,625件/181人
								R3	4,051件/189人
								R4	3,272件/201人
								R5(見込)	3,497件/226人

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	商工観光課		事業名	産業立地促進事業			予算書頁	108	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	6-1-2			基本施策	【3】商工業の振興				
	商工業振興費			個別施策	②企業誘致の推進と起業家支援				
対象者(受益)			事業目的	市内に工場等を新築・増改築する企業に対して課税免除及び助成をすることにより、産業の振興と雇用機会の拡大に資する。					
具体名	市内に立地する企業								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	11,400	0	0	0	0	0	11,400	補助金	11,400
R5当初予算	109,900	0	0	0	0	0	109,900		
対前年度増減	△ 98,500	0	0	0	0	0	△ 98,500		
R4決算	100,345	0	0	0	0	40,900	59,445		
事業期間		H23 ~			新規・継続・拡充の別		継続		
【事業期間中の事業内容】									
<p>企業から宍粟市内への工場等新築・増改築関連の問い合わせ等に対応し、工場等の立地を推進するとともに、産業立地促進条例に基づき認定を受けた工場等について、投資した固定資産額と新規雇用者数に基づき、当該工場等に係る固定資産税の免除をはじめ、下表の助成措置を行う。</p>									
投資額(投下固定資産総額)		一般敷地1億円以上 教育施設跡地1,000万円以上			一般敷地5,000万円以上				
常用雇用者(雇用保険加入)		一般敷地 新規5人以上 教育施設跡 新規3人以上			新規3人以上				
固定資産税の課税免除期間		3年間			3年間				
工場等用地取得費助成		取得額2分の1 ※ (上限2,500万円)			* * *				
工場等建物機械設備取得費助成		取得額5分の1 ※ (上限2,500万円)			* * *				
空き店舗等への設置助成		5年間賃借料の2分の1 (上限120万円/年)			3年間賃借料の2分の1 (上限120万円/年)				
上下水道分担金助成		加入負担金の2分の1 (上限500万円)			加入負担金の2分の1 (上限200万円)				
上下水道使用料助成		5年間使用料の2分の1 (上限100万円/年)			3年間使用料の2分の1 (上限50万円/年)				
雇用奨励助成 (新規地元雇用者に限る)		社保被保険者 50万円/人 雇保被保険者5万円/人			社保被保険者 50万円/人 雇保被保険者5万円/人				
障害者雇用奨励助成		障害者手帳所持者 30万円/人 上限300万円			障害者手帳所持者 30万円/人 上限150万円				
※促進地域、指定産業に該当する場合、上限は3,000万円 ※令和9年3月31日までに限る。									
【R6事業内容】									
<p>・産業立地促進条例に基づく助成: 14件 11,400千円 ・企業立地相談対応: 通年</p> <p>◇H28認定(1件) - H30操業: 1件 50千円 ◇H29認定(1件) - R02操業: 1件 100千円 ◇R01認定(4件) - R02操業: 4件 1,150千円 ◇R02認定(2件) - R03操業: 2件 2,750千円 ◇R03認定(3件) - R04操業: 3件 5,850千円 ◇R04認定(1件) - R06操業: 1件 1,000千円 ◇R05認定(2件) - R06操業: 2件 500千円</p>									
成果目標・事業効果	事業に係る目標 (数値目標)	企業誘致件数(指定件数) 1件/年			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		R1: 1件 R4: 0件 R2: 2件 R5: 0件 R3: 0件		
	事業効果	<p>市外企業が宍粟市へ進出することにより産業の活性化と新たな雇用創出の場を提供するとともに、市内企業の移転・規模拡大など市内での操業を支援することで、市外流出を防止し雇用の維持を図る。</p> <p>また、北部地域への立地誘導と特色ある産業への重点的な支援をすることで人口流出抑制と地域産業の振興を図る。※促進地域・指定産業の設定。</p>							

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	商工観光課		事業名	VR動画等制作事業			予算書頁	109	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	6-1-3	観光振興費		基本施策	【4】観光の振興				
				個別施策	④魅力の発信の強化				
対象者(受益)	観光客		事業目的	宍粟市の豊かな森林資源等を活用したアクティビティや観光地を紹介し、交流人口及び関係人口の増加を図る。また、森林と触れ合う機会の創出や森林資源活用の普及を図る。					
具体名	観光客								
人数等	-								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	8,000	4,000	0	0	0	4,000	委託料	8,000	
R5 当初予算	0	0	0	0	0	0			
対前年度増減	8,000	4,000	0	0	0	4,000			
R4 決算	0	0	0	0	0	0			
事業内容	事業期間	R6		新規・継続・拡充の別	新規				
	【事業期間中の事業内容】								
	<p>大阪・関西万博を契機として宍粟市の魅力を発信するVR動画を制作し、万博関連イベントや各種イベント会場で観光プロモーションのツールとして活用することで観光客の増加を図る。</p> <p>VR動画の内容は、E-BIKEやカヌー等のアクティビティをメインとし、赤西溪谷や最上山公園もみじ山などと合わせて宍粟の豊かな自然を疑似体験できる動画とし、VR機器での視聴だけでなく、YouTube等でも広く視聴できるようにする。</p>								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	市観光入込客数 R8年度目標値116.5万人			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		-		
	事業効果	<p>市外向けには、イベント会場等においてこのVR動画を活用し、アクティビティ疑似体験することにより宍粟市に訪れる機運を創出することで、交流人口及び関係人口の増加を図る。</p> <p>動画についても、英語の字幕等も活用することで、インバウンド観光客の集客にも期待できる。</p> <p>また、自然豊かな宍粟市の森林資源や観光資源をPRすることで、認知度の向上や森林資源の活用や普及にも繋げていくことができる。</p> <p>市内向けには、市民の方もVR機器を装着すれば、視聴可能であるため継続的な活用を図る。また、小中学校を中心に森林が持つ機能性についてなど「木育」の教材にすることができ、環境教育の向上に資する。</p> <p>なお、VR機器だけではなく、YouTube等のSNSでも活用することで、幅広く多くの方にPRすることができる。</p>							

令和6年度主要施策に係る説明書(産業部)



単位:千円

所管課	商工観光課	事業名	楓香荘跡地整備事業				予算書頁	110	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針 ①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり						
科目名等	6-1-4		基本施策 【4】観光の振興						
	観光施設費		個別施策 ③観光客受入体制の充実						
対象者(受益)		事業目的	原不動滝周辺の景勝地を訪れる観光客や、地域住民の憩いの空間となるような公園を整備し、地域活性化と交流人口及び関係人口の増加を図る。						
具体名	観光客								
人数等	—								
予算額等		財源内訳					R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額	
R6当初予算	143,000	0	0	0	0	143,000	0	委託料 500	
R5当初予算	14,000	0	0	0	0	14,000	0	工事請負費 142,500	
対前年度増減	129,000	0	0	0	0	129,000	0		
R4決算	0	0	0	0	0	0	0		
事業期間		R4	~	R6	新規・継続・拡充の別		継続		
事業内容	【事業期間中の事業内容】								
	<p>【R4繰越】 楓香荘跡地解体工事……………141,584千円</p> <p>※ 解体施設 {</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングターミナル ・自然環境活用センター ・波賀温泉「楓湯」 ・宿泊施設「高砂の家」 <p>【R5】 整備工事設計業務……………4,840千円</p> <p>【R6】 原不動滝公園整備工事……………142,500千円</p> <p>土壌汚染対策法届出書作成業務……………500千円</p>								
	<p>【R6事業内容】</p> <p>◇原不動滝公園整備工事……………142,500千円</p> <p>※敷地造成、外構、休憩施設ほか</p> <p>◇土壌汚染対策法届出書作成業務……………500千円</p> <p>※土地の形質変更届</p>								
		事業に係る目標 (数値目標)			市観光入込客数 R8年度目標値116.5万人		目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)		R1: 97.9万人 R2: 77.4万人 R3: 83.4万人 R4: 85.8万人
成果目標・事業効果	<p>事業効果</p> <p>日本の滝百選に選ばれた「原不動滝」は、貴重な観光資源であり、楓香荘の閉館後も依然として観光客が後を絶たない状況であることから、施設の解体を行い、景勝地としての景観を回復させるとともに、観光客や地域住民の憩いの場となるような公園として整備することで、地域活性化と交流人口及び関係人口の増加に資する。</p>								



整備イメージ

令和6年度主な事業の一覧(産業部)

単位:千円

所管課	農業振興課	事業名	肥料価格高騰対策支援事業				予算書頁	99
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-1-3		基本施策	【2】農業の振興				
	農業振興費		個別施策	①生産の振興と流通の促進				
事業期間	R4~R6	事業概要	肥料価格高騰の影響を受けた経営者に対し、出荷を目的とした令和6年度用作物について、肥料購入経費の一部を補助する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	29,705	29,705	0	0	0	0	人件費	1,549
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	需用費	710
対前年度増減	29,705	29,705	0	0	0	0	補助金	27,446
R4決算	22,025	22,025	0	0	0	0		

所管課	農業振興課	事業名	中山間地域等直接支払交付金事業				予算書頁	100
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-1-3		基本施策	【2】農業の振興				
	農業振興費		個別施策	③農業生産基盤の整備				
事業期間	R2~R6	事業概要	中山間地域は傾斜地が多く生産条件が不利であるため、継続的に地域活動を実践することにより、農用地維持と農村環境の保全を図る。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	77,398	0	58,048	0	0	19,350	補助金	77,398
R5当初予算	76,491	0	57,366	0	0	19,125		
対前年度増減	907	0	682	0	0	225		
R4決算	76,192	0	57,144	0	0	19,048		

所管課	農業振興課	事業名	多面的機能支払交付金事業				予算書頁	100
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-1-3		基本施策	【2】農業の振興				
	農業振興費		個別施策	③農業生産基盤の整備				
事業期間	H26~	事業概要	農地・農業用水路等、農業資源の保管理活動に加え、農地周辺の水路・農道等の補修・更新などの活動に対し支援することで農業生産の維持と環境の保全を図る。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	97,119	0	72,837	0	0	24,279	補助金	97,119
R5当初予算	95,050	0	71,286	0	0	23,764		
対前年度増減	2,069	0	1,551	0	0	515		
R4決算	82,628	0	61,970	0	0	20,658		

所管課	農業振興課	事業名	農業経営スマート化促進事業				予算書頁	100
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-1-3		基本施策	【2】農業の振興				
	農業振興費		個別施策	③農業生産基盤の整備				
事業期間	R4~R6	事業概要	農業の基幹産業化に向けて、経営規模拡大や人手不足問題を解消するため、効率化や省力化につながる農業経営を支援し推進する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	1,334	0	1,334	0	0	0	補助金	1,334
R5当初予算	1,334	0	1,334	0	0	0		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	400	0	400	0	0	0		

令和6年度主な事業の一覧(産業部)

単位:千円

所管課	農業振興課	事業名	農業機械導入事業				予算書頁	100	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	5-1-3		基本施策	【2】農業の振興					
	農業振興費		個別施策	③農業生産基盤の整備					
事業期間	R4~R6	事業概要	農業の継続や就農に意欲のある農業者に対し、スマート農業機械等の導入を支援し推進することにより、作業効率や生産性を向上し持続可能な力強い農業の実現を図る。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	4,000	0	0	0	3,000	0	1,000	補助金	4,000
R5当初予算	3,000	0	0	0	2,000	0	1,000		
対前年度増減	1,000	0	0	0	1,000	0	0		
R4決算	2,465	0	0	0	0	0	2,465		

所管課	農業振興課	事業名	施設園芸農家支援事業				予算書頁	101	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	5-1-3		基本施策	【2】農業の振興					
	農業振興費		個別施策	①生産の振興と流通の促進					
事業期間	R4~R6	事業概要	原油等価格高騰の影響を受けた施設園芸経営者に対し、事業の継続を目的に補助金を交付する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	1,631	1,631	0	0	0	0	0	補助金	1,631
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	1,631	1,631	0	0	0	0	0		
R4決算	2,998	2,998	0	0	0	0	0		

所管課	農業振興課	事業名	肥料転換支援事業				予算書頁	101	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	5-1-3		基本施策	【2】農業の振興					
	農業振興費		個別施策	①生産の振興と流通の促進					
事業期間	R4~R6	事業概要	化学肥料が高騰し農業経営を圧迫しているため、価格が安定している堆肥に変えることで、農業者の負担軽減を行い、事業継続を促す事を目的として、補助金を交付する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	7,072	7,072	0	0	0	0	0	補助金	7,072
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	7,072	7,072	0	0	0	0	0		
R4決算	5,864	5,864	0	0	0	0	0		

所管課	農業振興課	事業名	畜産農家支援事業				予算書頁	101	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	5-1-4		基本施策	【2】農業の振興					
	畜産業費		個別施策	①生産の振興と流通の促進					
事業期間	R4~R6	事業概要	飼料価格高騰の影響を受けた経営者に対し、事業の継続を目的に補助金を交付する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	8,633	8,633	0	0	0	0	0	補助金	8,633
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	8,633	8,633	0	0	0	0	0		
R4決算	17,742	17,742	0	0	0	0	0		

令和6年度主な事業の一覧(産業部)

単位:千円

所管課	農業振興課	事業名	農村地域防災減災事業				予算書頁	101
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり				
科目名等	5-1-5		基本施策	【11】防災体制の充実				
	農村整備事業費		個別施策	②災害に強いまちづくり				
事業期間	H26～R6	事業概要	老朽化したため池の改修を実施 (高牧上池・高牧下池・宇原池・与泰寺池・湯塚池・宮の奥池・湯船池・曾谷池・アガタ池・大谷池)					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	20,165	0	20,000	0	0	165	需用費	165
R5当初予算	20,495	0	20,000	0	0	295	委託料	20,000
対前年度増減	△ 330	0	0	0	0	△ 200	△ 130	
R4決算	5,663	0	0	0	0	4,900	763	

所管課	農業振興課	事業名	農業水利施設ストックマネジメント事業				予算書頁	101
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-1-5		基本施策	【2】農業の振興				
	農村整備事業費		個別施策	③農業生産基盤の整備				
事業期間	R6～R10	事業概要	農業用水利施設の老朽化により、農業生産性の低下と住宅及び公共用施設への二次災害を及ぼすリスクが高まっている施設の機能診断等を実施したうえ、水利施設の安全性の向上を図り、農業生産性等の強化を図る。					
新規・継続・拡充の別	新規							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	12,000	0	12,000	0	0	0	委託料	12,000
R5当初予算	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	12,000	0	12,000	0	0	0		
R4決算	0	0	0	0	0	0		

所管課	農業振興課	事業名	基幹農道整備事業				予算書頁	102
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-1-6		基本施策	【2】農業の振興				
	農地費		個別施策	③農業生産基盤の整備				
事業期間	R6～R7	事業概要	基幹農道(高沢菅野トンネル)の点検診断により利用者への被害の回避、通行止め等長期にわたる機能不全の回避、トンネルに係る維持管理を適切に行い、施設の長寿命化を図る。					
新規・継続・拡充の別	新規							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	10,000	0	6,400	0	0	3,600	委託料	10,000
R5当初予算	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	10,000	0	6,400	0	0	3,600		
R4決算	0	0	0	0	0	0		

所管課	農業振興課	事業名	水産事業者支援事業				予算書頁	106
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	5-3-1		基本施策	【2】農業の振興				
	水産事業費		個別施策	①生産の振興と流通の促進				
事業期間	R5～R6	事業概要	飼料価格高騰の影響を受けた経営者に対し、事業継続を目的に補助金を交付する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	745	745	0	0	0	0	補助金	745
R5当初予算	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	745	745	0	0	0	0		
R4決算	0	0	0	0	0	0		

令和6年度主な事業の一覧(産業部)

単位:千円

所管課	森林環境課	事業名	省エネ家電買い換え促進・LED化促進事業				予算書頁	52	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	2-1-16		基本施策	【6】資源循環型社会の構築					
	環境政策費		個別施策	③省エネの推進					
事業期間	R5~R6	事業概要	省エネ性能の高い家庭電化製品やLED照明機器への買い換えを支援し、家庭におけるエネルギー費用負担を軽減するとともに、環境負荷低減の効果によりゼロカーボンに対する市民意識の高揚を図る。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	17,951	17,951	0	0	0	0	人件費	1,594	
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	旅費	91	
対前年度増減	17,951	17,951	0	0	0	0	役務費	46	
R4決算	0	0	0	0	0	0	補助金	16,220	

所管課	森林環境課	事業名	再生可能エネルギー利用促進事業				予算書頁	53	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	2-1-16		基本施策	【6】資源循環型社会の構築					
	環境政策費		個別施策	②再生可能エネルギーの導入促進					
事業期間	H22 ~ R10	事業概要	木質バイオマス暖房機器等の購入設置費用の一部助成することにより、再生可能エネルギーの利用促進及び地域資源の利活用を推進する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	3,000	0	0	0	0	3,000	補助金	3,000	
R5当初予算	3,000	0	0	0	0	3,000			
対前年度増減	0	0	0	0	0	0			
R4決算	3,787	0	0	2,000	0	1,787			

所管課	森林環境課	事業名	地籍調査事業				予算書頁	102	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	5-1-7		基本施策	【7】住環境整備・土地利用の推進					
	地籍調査費		個別施策	③有効な土地利用の推進					
事業期間	H17 ~	事業概要	国土調査法に基づき、登記所(法務局)の公図及び登記簿を基に調査し、一筆ごとの地籍(所有者、地番、地目、地積及び境界)を明確にする。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	193,943	0	145,345	0	0	48,598	人件費	9,085	
R5当初予算	208,897	0	156,519	0	0	52,378	需用費	851	
対前年度増減	△14,954	0	△11,174	0	0	△3,780	委託料	183,016	
R4決算	184,124	0	132,368	0	11	51,745	その他	991	

所管課	森林環境課	事業名	林業担い手確保事業				予算書頁	105	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	5-2-2		基本施策	【1】林業の振興					
	林業振興費		個別施策	②担い手の確保・育成					
事業期間	H29 ~	事業概要	林業事業体の雇用経費や新規事業体の高性能林業機械の初期投資に必要な経費の一部を支援することで、地域林業の担い手の確保・育成を促進する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	11,120	0	0	0	0	11,120	補助金	11,120	
R5当初予算	23,743	0	0	0	0	23,743			
対前年度増減	△12,623	0	0	0	0	△12,623			
R4決算	13,924	0	0	0	0	13,924			

令和6年度主な事業の一覧(産業部)

単位:千円

所管課	森林環境課	事業名	彩りの森整備事業				予算書頁	105
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目 金額	
科目名等	5-2-2		基本施策	【5】森林・田園・まち並み景観の保全				
	林業振興費		個別施策	①森林環境・水辺空間の保全				
事業期間	H28 ~	事業概要	市民が主体的に行う広葉樹等の植栽等を支援し、"日本一の風景街道づくり"につながる景観を形成することで、地域の活性化と環境保全を推進する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	8,901	0	0	0	0	8,901	補助金	8,901
R5当初予算	10,436	0	0	0	0	10,436		
対前年度増減	△ 1,535	0	0	0	0	△ 1,535		
R4決算	5,077	0	0	0	0	5,077		

所管課	森林環境課	事業名	公有林整備事業				予算書頁	105
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目 金額	
科目名等	5-2-3		基本施策	【1】林業の振興				
	造林整備事業費		個別施策	③林業生産基盤の整備				
事業期間	H17 ~	事業概要	温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止、水源涵養等の公益的機能を十分に発揮し得る健全な森林を育成するため、率先して市有林を整備し穴栗材の利活用及び儲かる林業の確立を図る。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	33,237	0	0	0	0	33,237	役務費	3,355
R5当初予算	79,498	0	31,674	0	0	47,824	工事請負費	28,141
対前年度増減	△ 46,261	0	△ 31,674	0	0	△ 14,587	公有財産購入費	1,591
R4決算	31,616	0	15,691	0	0	15,925	その他	150

所管課	森林環境課	事業名	治山施設災害復旧事業				予算書頁	154	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目 金額		
科目名等	10-1-4		基本施策	【11】防災体制の充実					
	治山施設災害復旧費		個別施策	②災害に強いまちづくり					
事業期間	H17 ~	事業概要	森林の公益的機能の回復を図るとともに、人家等の保安全管理区域の防災機能の向上に努める。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	18,280	0	10,333	2,050	0	5,400	497	需用費	492
R5当初予算	19,269	0	6,666	2,768	0	9,200	635	役務費	39
対前年度増減	△ 989	0	3,667	△ 718	0	△ 3,800	△ 138	使用料	399
R4決算	17,225	0	4,496	2,711	0	9,600	418	工事請負費	17,350

所管課	商工観光課	事業名	副業人材活用支援事業				予算書頁	108
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり			R6年度当初予算の内訳 主な費目 金額	
科目名等	6-1-2		基本施策	【3】商工業の振興				
	商工業振興費		個別施策	①中小企業の経営安定化				
事業期間	R6 ~ R7	事業概要	人材不足の解消に向け、外部人材を活用して経営課題の解決に取り組む企業を支援する。					
新規・継続・拡充の別	新規							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	850	0	0	850	0	0	補助金	850
R5当初予算	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	850	0	0	850	0	0		
R4決算	0	0	0	0	0	0		

令和6年度主な事業の一覧(産業部)

単位:千円

所管課	商工観光課	事業名	しそう氷ノ山 SEA TO SUMMIT(多自然地域活性化負担金)				予算書頁	109	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	6-1-3 観光振興費		基本施策	【4】観光の振興					
事業期間	R6 ~		個別施策	④魅力の発信の強化					
新規・継続・拡充の別	新規	事業概要	本市の魅力を全国に発信するとともに、交流人口の増加を図るため、本市の豊かな自然を活用し、「しそう氷ノ山 SEA TO SUMMIT」を実施する。						
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	5,000	0	0	5,000	0	0	負担金	5,000	
R5当初予算	0	0	0	0	0	0			
対前年度増減	5,000	0	0	5,000	0	0			
R4決算	0	0	0	0	0	0			

所管課	商工観光課	事業名	しそう森林王国観光協会支援事業				予算書頁	109	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	6-1-3 観光振興費		基本施策	【4】観光の振興					
事業期間	H17 ~		個別施策	④魅力の発信の強化					
新規・継続・拡充の別	継続	事業概要	多様な関係者との連携を図り、地域が一体となった森林環境の保全と魅力的な観光地域づくりを推進するため、組織的及び総合的な活動を支援する。						
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	35,711	0	0	6,884	0	28,827	補助金	34,566	
R5当初予算	35,391	0	0	7,884	0	27,507	負担金	1,145	
対前年度増減	320	0	0	△1,000	0	1,320			
R4決算	45,736	6,362	0	10,822	0	28,552			

所管課	商工観光課・北部事務所	事業名	指定管理施設更新・修繕事業				予算書頁	111	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	6-1-4 観光施設費		基本施策	【4】観光の振興					
事業期間	H17 ~		個別施策	③観光客受入体制の充実					
新規・継続・拡充の別	継続	事業概要	指定管理施設の老朽化した施設・設備等を修繕及び改修することにより、施設の機能性と快適性を高め、市内外からの観光客の増加を図る。						
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	80,830	0	0	40,520	31,800	8,510	工事費	63,830	
R5当初予算	119,602	0	0	0	111,100	8,502	負担金	17,000	
対前年度増減	△38,772	0	0	40,520	△79,300	8			
R4決算	129,244	7,645	0	0	72,240	49,359			

所管課	農業委員会事務局	事業名	農業委員会費				予算書頁	97	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり					
科目名等	5-1-1 農業委員会費		基本施策	【2】農業の振興					
事業期間	H17 ~		個別施策	②担い手の確保・育成					
新規・継続・拡充の別	継続	事業概要	農地行政(法令事務及び促進事務)の厳正かつ適正な執行、優良農地の保全・確保及び農地利用の最適化の推進を図る。						
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	20,651	0	4,293	196	0	16,162	報酬	14,859	
R5当初予算	19,516	0	4,850	258	0	14,408	職員手当等	799	
対前年度増減	1,135	0	△557	△62	0	1,754	委託料	2,846	
R4決算	18,751	0	3,972	272	0	14,507	その他	2,147	

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)



単位:千円

所管課	建設課・北部事務所		事業名	道路新設改良事業			予算書頁	116		
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	7-2-3			基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持					
	道路新設改良費			個別施策	①生活道路網の整備・維持					
対象者(受益)			事業目的	主要な交通手段が自動車である宍粟市において、道路の新設及び改良を行うことにより、より安全で快適な道路網の形成を図る。						
具体名	道路利用者									
人数等	—									
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	244,877	8,600	0	0	0	233,000	3,277	需用費	1,343	
R5 当初予算	227,270	6,682	0	0	0	218,900	1,688	委託料	600	
対前年度増減	17,607	1,918	0	0	0	14,100	1,589	工事請負費	201,000	
R4 決算	258,723	17,178	0	0	0	237,366	4,179	負担金	41,600	
		事業期間	H17 ~		新規・継続・拡充の別	継続	その他	334		
【事業期間中の事業内容】 幅員4.0m以上の道路新設改良を行う。 市道L=592km(R4年度末幅員4.0m以上の道路延長L=359.6km)										
【R6 事業内容】 【工事】 山田下広瀬線 L=430m、庄能9号線 L=60m、川西線(杉田工区) L=220m 【負担金】 (主)加美宍粟線バイパス整備事業、菅野川堤防整備事業										
令和2年度~令和7年度 L=800m W=12.0m(車道7.0m 歩道2.5m×2) 道路改良工事										
成果目標・事業効果		事業に係る目標(数値目標)			—		目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)			—
		事業効果 渋滞緩和や不通区域解消のための道路新設。また、幅員狭小箇所や危険箇所の道路改良により、より安全で快適な道路網の形成を図ることができる。								

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)



単位:千円

所管課	建設課・北部事務所		事業名	橋梁長寿命化事業			予算書頁	117	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり				
科目名等	7-2-4			基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持				
	橋梁維持費			個別施策	①生活道路網の整備・維持				
対象者(受益)			事業目的	今後老朽化する橋梁数の増大に対応するため、従来の事後的な修繕や架替えから、予防的な修繕、計画的な架替えへ転換し、長寿命化計画により修繕及び架替えを実施することにより、経費の均衡化及び、トータルコストの縮減を図る。					
具体名	道路利用者								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	33,000	19,602	0	0	0	8,200	5,198	委託料	33,000
R5当初予算	64,800	38,491	0	0	0	8,000	18,309		
対前年度増減	△ 31,800	△ 18,889	0	0	0	200	△ 13,111		
R4決算	133,716	77,527	0	0	0	56,090	99		
		事業期間	H22 ~		新規・継続・拡充の別	継続			
【事業期間中の事業内容】									
<p>H26年度より5年に1回の点検が義務化された。 2m以上の橋梁について点検を行うとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁修繕を実施する。</p> <p>・R2年度～R5年度に実施した橋梁点検結果 判定Ⅰ(健全) N= 155橋 判定Ⅱ(予防保全段階) N= 419橋 判定Ⅲ(早期処置段階) N= 13橋 判定Ⅳ(緊急処置段階) N= 0橋</p> <p>【橋梁点検3巡目】 R7年度～R10年度 【計画見直し】 R6年度 【橋梁修繕】 R5年度末で 1巡目点検によるⅢ判定の修繕は完了。 2巡目点検による長寿命化修繕(設計含む)をR6年度より実施。</p>									
【R6事業内容】									
<p>長寿命化計画策定業務 R2からR5にかけて実施した点検結果を基に計画を策定</p> <p>橋梁修繕工事 N=4橋(R7年度工事に着手するため、R6年度は詳細設計業務を実施)</p> <p>山崎(1橋) 久保橋 一宮(3橋) 閨賀橋、西福橋、横住橋</p> <p>基本、Ⅲ判定の早期処置段階と判断された橋梁について修繕工事を実施する。</p>									
		事業に係る目標 (数値目標)	—			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)	—		
成果目標・事業効果		<p>事業効果 早期処置段階と判定された判定Ⅲの橋梁について、早期に修繕工事を実施することにより、安全な通行を確保する。また、計画的に修繕を実施することにより、経費の均衡化及びトータルコストの縮減を図ることができる。</p>							

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)



単位:千円

所管課	住宅土地政策課		事業名	移住・定住支援事業			予算書頁	46	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	③定住魅力の高いまちづくり				
科目名等	2-1-9	地域振興費		基本施策	【10】移住・定住促進の充実				
				個別施策	①移住・定住の促進				
対象者(受益)	移住希望者・市民		事業目的	子育て世代等への住宅取得支援や県外での移住相談会の実施、空き家バンクの運営による市内空き家の利活用等により市内への転入及び定住促進を図る。					
人数等	—								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	39,782	2,500	1,200	0	6,650	0	29,432	人件費 3,653	
R5 当初予算	42,305	0	1,200	0	150	0	40,955	需用費 247	
対前年度増減	△ 2,523	2,500	0	0	6,500	0	△ 11,523	役務費 272	
R4 決算	39,310	83	0	0	0	0	39,227	補助金 35,250	
事業内容	事業期間	H27 ~		新規・継続・拡充の別	継続		その他	360	
	【事業期間中の事業内容】								
	<p>宍粟市への移住・定住をサポートするため、空き家バンクの運営をはじめとする市内空き家情報の発信や相談体制の充実、若者や子育て世代の住宅取得を促進するための補助制度や通勤通学費助成などの施策を展開する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>買いたい人も、売りたい人も 宍粟市空き家・空き地バンク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Instagram・YouTube「おいでよしそうし」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>HOUSE TOUR</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">市空き家・空き地バンク公式サイト</p>								
【R6 事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> 定住相談窓口設置事業(定住コーディネーター配置、移住相談会、空き家バンク運営) 4,532千円 定住コーディネーター配置・・・移住前の相談から移住後のフォロー体制の構築。 移住相談会・・・県や近隣市町と合同で阪神地域での移住相談会を実施。 空き家バンク運営・・・移住希望者等へ市内空き家情報を発信。市内空き家のバンク登録促進。 森林の家づくり応援事業、空き家改修支援事業 33,650千円 宍粟市への転入または市内転居し、住宅を新たに取得する子育て世代等に対し、住宅取得費の一部を支援。市内の空き家を購入または賃貸借した人に対し、改修工事費の一部を支援。 東京圏在住者移住支援事業 1,600千円 東京圏から宍粟市へ移住し、中小企業等に就業又は起業した人等に対し、移住に要する経済的負担を軽減するために、移住支援金を支給。 									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	移住・定住支援事業を活用した市内転入世帯数: 150世帯(R2~R6累計) 空き家バンク登録件数: 60件/年(R7)			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	R5実績(R6.1月現在) 転入世帯数: 15世帯 (R2~累計:73世帯) バンク登録件数: 51件			
	事業効果	定住コーディネーターを配置し、移住希望者等に対する相談対応や空き家バンクにおける物件案内、移住後のフォローなど、定住促進に向けたきめ細やかな支援を行う。また、住宅取得支援では、子育て世代等の転入者と市内在住者も利用できる制度として、転入促進と転出抑制を図ることができる。空き家バンクでは、市内空き家のさらなる登録を促進し、空き家の解消及び地域の活性化につなげる。							

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)



単位:千円

所管課	住宅土地政策課	事業名	最上山公園等整備事業				予算書頁	119
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり				
科目名等	7-4-2		基本施策	【7】住環境整備・土地利用の推進				
公園費			個別施策	①生活環境の保全				
対象者(受益)		事業目的	公園内のトイレや遊歩道の整備並びに計画的な植栽等を行うことにより、公園環境と利便性の向上を図り、観光客や公園利用者の増加につなげる。					
具体名	公園利用者							
人数等	—							
予算額等		財源内訳					R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額
R6当初予算	20,628	0	0	0	20,628	0	0	委託料 1,548
R5当初予算	18,088	0	0	0	18,088	0	0	工事請負費 19,080
対前年度増減	2,540	0	0	0	2,540	0	0	
R4決算	19,792	0	4,014	0	15,778	0	0	
		事業期間	H28 ~ R7	新規・継続・拡充の別		継続		
事業内容		<p>【事業期間中の事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○老朽化施設の撤去:トイレ5箇所、手洗い2箇所、林業研修センター ○トイレ改修2箇所 ○トイレ建替え2箇所 ○遊歩道設置・修繕、簡易休憩所整備、弁天池土砂撤去 ○もみじ山ライトアップ電気工事、LED照明機器取付 ○もみじ山支障木伐採、高木剪定 ○モミジ等植栽 ○駐車場整備(区画線) ○トイレ手洗い水栓取替 						
		<p>【R6事業内容】</p> <p>遊歩道設置工事 L=60m (W=2.0)</p>						
							<p>紅葉風景</p>	
成果目標・事業効果		事業に係る目標(数値目標)	—				目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—
		<p>事業効果</p> <p>最上山公園は、市民の憩いと安らぎの空間となっている。また、紅葉の時期には各地から多くの観光客が訪れ、市の観光資源にもなっている。</p> <p>令和3年度に設置した車いす対応遊歩道を延長し、障がいの有無に関わらず誰もがモミジの鑑賞や散策できるルートを確認することにより、観光客や公園利用者の利便性の向上を図ることができる。</p>						

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)



単位:千円

所管課	住宅土地政策課	事業名	市営宝谷団地長寿命化改善事業				予算書頁	121		
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり						
科目名等	7-6-2		基本施策	【7】住環境整備・土地利用の推進						
	住宅建設費		個別施策	①生活環境の保全						
対象者(受益)		事業目的	市営住宅の長寿命化を図り、安定的に住宅を供給する。							
具体名	入居者									
人数等	8戸									
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	35,236	16,242	0	0	0	18,900	94	委託料	5,520	
R5 当初予算	0	0	0	0	0	0	0	工事請負費	29,000	
対前年度増減	35,236	16,242	0	0	0	18,900	94	補償費	716	
R4 決算	0	0	0	0	0	0	0			
事業期間		R5	~	R7	新規・継続・拡充の別	継続				
事業内容	【事業期間中の事業内容】									
	<p>○宝谷団地 4棟(8戸)長寿命化改善・居住性向上改善、外構整備 他 構造等:木造2F 建築年:昭和58年(1983年) R5~R7 実施設計監理業務 R6:2棟(4戸)長寿命化改善等、外構整備 R7:2棟(4戸)長寿命化改善等、1棟(2戸)取壊、外構整備</p>									
	<p>外観全景 台所 浴室 便所</p>									
成果目標・事業効果	【R6 事業内容】					<p>令和6年度 工事実施箇所 ・長寿命化改善工事 ■ ・外構整備工事 □</p>				
	<p>○実施設計監理業務 ・設計業務 R6工事分(2棟(4戸))、R7計画分(2棟(4戸)) ・監理業務 R6工事分(2棟(4戸))</p> <p>○工事 2棟(4戸)長寿命化改善・居住性向上改善・外構整備</p>					<p>事業に係る目標 (数値目標)</p> <p>—</p> <p>目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)</p> <p>—</p>				
<p>事業効果</p> <p>市営宝谷団地は昭和58年に建築され、一定の安全性が確保されている新耐震基準(S56年以降)の住宅である。</p> <p>本事業において、今後30年程度の使用を想定し、長期的な活用に耐え得るよう、居住性・耐久性の向上や、躯体の劣化の低減等における改善を行うことで、良好な住環境の形成を図ることができる。</p>										

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)





単位:千円

所管課	上下水道課	事業名	水道施設改良事業				予算書頁	水道24、27	
会計名	水道事業会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	水道事業費用・資本的支出		基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持					
	営業費用・建設改良費		個別施策	③上水道事業の推進					
対象者(受益)		事業目的	基幹となる水道施設の更新・耐震化により、安全でおいしい水の安定供給を図る。						
具体名	給水人口								
人数等	34,708人								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	125,500	0	0	0	0	112,500	13,000	委託料	23,000
R5当初予算	119,000	0	0	0	0	112,000	7,000	工事請負費	100,000
対前年度増減	6,500	0	0	0	0	500	6,000	補償費	1,800
R4決算	7,150	0	0	0	0	7,150	0	土地購入費	700
		事業期間	R2	~	R13	新規・継続・拡充の別	継続		
事業内容		<p>【事業期間中の事業内容】</p> <p>R2 上寺浄水場 - 戸原浄水場区間配水管連結整備(遠方監視システム整備) R2 神戸浄水場 - 嶋田浄水場区間配水管連結整備(連絡管整備) R3 西河内浄水場施設改良(取水濁度前処理) ・詳細設計・工事 R3-R6 染河内浄水場施設改良(取水濁度前処理) ・概略設計(R3)・詳細設計(R4)・工事(R5-R6) R5-R6 坂配水池施設改良 ・詳細設計(R5)・工事(R6) R4-R13 上寺浄水場施設改良(耐震/改良) ・概略設計(R4)・耐震診断(R6)・耐震設計/工事</p>							
		<p>【R6事業内容】</p> <p>【委託】 坂配水池更新工事監理業務 上寺配水池耐震診断業務</p> <p>【工事】 坂配水池更新工事</p> <p>【補償費】 坂配水池予定地立木補償費</p> <p>【土地購入費】 坂配水池用地費</p>							
		事業に係る目標 (数値目標)	—			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)	—		
成果目標・事業効果		<p>坂配水池は、波賀区域南部へ配水するための基幹配水池であり、更新による耐震化で、水道水の安定供給を図ることができる。</p> <p>事業効果 上寺配水池については、耐震診断を行い、診断結果に基づき、必要に応じ、耐震化を実施することで、安定した水道水の供給を図ることができる。</p>							

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)



単位:千円

所管課	上下水道課		事業名	水道老朽管更新事業			予算書頁	水道27	
会計名	水道事業会計		総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり				
科目名等	資本的支出			基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持				
	建設改良費			個別施策	③上水道事業の推進				
対象者(受益)			事業目的	昭和50年代に敷設された波賀地区の基幹送配水管は、耐震性能が低く経年劣化による破断の危険性が高いため、更新工事を実施し水道水の安定供給を図る。					
具体名	給水人口								
人数等	34,708人								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	29,000	6,502	0	0	0	22,400	98	委託料	8,000
R5当初予算	58,478	12,000	0	0	0	46,400	78	工事請負費	21,000
対前年度増減	△ 29,478	△ 5,498	0	0	0	△ 24,000	20		
R4決算	49,870	13,096	0	0	0	36,700	74		
		事業期間	R2 ~ R13		新規・継続・拡充の別	継続			
【事業期間中の事業内容】									
R2 老朽配水管更新事業(波賀町上野 L=143m 山崎町上牧谷 L=199m)									
R3 老朽配水管更新事業(山崎町下町「長泉寺橋添架管」L=23m)									
R3-R11 老朽配水管更新事業(波賀町飯見・有賀・安賀・小野 L=4,000m 坂配水池)									
R3-R4 老朽配水管更新事業(山崎町庄能 L=50m)									
R8-R10 老朽配水管更新事業(山崎町今宿水管橋)									
R7-R13 老朽配水管更新事業(山崎町須賀沢・高所・中 L=1,300m)									
【R6事業内容】									
【委託】									
有賀地内他老朽配水管更新設計業務 φ100、150 L=1,460m									
【工事】									
飯見地内老朽送水管更新工事 φ150 L=210m									
【工事区間】									
飯見配水池～坂配水池									
		事業に係る目標 (数値目標)	—			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)	—		
成果目標・事業効果		事業効果				波賀町飯見地区における基幹送配水管においては、管種がVP管であり経年劣化による破断の可能性が非常に高い。これまで同管種の管路破断による漏水が発生しており、早急な対策が必要であり、今回、特に重要とする基幹送配水管を耐震管へ更新することで、安定した水道水の供給を図ることができる。			
						 <p>(配水管破損状況) 「VP管」</p>			
						 <p>(耐震管への更新) 「高密度ポリエチレン管」</p>			

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)



単位:千円

所管課	上下水道課		事業名	雨水幹線整備事業			予算書頁	下水24		
会計名	下水道事業会計		総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	資本的支出			基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持					
	建設改良費			個別施策	④下水道事業の推進					
対象者(受益)			事業目的	穴粟市山崎町内(流域下水道区域)における雨水の適切な排水により、当該区域の内水氾濫を防止する。						
具体名	区域内受益者									
人数等	8,090人									
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6 当初予算	51,015	24,007	0	0	0	27,000	8	工事請負費	41,700	
R5 当初予算	41,916	20,958	0	0	0	20,900	58	補償費	9,315	
対前年度増減	9,099	3,049	0	0	0	6,100	△ 50			
R4 決算	979	489	0	0	0	480	10			
事業内容	事業期間	H25 ~ R9		新規・継続・拡充の別	継続					
	【事業期間中の事業内容】									
	<p>H25-H28 上溝雨水幹線整備事業 L=106m(測量・設計・工事・物件補償)</p> <p>H29-R1 門前雨水幹線整備事業 L=190m(測量・設計・工事)</p> <p>R1-R9 山田千本屋雨水幹線整備事業 L=333m(測量・設計・工事・用地買収・物件補償)</p>									
事業内容	【R6 事業内容】									
	【山田千本屋雨水幹線整備事業】									
	<p>雨水幹線整備工事 L=67m (BOX W1.8 × H1.4)</p> <p>(R5-R8 債務負担 区間延長 L=182m)</p> <p>物件補償 1.0式</p> <p>(R5-R8 債務負担)</p>									
事業に係る目標 (数値目標)			—			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)			—	
成果目標・ 事業効果	<p>事業効果</p> <p>穴粟市山崎町内の雨水の適切な排水及び内水氾濫の防止を図ることができる。</p>									

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)

単位:千円

所管課	建設課・北部事務所		事業名	道路維持補修事業			予算書頁	115	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			R6年度当初予算の内訳	金額
科目名等	7-2-2	道路維持費		基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持				
				個別施策	①生活道路網の整備・維持				
事業期間	H17～		事業概要	・道路維持修繕工事 山崎:河東神野線他2路線、一宮:乗取線他3路線、波賀:日ノ原線他2路線、千種:河内線他2路線					
新規・継続・拡充の別	継続			・里道水路修繕補助(事業補助金・原材料支給) ・道路除雪					
予算額等	財源内訳								
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	122,114	7,192	15,536	0	15,217	51,900	32,269	需用費	13,922
R5当初予算	113,113	7,192	15,557	0	12,036	40,500	37,828	委託料	25,353
対前年度増減	9,001	0	△ 21	0	3,181	11,400	△ 5,559	工事費	68,936
R4決算	126,278	9,466	20,514	0	13,249	9,663	73,386	その他	13,903

所管課	建設課・北部事務所		事業名	交通安全施設事業			予算書頁	117	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	④安全で安心なまちづくり			R6年度当初予算の内訳	金額
科目名等	7-2-5	交通安全施設費		基本施策	【13】防犯・交通安全の推進				
				個別施策	②交通安全施設の整備				
事業期間	H17～		事業概要	交通安全対策(通学路対策、区画線更新)					
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳								
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	14,200	0	0	0	8,000	0	6,200	需用費	1,200
R5当初予算	97,650	35,000	0	0	14,700	38,300	9,650	工事費	11,400
対前年度増減	△ 83,450	△ 35,000	0	0	△ 6,700	△ 38,300	△ 3,450	原材料	1,600
R4決算	26,247	921	0	0	17,896	0	7,430		

所管課	住宅土地政策課		事業名	都市計画道路網見直し検討業務			予算書頁	119	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			R6年度当初予算の内訳	金額
科目名等	7-4-1	都市計画総務費		基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持				
				個別施策	②広域的道路網の整備促進				
事業期間	R6～R7		事業概要	市中心部の道路交通は、交通量の減少や土地区画整理事業の廃止及び新病院建設など、取り巻く環境が変化していることから、都市の骨格を形成する都市計画道路網見直し検討を行う。					
新規・継続・拡充の別	新規								
予算額等	財源内訳								
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	4,800	0	0	0	0	4,800	委託料	4,800	
R5当初予算	0	0	0	0	0	0			
対前年度増減	4,800	0	0	0	0	4,800			
R4決算	0	0	0	0	0	0			

所管課	上下水道課		事業名	道路改良工事に伴う水道管布設事業			予算書頁	水道27	
会計名	水道事業会計		総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり			R6年度当初予算の内訳	金額
科目名等	資本的支出	建設改良費		基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持				
				個別施策	③上水道事業の推進				
事業期間	R2～R7		事業概要	市道山田下広瀬線改良工事に伴い水道未整備区域に配水管を敷設する。					
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳								
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	13,000	0	0	0	12,300	700	工事費	13,000	
R5当初予算	20,000	0	0	0	18,000	2,000			
対前年度増減	△ 7,000	0	0	0	△ 5,700	△ 1,300			
R4決算	12,574	0	0	0	10,800	1,774			

令和6年度主要施策に係る説明書(建設部)

所管課	上下水道課	事業名	下水道施設統廃合事業				予算書頁	下水22	
会計名	下水道事業会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	収益的支出		基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持					
	総係費		個別施策	④下水道事業の推進					
事業期間	R1～	事業概要	将来にわたり健全な下水処理を行うために、施設の統廃合やダウンサイジングを計画的に実施する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	20,000	10,000	0	0	0	10,000	委託料	20,000	
R5当初予算	1,000	0	0	0	0	1,000			
対前年度増減	19,000	10,000	0	0	0	9,000			
R4決算	0	0	0	0	0	0			

所管課	上下水道課	事業名	道路改良工事に伴う下水道管布設事業				予算書頁	下水24	
会計名	下水道事業会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	資本的支出		基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持					
	建設改良費		個別施策	④下水道事業の推進					
事業期間	R2～R7	事業概要	市道山田下広瀬線改良工事に伴い下水道未整備区域に下水道管を敷設する。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	8,000	0	0	0	6,000	2,000	工事費	8,000	
R5当初予算	27,600	0	0	0	27,600	0			
対前年度増減	△19,600	0	0	0	△21,600	2,000			
R4決算	12,890	0	0	0	11,400	1,490			

所管課	上下水道課	事業名	農業集落排水施設長寿命化事業				予算書頁	下水27	
会計名	下水道事業会計	総合計画の施策体系	基本方針	②環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり					
科目名等	資本的支出		基本施策	【8】道路網・上下水道の整備・維持					
	建設改良費		個別施策	④下水道事業の推進					
事業期間	H17～	事業概要	老朽化した施設について、長寿命化を実施することで、ライフサイクルコストの縮減を図ると共に、公共水域の安定した水質保全に努める。						
新規・継続・拡充の別	継続								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	40,000	0	20,000	0	20,000	0	委託料	6,000	
R5当初予算	19,000	0	9,500	0	9,500	0	工事費	34,000	
対前年度増減	21,000	0	10,500	0	10,500	0			
R4決算	5,280	0	2,640	0	0	2,640			

令和6年度主要施策に係る説明書(教育部)



単位:千円

所管課	学校教育課	事業名	不登校児童生徒支援員配置事業					予算書頁	129	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針		⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	9-1-3		基本施策		【17】学校教育の充実					
	教育振興費		個別施策		①生きる力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)の育成					
対象者(受益)		事業目的	校内サポートルームにおける不登校および不登校傾向のある児童生徒への個に応じた学習や生活の支援等を行う「不登校児童生徒支援員」を配置し、基礎的な学習の支援をはじめ、社会的自立へ向けた支援等を行う。							
具体名	宍粟市立小中学校									
人数等	10校									
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳			
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	11,832	0	5,250	0	0	0	6,582	報酬	10,500	
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0	旅費	1,332	
対前年度増減	11,832	0	5,250	0	0	0	6,582			
R4決算	0	0	0	0	0	0	0			
事業内容	事業期間	R6 ~ R10		新規・継続・拡充の別		新規				
	【事業期間中の事業内容】 兵庫県は「ひょうご不登校対策プロジェクト」の拡充として、令和6年度に「学校内の安心できる居場所(校内サポートルーム)」の設置に向けて重点的に取り組む方向を示している。 今後は、校内サポートルームにおける不登校および不登校傾向のある児童生徒への個に応じた学習や生活の支援等を行う「不登校児童生徒支援員」を配置し、基礎的な学習の支援をはじめ、社会的自立へ向けた支援等を行っていくことが求められる。 そこで、兵庫県下においても不登校児童生徒数が小学校よりも中学校に多い現状を鑑み、全中学校(7校)と小学校(3校)【4校につき1校の配置】に「不登校児童生徒支援員」として、会計年度任用職員(4時間/日×週5日×35週)を配置し、校内サポートルームの機能強化を図っていく。									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	・不登校児童生徒数割合について…兵庫県割合以下の維持。(【R4県】小:1.8%、中7.1%、【R4市】小:0.5%、中:3.0%) ・全国学力・学習状況調査において、児童・生徒質問紙「学校に行くのが楽しい」の質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合…全国平均以上の維持。(【R5国】小:49.8%、中43.3%、【R5市】小:61.2%、中:60.3%)			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)		—			
	事業効果	支援員として、地域人材(教員免許不問)等を登用することにより、次の事業効果が期待される。 ①学校内に、落ち着いた空間で自分に合ったペースで学習・生活できる環境を整えることで、個に応じた学習の支援や不安の解消につながるのと同時に、早期に学習や進学に対する意欲を回復しやすい効果が期待される。 ②対象児童生徒へ関わる人材を常駐させることができ、「学校内の安心できる居場所」として、個に応じた学習や生活への支援をより丁寧に行うことができる。 ③対象児童生徒のペースに合わせて相談を受けたり、適切に学習のサポートを行うことができるため、これまで、その役割を担ってきた学級担任や生徒指導担当教員の業務負担軽減につなげることができる。								

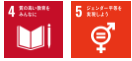
令和6年度主要施策に係る説明書(教育部)



単位:千円

所管課	学校教育課	事業名	宍粟市英語検定料補助事業					予算書頁	132
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	9-1-3		基本施策	【17】学校教育の充実					
	教育振興費		個別施策	①生きる力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)の育成					
対象者(受益)		事業目的	豊かな英語力と進んでコミュニケーションを図ろうとする姿勢、及びグローバル社会を主体的に生きる能力の育成を図るために、市内中学校に在籍する生徒の英語検定の受験料を支援する。						
具体名	市内中学校の英検受験希望者								
人数等	希望者全員								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	1,538	0	0	0	0	0	1,538	補助金	1,538
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	1,538	0	0	0	0	0	1,538		
R4決算	0	0	0	0	0	0	0		
事業内容	事業期間	R6	～	R8	新規・継続・拡充の別		新規		
	【事業期間中の事業内容】								
<p>市内中学校に通う生徒の英語力向上のため、英語検定料補助金交付要綱を制定する。受験に際しては、自分のレベルに合わせた目標を設定し受験することとし、英語学習に意欲的に取り組む環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要綱名:宍粟市英語検定料補助金交付要綱 ・対象者:市内中学校の受験希望者全員(補助率10/10) ・補助金の交付は、受験者一人あたり1年度につき1回を上限とする <p>CEFR:A1上位相当の英語力を測る目安となる試験は限られており(英検、GTEC、IELTS)、このうち、生徒にも身近な英検が適当であると考えられる。また、英語検定の受験料は他と比べても比較的安価である。 (英検:3級で4,600円※団体で学校を準会場として受験した場合) (GTEC CBT:9,900円+証明書発行料) (IELTS:25,380円) ※CEFR=Common European Framework of Reference for Language英語力を示す世界基準となっている共通参照レベル</p>									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・(CEFR:A1上位)レベル相当の生徒数の割合を令和8年度に50%(令和10年度までに60%以上) ・令和8年度の全国学力・学習状況調査において、英語の平均正答率を全国平均(令和5年度調査:市40%、県47%、国46%) 			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)		—		
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が高校、大学、そして社会人へと生涯学習全てのステージにおいて、継続的に一つの共通尺度で英語力の測定を行い、「英語を用いて何ができるようになるか」という明確な目標を立てたり、ステップアップのためのモチベーション維持・向上につながる事が期待できる。 ・生徒一人一人が検定結果を教員と一緒にフィードバックすることで、学習に必要なポイントを具体的に把握し、より効率的な学習に取り組むことができ、生徒の英語力向上が期待される。 							

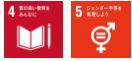
令和6年度主要施策に係る説明書(教育部)



単位:千円

所管課	こども未来課・教育総務課・施設整備課		事業名	就学前施設DX推進事業			予算書頁	78、139	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり				
科目名等	3-2-4・9-4-1			基本施策	【16】就学前教育の充実				
	児童福祉施設費・幼稚園費			個別施策	①幼児教育・保育の充実				
対象者(受益)	保護者及び職員		事業目的	公立の幼稚園と認定こども園において、こども施設向けICTソフトを活用した登降園管理による教育保育現場の安全管理体制を強化するとともに、業務の省力化による職員の負担軽減、保護者アプリの活用による保護者の利便性向上を進めるなど、教育保育環境の充実を図る。					
具体名	—								
人数等	—								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	7,595	3,797	0	0	3,798	0	0	役務費	44
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0	使用料	2,654
対前年度増減	7,595	3,797	0	0	3,798	0	0	工事請負費	2,621
R4決算	0	0	0	0	0	0	0	備品購入費	2,276
事業内容	事業期間	R6 ~			新規・継続・拡充の別	新規			
	【事業期間中の事業内容】								
<p>①こども園のWi-Fi環境整備【事業費:2,621千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸原こども園、はりま一宮こども園、一宮北こども園 ※(河東幼稚園、波賀幼稚園 : 広報情報課が進める「LGWAN接続系ネットワーク無線化業務」により整備) <p>②タブレットの配置【事業費:2,276千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各園の入口に登降園管理用タブレットを配置し、職員室及び各クラスに1台ずつタブレットを配置することで登降園管理や職員間の情報共有 <p>③こども施設向けICTソフトを導入【事業費:2,654千円(利用料等3カ年分)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アプリを活用することによりスマートフォンを通じた欠席連絡など保護者の利便性の向上と教育保育現場の業務省力化による負担軽減 									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—			
	事業効果	こども施設向けICTソフトを活用した登降園の管理や職員間の情報共有による教育保育現場の安全管理体制の強化、業務の省力化による職員の負担軽減を図ることで、より子どもと向き合う時間が増え、教育保育の質の向上が図れる。また、保護者アプリの活用により、スマートフォンを通じて欠席連絡等を行うことで保護者の利便性の向上が図れる。							

令和6年度主要施策に係る説明書(教育部)



単位:千円

所管課	こども未来課	事業名	幼保一元化推進事業					予算書頁	81
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	3-2-7		基本施策	【16】就学前教育の充実					
	少子化対策事業費		個別施策	②幼保一元化に向けた取組の推進					
対象者(受益)		事業目的	少子化による子どもの減少に備えて、幼保一元化によるこども園を整備することで、子どもの育ちに必要な集団の確保と多様な子育てニーズに対応できる幼児教育・保育環境を整備する。						
具体名	こども園入園予定者								
人数等	95名								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	53,651	0	0	0	0	53,600	51	役務費	28
R5当初予算	313,020	138,798	0	0	0	166,700	7,522	工事請負費	41,023
対前年度増減	△ 259,369	△ 138,798	0	0	0	△ 113,100	△ 7,471	補助金	12,600
R4決算	399,310	106,798	31,387	0	0	247,584	13,541		
事業内容	事業期間	H23	～	R6	新規・継続・拡充の別	継続			
	【事業期間中の事業内容】								
	<p>○認定こども園の整備状況(幼保一元化推進事業)</p> <p>H27.4 ちくさ杉の子こども園開園 H31.4 戸原こども園・一宮北こども園開園 R2.4 はりま一宮こども園開園 R5.4 穴栗わかば開園 R6.4 まあるこども園開園</p> <p>○今後の計画 城東保育所園舎解体工事、認定こども園関連道路拡幅工事</p>								
事業内容	【R6事業内容】								
	▼認定こども園での教育・保育の様子								
	<p>令和6年4月まあるこども園開園後、周辺整備を実施する。</p> <p>・城東保育所の園舎解体工事 20,000千円 ・市道野保育所線整備工事費 20,000千円 ・まあるこども園施設整備補助 12,600千円 ・放送設備移転工事費 1,023千円</p> 								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—			
	事業効果	幼稚園と保育所の機能をあわせもつ認定こども園の整備を進めることで、保護者が安心して子どもを託せる教育保育環境を整えることができる。							

令和6年度主要施策に係る説明書(教育部)



単位:千円

所管課	施設整備課	事業名	宍粟材活用児童生徒用学習机整備事業				予算書頁	134、137	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	9-2-1・9-3-1		基本施策	【17】学校教育の充実					
	学校管理費		個別施策	②教育環境の整備					
対象者(受益)	児童生徒(R6見込)	事業目的	市内小中学校の児童生徒が教室で使用している学習机について、全体的に経年劣化し学習等に支障をきたしていることから更新する。更新に際しては天板に宍粟産材を活用した製品にすることにより、児童生徒の良好な学習環境を確保し、地域材の利用促進・普及啓発を図るとともに、環境教育の一助とすることを目的とする。						
人数等	2,371人								
具体名	児童生徒(R6見込)								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	15,167	0	0	0	0	15,167	備品購入費	15,167	
R5当初予算	0	0	0	0	0	0			
対前年度増減	15,167	0	0	0	0	15,167			
R4決算	0	0	0	0	0	0			
事業内容	事業期間	R6	～	R10	新規・継続・拡充の別	新規			
	【事業期間中の事業内容】								
	<p>【事業の概要】 市内小中学校で児童生徒が使用する学習機の更新合計(約)2,100台(小学校:1,200台、中学校:900台) 上記を5か年かけて順次購入</p> <p>【総事業費】 @18,000円/台×2,100台×1.10=41,580千円 財源:森林環境譲与税(全額)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> か 環境を守る </div> <div style="text-align: center;"> き 技術や文化を伝える </div> <div style="text-align: center;"> く 暮らしに木を取り入れる </div> <div style="text-align: center;"> け 経済を活性化させる </div> <div style="text-align: center;"> こ 子どもの心を豊かにする </div> </div> <p style="text-align: center;">宍粟市は「森林(もり)」を活用したまちの創造に取り組みます</p>								
【R6事業内容】									
【R6事業費】 小学校(小1・2) @18,000円/台×446台×1.10=8,831千円 中学校(中1) @18,000円/台×320台×1.10=6,336千円 財源:森林環境譲与税(全額)									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	更新台数2,100台			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—			
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の良好な学習環境を確保することができる。 児童生徒が宍粟産材と触れ合う機会を創出することにより環境教育の一助とし、地域材利用促進と普及啓発を図ることができる。 							

令和6年度主要施策に係る説明書(教育部)



単位:千円

所管課	施設整備課	事業名	(仮称)山崎南小学校統合改修事業					予算書頁	135	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり						
科目名等	9-2-3		基本施策	【17】学校教育の充実						
	学校施設整備費		個別施策	②教育環境の整備						
対象者(受益)		事業目的	学校規模適正化によりR7.4.1に現在の城下小学校において(仮称)山崎南小学校として新規開校するにあたり、建設より相当年数が経過して老朽化が進行した校舎等を改修し、教育環境の充実を図ることを目的とする。							
具体名	児童(R7見込)									
人数等	302人									
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額		
R6当初予算	374,391	104,658	0	0	0	265,600	4,133	役務費	630	
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0	委託料	13,990	
対前年度増減	374,391	104,658	0	0	0	265,600	4,133	工事請負費	356,579	
R4決算	0	0	0	0	0	0	0	備品購入費	3,192	
事業内容	事業期間	R6			新規・継続・拡充の別	新規				
	【事業期間中の事業内容】									
	総事業費: 374,391千円 財源内訳(国費104,658千円、起債265,600千円、一財4,133千円)									
	改修施設規模等: 北校舎(RC造3階建2,104㎡)、プール(水張421㎡) 他									
	【事業内容】 北校舎(内外装改修、EV棟増築)、プール(更衣室棟・プール改修)、設計監理業務 等									
	【現在の城下小学校の状況】									
										
	校舎外観					軒天				
										
	教室			廊下			プール			
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—				
	事業効果	改修工事により施設の老朽化を解消することにより、より良い教育環境を確保することができる。								

令和6年度主要施策に係る説明書(教育部)



単位:千円

所管課	社会教育文化財課	事業名	文化財保存活用地域計画等作成事業				予算書頁	147	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑦心豊かにいきいきと学べるまちづくり					
科目名等	9-5-6		基本施策	【24】文化・芸術活動の推進					
	文化財保護費		個別施策	①歴史と文化資源の保全・活用					
対象者(受益)		事業目的	平成31年に施行された文化財保護法に基づく文化財保護活用大綱・文化財保存活用地域計画・保存活用計画の策定等に関する指針により、「宍粟市文化財保存活用地域計画」を策定する。						
具体名	市民								
人数等	—								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	7,887	7,887	0	0	0	0	0	報償費	420
R5当初予算	6,261	6,249	0	0	0	0	12	旅費	34
対前年度増減	1,626	1,638	0	0	0	0	△12	需用費	170
R4決算	0	0	0	0	0	0	0	役務費	47
事業内容	事業期間	R5	～	R7	新規・継続・拡充の別	継続	委託料	7,216	
	【事業期間中の事業内容】								
	<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定協議会設置、委託業者選定、基礎調査(事前把握調査)ほか <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定協議会、文化財の保存・活用に関する方針・措置の検討、事業内容の検討、計画素案作成・修正等 <p>【令和7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定協議会、パブリックコメント・議会意見聴取、文化財保存活用地域計画作成、文化庁認定申請、印刷製本等 								
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		—			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)		—	
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保存・活用の基本的な方向性を明確化し、市内において各種の取組を進めていくうえで共通の基盤として指針等を定め、市民の文化財保護意識の醸成を図ることができる。 計画で作成した指定・未指定の文化財所在データを地域に周知することにより、地域防災計画や自治会の自主防災組織と連携した文化財の保護につながる。 計画で集約・作成した文化財や歴史文化遺産のデータを学校教育や生涯学習の素材・資源として活用することによって、児童・生徒や地域住民の歴史文化への関心を高め、次世代への継承と地域への誇りや愛着を深めることができる。 各分野の文化財のデータベースを文化財の保存・活用事業の基本資料とすることで、これまで保護措置が充分でなかった文化財の保存・活用を推進することができる。 計画作業で把握した市内の文化財や歴史文化遺産をテーマに沿って関連付けることで、観光ルートや社会教育の学習ルートなどに設定し、観光客や交流人口の促進を図ることができる。 							



御形神社本殿
(国指定重要文化財)

令和6年度主要施策に係る説明書(教育部)



単位:千円

所管課	学校給食センター	事業名	学校給食運営事業					予算書頁	152
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	9-6-3		基本施策	【17】学校教育の充実					
	学校給食運営費		個別施策	①生きる力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)の育成					
対象者(受益)		事業目的	学校給食摂取基準を踏まえ、食材を適切に組み合わせ、安定した学校給食を提供し、健康の増進と食育の推進を図る。						
具体名	児童・生徒、教職員等								
人数等	3,043人								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	給食費	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	170,453	24,853	0	118,178	25,391	0	2,031	需用費	170,322
R5当初予算	172,986	25,981	259	119,882	26,864	0	0	役務費	131
対前年度増減	△ 2,533	△ 1,128	△ 259	△ 1,704	△ 1,473	0	2,031		
R4決算	181,640	27,961	259	120,095	27,763	0	5,562		
事業内容	事業期間	R4	～	新規・継続・拡充の別	継続				
	【事業期間中の事業内容】								
	■歳出	給食食材費総額		170,453千円 (①+②)					
		食材費		170,322千円 ①		食材加工手数料		131千円 ②	
	■財源内訳								
	1. 給食費								
	1) 学校給食費及び高等学校給食費			118,178千円 ③					
	保護者等からの学校給食費受入	2,746名(3,043名-第3子免除297名)		117,878千円					
	過年度分学校給食費滞納者納入分			300千円					
	2. 事業とその他特定財源(ブナ基金・雑入)			25,391千円 ④+⑤+⑥					
1) 給食材料での地産地消推進に関する取組み ※地産地消推進事業(ブナ基金充当)									
地域で生産された食材を食育の生きた教材として提供し、また生産者の顔の見える給食を提供することで郷土への愛着と誇りの醸成を図るとともに生産者の生産意欲の向上につなげる。									
農畜産物(牛肉、鹿肉、野菜、果物)・水産物(アマゴ、あゆ)			12,797千円 ④						
2) 第3子以降学校給食費免除による子育て支援(ブナ基金充当)									
小学生以上で18歳未満の子を3人以上養育している家庭で、その年長から第3子目以降の義務教育期間中の児童・生徒の給食費を全額免除により子育て支援を推進する。 ※対象家庭等318戸									
小学生	41,800円	×	255名	=	10,659,000円				
中学生	45,100円	×	42名	=	1,894,200円				
計	297名		12,553,200円	→	12,553千円 ⑤				
3) 教育費雑入	廃油引取代				41千円 ⑥				
3. 国庫支出金(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)			24,853千円 ⑦+⑧						
物価高騰等により保護者が負担すべき給食費の高騰分を市が負担することにより、学校給食費を同額で保持し、保護者等の給食費の負担軽減支援を行う。									
			一般食材分		24,533千円 ⑦				
			地産地消分		320千円 ⑧				
4. 一般財源					2,031千円 ⑨				
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)	—		目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	—				
	事業効果	今般の物価高騰により様々な食材の価格が上昇している。地産地消推進事業及び地方創生臨時交付金を活用することにより、学校給食に係る食材費を確保し、栄養バランスのとれた学校給食の提供により、児童生徒の心身の健全な発達に寄与する。							

令和6年度主な事業の一覧(教育部)

単位:千円

所管課	学校教育課	事業名	小中一貫教育推進事業				予算書頁	129	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	9-1-3 教育振興費		基本施策	【17】学校教育の充実					
事業期間	R3 ~		個別施策	②教育環境の整備					
新規・継続・拡充の別	拡充	事業概要	「宍粟市小中一貫教育の推進及び整備方針」に基づき、小中一貫教育を推進していくため、小中一貫教育推進教員を市独自に配置し、カリキュラムや行事等の調整や中学校の実技教科、小学校の教科担任制の授業等を担当させる。						
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	6,667	0	0	0	0	6,667	人件費	6,174	
R5当初予算	5,597	0	0	0	0	5,597	報償費	50	
対前年度増減	1,070	0	0	0	0	1,070	旅費	443	
R4決算	2,452	0	0	0	0	2,452			

所管課	こども未来課	事業名	施設型給付・委託事業				予算書頁	76	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	3-2-3 子ども・子育て支援費		基本施策	【16】就学前教育の充実					
事業期間	H27~		個別施策	①幼児教育・保育の充実					
新規・継続・拡充の別	継続	事業概要	子ども・子育て支援法第27条の規定に基づき、子どものための教育・保育に必要な費用を給付することで、幼児教育・保育環境を整える。						
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	880,062	423,020	204,033	28,574	0	224,435	扶助費	880,062	
R5当初予算	909,242	424,980	199,123	32,035	0	253,104			
対前年度増減	△ 29,180	△ 1,960	4,910	△ 3,461	0	△ 28,669			
R4決算	849,597	404,424	182,968	41,148	0	221,057			

所管課	こども未来課	事業名	しそう幼児教育支援事業				予算書頁	77	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	3-2-4 児童福祉施設費		基本施策	【16】就学前教育の充実					
事業期間	R5~		個別施策	①幼児教育・保育の充実					
新規・継続・拡充の別	継続	事業概要	しそう幼児教育支援委員会を設置し、指定モデル園の研究結果の普及啓発を図るとともに保育教諭等を対象とした研修やカリキュラム研究に取り組む。						
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	180	0	0	0	0	180	報償費	180	
R5当初予算	120	0	0	0	0	120			
対前年度増減	60	0	0	0	0	60			
R4決算	0	0	0	0	0	0			

所管課	こども未来課	事業名	認定こども園整備支援事業				予算書頁	82	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	3-2-7 少子化対策事業		基本施策	【16】就学前教育の充実					
事業期間	R5~R7		個別施策	②幼保一元化に向けた取組の推進					
新規・継続・拡充の別	継続	事業概要	子どもの育ちに必要集団の確保と多様な子育てニーズに対応できる幼児教育・保育環境を整備する。						
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額	
R6当初予算	332,200	175,950	0	0	148,700	7,550	補助金	332,200	
R5当初予算	5,000	0	0	0	5,000	0			
対前年度増減	327,200	175,950	0	0	143,700	7,550			
R4決算	0	0	0	0	0	0			

令和6年度主な事業の一覧(教育部)

単位:千円

所管課	施設整備課	事業名	小中学校校務用パソコン更新事業				予算書頁	131	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑤子どもが健やかに育つまちづくり					
科目名等	9-1-3		基本施策	【17】学校教育の充実					
	教育振興費		個別施策	②教育環境の整備					
事業期間	R6	事業概要	市内小中学校の教職員が校務で使用しているパソコン一式を更新する。						
新規・継続・拡充の別	新規								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	81,932	40,966	0	0	40,966	0	0	備品購入費	81,932
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0		
対前年度増減	81,932	40,966	0	0	40,966	0	0		
R4決算	0	0	0	0	0	0	0		

所管課	社会教育文化財課	事業名	宍粟市読書活動推進計画の改定				予算書頁	142	
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑦心豊かにいきいきと学べるまちづくり					
科目名等	9-5-2		基本施策	【23】生涯学習の推進					
	図書館費		個別施策	②読書活動の推進と図書機能の充実					
事業期間	R6	事業概要	令和2年度に策定した本計画の期間が、令和6年度に5年を迎えるため見直しを行う。						
新規・継続・拡充の別	新規								
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳		
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	335	0	0	0	0	0	335	報償費	144
R5当初予算	0	0	0	0	0	0	0	旅費	15
対前年度増減	335	0	0	0	0	0	335	印刷製本費	176
R4決算	0	0	0	0	0	0	0		

令和6年度主要施策に係る説明書(市民局)



単位:千円

所管課	波賀市民局まちづくり推進課		事業名	波賀生活圏の拠点づくり事業			予算書頁	44	
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	③定住魅力の高いまちづくり				
科目名等	2-1-6			基本施策	【9】生活圏の拠点づくりの推進				
	企画費			個別施策	①生活圏の拠点づくりの推進				
対象者(受益)			事業目的	市民局周辺を生活圏の拠点として位置づけ、市民にとって暮らしやすいまちづくりを進め、人口流出を抑制する第1のダムとして機能させることで人口流出に歯止めをかける。					
具体名	市民等								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6 当初予算	91,222	0	0	0	4,560	86,300	362	報償費	130
R5 当初予算	542,767	0	0	0	30,588	510,600	1,579	需用費	232
対前年度増減	△ 451,545	0	0	0	△ 26,028	△ 424,300	△ 1,217	工事請負費	90,860
R4 決算	186,496	0	0	0	6,120	179,400	976		
		事業期間	H28 ~ R6		新規・継続・拡充の別		継続		
【事業期間中の事業内容】									
平成28年度より、一宮・千種・波賀の順で「生活圏の拠点づくり計画」を市民局ごとに策定し、必要な拠点施設等の整備を行うため、設計監理業務を委託して建設工事を順次進める。									
<ul style="list-style-type: none"> ・一宮 計画策定(H28.10~H29.4) 設計業務(H29.9~H30.9) 工事施工(H30.12~R2.3) 供用開始(R2.4) ・千種 計画策定(H29.8~H30.8) 設計業務(H31.1~R2.6) 工事施工(R2.7~R4.5) 建物供用開始(R3.12) 駐車場等供用開始(R4.6) ・波賀 計画策定(H30.8~R1.12) 設計業務(R3.1~R4.8) 工事施工(R4.11~R7.3) 一部供用開始(R6.4) 									
【R6 事業内容】									
波賀市民協働センター整備事業									
主なもの ・工事請負費 90,860千円 市民センター波賀解体撤去 駐車場整備及び公園造成 公園遊具製作設置									
					愛称: はがてらす 施設全体鳥瞰イメージパース 				
事業に係る目標 (数値目標)			—			目標数値の進捗率 (継続・拡充事業の場合)			
成果目標・事業効果									
事業効果 点在している公共施設を集約化・複合化することにより市民の利便性を向上させ、行政機能と併せて市民が集う拠点として新たな賑わいを創出することで、人口流出を抑制する。									

令和6年度主要施策に係る説明書(市民局)



単位:千円

所管課	波賀市民局まちづくり推進課		事業名	カヌーによる地域づくり事業			予算書頁	46		
会計名	一般会計		総合計画の施策体系	基本方針	⑦心豊かにいきいきと学べるまちづくり					
科目名等	2-1-9	基本施策		【25】スポーツ活動の推進						
	地域振興費	個別施策		①生涯スポーツ活動の推進						
対象者(受益)	市民及び参加者		事業目的	音水湖(引原ダム)を活用したカヌー大会や選手養成、体験会などの実施に要する経費に対して補助等を行い、生涯スポーツ活動として競技の普及を図るとともに交流人口の増加と地域の活性化に取り組む。						
具休名	610人									
人数等										
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳			
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額		
R6当初予算	4,289	0	0	0	1,400	0	2,889	人件費	2,512	
R5当初予算	14,402	0	0	0	11,950	0	2,452	旅費	107	
対前年度増減	△ 10,113	0	0	0	△ 10,550	0	437	補助金	1,670	
R4決算	7,131	0	0	0	4,859	0	2,272			
事業内容	事業期間	H29 ~			新規・継続・拡充の別	継続				
	【事業期間中の事業内容】									
	<ul style="list-style-type: none"> 音水湖カップカヌーポロ大会の開催 日本代表選手から初心者まで幅広い世代が参加できる大会を開催する。 カヌーポロ選手の養成 市民を中心にカヌーポロ選手の募集・養成を行い、市内でのカヌーポロ競技普及と県外大会へ選手を派遣し技術の向上に加え、音水湖カヌー競技場等についてPRする。 カヌーポロ体験会の開催 小学生や初心者を対象とした体験会を開催する。 カヌースプリント大会の受入れ 関西学生カヌー選手権大会等を受入れ、大会に必要な仮設トイレ等の設置を行う。 									
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		参加者 610人		目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)		令和5年度参加者実績 757人			
	カヌー競技による地域づくり事業として、音水湖を活用したカヌー大会を誘致・開催し、交流人口の増加と地域の活性化を図る。また、体験会の開催や選手養成を行い生涯スポーツ活動として競技の普及を図る。									
	事業効果									
								カヌーポロ大会	選手養成	カヌースプリント大会

令和6年度主な事業の一覧(市民局)

単位:千円

所管課	一宮市民局まちづくり推進課	事業名	御形の里づくり事業				予算書頁	47
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	③定住魅力の高いまちづくり				
科目名等	2-1-9		基本施策	【9】生活圏の拠点づくりの推進				
	地域振興費		個別施策	①生活圏の拠点づくりの推進				
事業期間	H29～	事業概要	一宮北部まちづくり委員会と連携し、一宮北部地域の活性化・地域づくり、観光の拠点として、地域資源を活かした地域の活力を創出するため、家原遺跡公園・まほろばの湯を中心に一体的な整備を行う。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	254	0	0	0	0	254	需用費	100
R5当初予算	103	0	0	0	0	103	原材料費	154
対前年度増減	151	0	0	0	0	151		
R4決算	57,060	0	872	0	4,911	51,100	177	

所管課	一宮市民局まちづくり推進課	事業名	いちのみやふるさとまつり運営事業				予算書頁	48
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	参画と協働・男女共同参画の推進				
科目名等	2-1-9		基本施策	【参画と協働・男女共同参画の推進】				
	地域振興費		個別施策	①自主自立のまちづくり				
事業期間	H17～	事業概要	参画と協働による自主創造のまちづくりを実践する場として、市民が自ら企画立案し運営するまちづくりイベント「いちのみやふるさとまつり」を開催する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	3,300	0	0	0	3,300	0	補助金	3,300
R5当初予算	3,300	0	0	0	3,300	0		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	1,000	0	0	0	1,000	0		

所管課	千種市民局まちづくり推進課	事業名	ちくさ高原彩の森林整備事業				予算書頁	47
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	①魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり				
科目名等	2-1-9		基本施策	【4】観光の振興				
	地域振興費		個別施策	①観光資源の有効活用				
事業期間	R2～R9	事業概要	ちくさ高原エリアにおいて四季折々の景観が楽しめる魅力ある風景づくりを推進するため、景観形成用樹木の育成を行い、当該エリアに植樹する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	1,500	0	0	1,500	0	0	委託料	1,000
R5当初予算	1,500	0	0	1,500	0	0	原材料費	500
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	5,574	0	751	0	4,738	0	85	

所管課	千種市民局まちづくり推進課	事業名	ちくさふれあいフェスタ実施事業				予算書頁	48
会計名	一般会計	総合計画の施策体系	基本方針	参画と協働・男女共同参画の推進				
科目名等	2-1-9		基本施策	【参画と協働・男女共同参画の推進】				
	地域振興費		個別施策	①自主自立のまちづくり				
事業期間	H22～	事業概要	住民の参画と協働によるまちづくりイベントとして、各種団体に組織する実行委員会が企画立案、運営を行い、「ちくさふれあいフェスタ」を開催する。					
新規・継続・拡充の別	継続							
予算額等	財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
	国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	1,300	0	0	0	1,300	0	補助金	1,300
R5当初予算	1,300	0	0	0	1,300	0		
対前年度増減	0	0	0	0	0	0		
R4決算	1,300	0	0	0	1,300	0		

令和6年度主要施策に係る説明書(総合病院)



単位:千円

所管課	総合病院		事業名	病院事業			予算書頁	病院18	
会計名	病院事業会計		基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり					
科目名等	収益的収入及び支出		総合計画の施策体系	基本施策	【20】地域医療の充実				
				個別施策	②穴栗総合病院の充実				
対象者(受益)			事業目的	西播磨北部地域の2次救急及び本市の地域包括ケアシステムの医療部門における中核を担う病院として、急性期から回復期までの診療を行うとともに、退院後の在宅医療まで一貫した地域完結型医療を構築し、市民の命と健康を守り、安心して安全な医療を提供する。					
具体名	市民等								
人数等	—								
予算額等		財源内訳						R6年度当初予算の内訳	
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目	金額
R6当初予算	4,246,788	5,769	707	0	0	0	4,240,312	入院収益	2,343,062
R5当初予算	4,184,394	5,769	654	0	0	0	4,177,971	外来収益	1,318,780
対前年度増減	62,394	0	53	0	0	0	62,341	その他医業	238,696
R4決算	4,951,285	4,078	1,151,009	0	0	0	3,796,198	医業外	346,250
		事業期間	H17 ~		新規・継続・拡充の別	継続			
【事業期間中の事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ○小児医療の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・小児科外来において土日祝日の午前応急診療を継続 ○市内日曜、休日在宅当直医輪番制への参加 ○救急車の積極的な受入れ <ul style="list-style-type: none"> ・休日、夜間当直医の内科系、外科系の2科体制を確立し患者受入体制を強化 ○訪問指導強化 <ul style="list-style-type: none"> ・退院前訪問指導、退院後訪問指導、訪問診療の実施 ○へき地診療所への代診医派遣 ○専門外来の充実(脳神経内科の開設) ○高齢者の各種骨折に対する対応力の強化(整形外科医の常勤化) 									
【R6事業内容】									
<p>入院患者数137人/日(前年度予算比±0)、外来患者数386人/日(前年度予算比±0)を見込み、入院収益2,343,062千円(前年度予算比+28,665千円)、外来収益1,318,780千円(前年度予算比+53,820千円)としている。</p>									
成果目標・事業効果		事業に係る目標(数値目標)	病床利用率:76.4% 一日あたりの外来患者数:386人 経常損益の黒字化			目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)	R5.12現在実績 病床利用率:76.0%(コロナ病棟除く) 外来患者数:369人		
		西播磨北部地域の2次救急及び本市の地域包括ケアシステムの医療部門における中核を担う病院事業効果として、急性期から回復期までの患者を幅広く受け入れ、市民の命と健康を守り、安心して安全な医療を提供する。							

令和6年度主要施策に係る説明書(総合病院)



単位:千円

所管課	総合病院	事業名	新病院整備事業				予算書頁	病院24														
会計名	病院事業会計	総合計画の施策体系	基本方針	⑥保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり																		
科目名等	資本的支出		基本施策	【20】地域医療の充実																		
	建設改良費		個別施策	②宍粟総合病院の充実																		
対象者(受益)		事業目的	S59年建設の宍粟総合病院の本館を始め、施設の老朽化や新しい設備を導入することが難しい環境となった病院施設を、昨今の医療事情を踏まえ、地域包括ケアシステム構築のための地域医療拠点となる施設整備を実施し、将来における医療体制の維持を図り、市民の安心と安全な生活を守る。																			
具体名	市民等																					
人数等	—																					
予算額等		財源内訳					R6年度当初予算の内訳															
		国庫支出金	県支出金	受益者負担金	その他特定財源	地方債	一般財源	主な費目 金額														
R6 当初予算	127,210	0	0	0	0	127,200	10	委託料 127,210														
R5 当初予算	318,437	0	0	0	0	318,400	37															
対前年度増減	△ 191,227	0	0	0	0	△ 191,200	△ 27															
R4 決算	174,500	0	0	0	0	174,500	0															
事業期間		R1 ~ R9	新規・継続・拡充の別		継続																	
【事業期間中の事業内容】																						
<table border="1"> <tr> <td>R1・R2・R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td>R9</td> </tr> <tr> <td>基本構想・基本計画</td> <td colspan="2">基本設計</td> <td>実施設計</td> <td colspan="2">建設工事</td> <td>開院</td> </tr> </table> <p>基本構想(策定済)、基本計画(策定済)、基本設計(策定中)、実施設計、建設工事を年次計画で実施。併せて、造成工事、周辺施設整備を進める。</p>									R1・R2・R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	基本構想・基本計画	基本設計		実施設計	建設工事		開院
R1・R2・R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9																
基本構想・基本計画	基本設計		実施設計	建設工事		開院																
【R6 事業内容】																						
【委託】																						
新病院整備基本・実施・造成設計業務一式 新病院開院支援業務一式 新病院整備コンストラクション・マネジメント業務一式 新病院整備工事実施設計技術協力業務一式																						
成果目標・事業効果	事業に係る目標(数値目標)		—		目標数値の進捗率(継続・拡充事業の場合)		—															
	事業効果 播磨姫路圏域西播磨北部地域の中核病院として、また地域完結型医療の提供体制の拠点として、地域住民の命と健康を守り、安心して安全な医療の提供に寄与する。																					